

日本看護協会調査研究報告 No.56 2000

1999年

介護保険導入にかかわる看護職員の意識調査

日本看護協会調査研究課編

まえがき

21世紀に向け看護は新たな「選択」と「共生」という価値観が求められようとしています。

介護保険制度の設立は、看護・介護が必要な利用者へのサービス量の増大、選択の自由というメリットをもたらすとともに、看護職にとっても活動の場を民間企業やNPOを含めた福祉分野へ一層広げるチャンスになります。その中で、利用者から「看護」が選択されるよう看護職間のつながりを強化し、他職種との協働をすすめながら、地域におけるネットワークを作ることが重要となってくると考えられます。

本会は、看護職者の介護保険施行にむけての準備を促進する事業の一貫として、介護保険施設の看護部門が介護保険下のサービス提供にどのように取組もうとしているかを調査いたしました。対象は、会員が勤務する療養型病院、老人保健施設、特別養護老人ホームの看護部門で、終末の看取り、医療処置のある患者・入所者の受け入れや介護保険施行に向けての取り組み状況等を把握しました。

この調査結果をもとに、介護保険における、よりよいサービス提供にむけ、政策提言や看護職者に対する情報提供などの支援を進めていく予定です。

会員各位および広く各方面の方々が、本報告書を介護保険施行における、看護・介護ケア提供のあり方をめぐる議論の基礎資料としてご活用くださることを期待いたします。またこの報告書へのご意見・ご批判をお寄せくださいますようお願いいたします

最後になりましたが、調査にご協力してくださいました病院、老人保健施設、特別養護老人ホームの皆様に、改めて厚くお礼申し上げます。

2000年3月

社団法人 日本看護協会会長 南 裕子

目 次

1999年 介護保険導入にかかわる看護職員の意識調査

I 調査概要	13
1. 調査目的	13
2. 調査実施時期	13
3. 調査対象および調査方法	13
4. 調査担当	13
II 調査票	14
1. 療養型病院	15
2. 老人保健施設	19
3. 特別養護老人ホーム	23
III 調査結果	27
1. 回答施設の属性	27
(1) 療養型病院	27
1) 設置主体	27
2) 病床規模と療養型への転換	27
3) 併設機関	28
4) 入院医療管理料	28
5) 入院患者数	28
6) 他病床との併設	29
7) 療養型または老人病床における看護要員配置数	29
8) 回答者の属性	29
(2) 老人保健施設	29
1) 設置主体	29
2) 併設機関	29
3) 入所者定員・実員数	30

4) 平均入所日数	30
5) 施設療養費区分と療養費加算	30
6) 通所者施設療養費と療養費加算	31
7) 施設全体の職員数	31
8) 回答者の属性	31
(3) 特別養護老人ホーム	32
1) 設置主体	32
2) 併設機関	32
3) 入所者定員・実員数	32
4) 施設全体の職員数	32
5) 回答者の属性	33
2 . 看護・介護職員の夜間看護体制	33
(1) 夜勤体制	33
(2) 夜間の看護要員配置	34
3 . 介護支援専門員確保状況	35
(1) 介護支援専門員資格の取得者の有無	35
(2) 介護支援専門員の各施設の平均人数	35
(3) 介護支援専門員の職種内訳	35
(4) 看護職員の介護支援専門員資格取得の勧め	36
4 . 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性	36
(1) 各施設における医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性	36
(2) 各施設における一般病棟・病院または診療所併設有無にみた医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性	38
(3) 各施設における看護職員・看護要員配置状況別にみた医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性	38
5 . 施設内での終末(ターミナル)期の対応	42
(1) 各施設におけるターミナル受け入れ状況	42
(2) 各施設における終末の看取りを可能にするための条件・体制整備	42
(3) 各施設における一般病棟・病院または診療所併設有無にみたターミナル受け入れ	44
(4) 各施設における看護職員配置状況別にみたターミナル受け入れ	44
6 . 介護保険の施行に向けての取り組み状況	45
7 . 自由記述まとめ	48
(1) 療養型病院	48
(2) 老人保健施設	52

(3) 特別養護老人ホーム	54
---------------------	----

統計表	57
-----------	----

1. 回答施設の属性	57
------------------	----

療養型病院

統計表 1 療養型病院 設置主体・都道府県	57
統計表 2 療養型病院 療養病棟規模・都道府県	58
統計表 3 療養型病院 老人病床規模・都道府県	59
統計表 4 療養型病院 併設機関・都道府県(複数回答)	60
統計表 5 療養型病院 設置主体・併設機関(複数回答)	61
統計表 6 療養型病院 設置主体・療養型病床群入院医療管理料と群区分	62
統計表 7 療養型病院 設置主体・特例許可老人病棟入院医療管理料	63

老人保健施設

統計表 8 老人保健施設 設置主体・都道府県	64
統計表 9 老人保健施設 併設機関・都道府県(複数回答)	65
統計表 10 老人保健施設 設置主体・併設機関(複数回答)	66
統計表 11 老人保健施設 定員規模・都道府県	67
統計表 12 老人保健施設 通所者定員規模・都道府県	68
統計表 13 老人保健施設 ショートステイ定員規模・都道府県	69
統計表 14 老人保健施設 痴呆性専門病棟入所定員規模・都道府県	70
統計表 15 老人保健施設 平均在所日数・都道府県	71

特別養護老人ホーム

統計表 16 特別養護老人ホーム 設置主体・都道府県	72
統計表 17 特別養護老人ホーム 併設機関・都道府県(複数回答)	73
統計表 18 特別養護老人ホーム 設置主体・併設機関(複数回答)	74
統計表 19 特別養護老人ホーム 定員規模・都道府県	75
統計表 20 特別養護老人ホーム ショートステイ定員規模・都道府県	76
統計表 21 特別養護老人ホーム 通所者定員規模・都道府県	77

2. 介護支援専門員確保状況	78
----------------------	----

統計表 22 記入者本人の介護支援専門員資格取得状況	78
統計表 23 記入者本人の介護支援専門員資格取得希望	78

3. 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性	79
--------------------------------	----

統計表 24 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・現在(可能な施設の比率) ...	79
---	----

統計表 25	医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・介護保険施行後 (可能な施設の比率).....	79
統計表 26	医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・療養型病院 (可能な施設の比率).....	80
統計表 27	医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・老人保健施設 (可能な施設の比率).....	80
統計表 28	医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・特別養護老人ホーム (可能な施設の比率).....	80
統計表 29	医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・療養型病院	81
統計表 30	医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・老人保健施設	81
統計表 31	医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・特別養護老人ホーム	81
統計表 32	一般病床併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (療養型病院：可能な施設の比率).....	82
統計表 33	病院・診療所併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (老人保健施設：可能な施設の比率).....	82
統計表 34	病院・診療所併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (特別養護老人ホーム：可能な施設の比率).....	82
統計表 35	看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (療養型病院：可能な施設の比率).....	83
統計表 36	看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (老人保健施設：可能な施設の比率).....	83
統計表 37	看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (特別養護老人ホーム：可能な施設の比率).....	83
統計表 38	看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (療養型病院：可能な施設の比率).....	84
統計表 39	看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (老人保健施設：可能な施設の比率).....	84
統計表 40	看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (特別養護老人ホーム：可能な施設の比率).....	84
統計表 41	一般病床併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (療養型病院).....	85
統計表 42	病院・診療所併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (老人保健施設).....	86
統計表 43	病院・診療所併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (特別養護老人ホーム).....	87

統計表 44	看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (療養型病院).....	88
統計表 45	看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (療養型病院).....	89
統計表 46	看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (一般病棟併設有：療養型病院).....	90
統計表 47	看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (一般病棟併設有：療養型病院).....	91
統計表 48	看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (一般病棟併設無：療養型病院).....	92
統計表 49	看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (一般病棟併設無：療養型病院).....	93
統計表 50	看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (老人保健施設).....	94
統計表 51	看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (老人保健施設).....	95
統計表 52	看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (特別養護老人ホーム).....	96
統計表 53	看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性 (特別養護老人ホーム).....	97
4	施設内での終末(ターミナル)期の対応	98
統計表 54	一般病床, 病院・診療所併設有無別・入所者及び家族が施設内で終末を迎える ことを希望した場合(現在)	98
統計表 55	一般病床, 病院・診療所併設有無別・入所者及び家族が施設内で終末を迎える ことを希望した場合(介護保険施行後)	98
統計表 56	看護職員配置状況別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合 (現在)	99
統計表 57	看護職員配置状況別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した 場合(介護保険施行後)	99
統計表 58	看護要員配置状況別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した 場合(現在)	100
統計表 59	看護要員配置状況別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した 場合(介護保険施行後)	100
統計表 60	一般病床, 病院・診療所併設有無別・介護保険導入後の施設での終末を看取る ための条件・体制整備(複数回答)	101

統計表 61	看護職員配置状況別・介護保険導入後の施設での終末を看取るための条件・体制 整備（複数回答）	102
統計表 62	看護要員配置状況別・介護保険導入後の施設での終末を看取るための条件・体制 整備（複数回答）	103
統計表 63	介護保険施行に向けての施設の取り組み状況	104
SUMMARY	106

1999年 介護保険導入にかかわる看護職員の意識調査

I 調査概要

1. 調査目的

- 1) 介護保険施行を控え看護部門が介護保険下におけるサービス提供に対してどのように取り組もうとしているかを把握する。
- 2) 介護保険施設における看護職者に対する支援およびサービス提供をすすめていくための基礎資料とする。

2. 調査実施期間

1999年4月実施

3. 調査対象および調査方法

調査対象は、本会員が勤務する全国の療養型病床群または、介護強化病棟をもつ病院(以下「療養型病院」)老人保健施設(以下「老健」)特別養護老人ホーム(以下「特養」)である。

調査票の記入者は、看護部長(療養型病院)、婦長(老健)、看護職で最も職位の高い者(特養)宛てに調査票を発送し、記入の上郵送またはファクシミリで本会調査・情報管理部調査研究課宛てに直接返送するよう依頼した。

対象総施設数 1672施設(822の療養型病院、老健411、特養439)であった。回答施設数は、1038施設(病院558、老健247、特養233施設)。(有効回収率は62.1%)。

4. 調査担当

本会調査・情報管理部(奥村元子)

本会調査・情報管理部・調査研究課(金澤朋広・真下綾子)

Ⅱ 調査票

- 1 . 療養型病院
- 2 . 老人保健施設
- 3 . 特別養護老人ホーム

1

1999年4月1日 (社)日本看護協会 調査研究課

病院票 1999年 介護保険導入にかかわる看護職員の意識調査

調査票はこの面と裏面の2ページです。該当する項目に○をつけ、□・()内には該当する数字または文字をご記入下さい。
※調査票は、特に期日・期間の指定のない項目については1999年4月1日現在のご記入下さい。

F1【病院の属性】

(1)所在地 都・道・府・県

(2)設置主体 ①国 ②都道府県・市町村 ③公的 ④社会保険関係団体 ⑤医療法人・個人 ⑥その他

(3)許可病床総数 床 在院患者総数 名
 ※うち ①療養型病床 あり・なし 内訳:(I群・II群)完全型 床 移行型 床
 ②特例許可老人病床 あり・なし ※療養型病床群への転換予定 あり・なし

(4)併設機関 (該当するもの全てに○をつけて下さい)

①在宅介護支援センター ②訪問看護ステーション ③特別養護老人ホーム ④老人保健施設 ⑤その他()

F2【特定入院料等の届出状況】

種別		届出病床数	入院患者数
療養型病床群入院医療管理料	I群 I・II・III・IV・V・VI・VII	床	人
	II群 I・II・III・IV		
特例許可老人病棟入院医療管理料	I・II・III・IV	床	人

療養型病床群・老人病床以外の病床の併設:

種別	有無・病床数	入院患者数	看護料届出
一般病床	①あり 床 ②なし	人	新看護 <input type="text"/> 対 1プラス <input type="text"/> 対1看護補助 加算(A・B・なし) 新看護以外の看護料(<input type="text"/>)
精神病床	①あり 床 ②なし	人	新看護 <input type="text"/> 対 1プラス <input type="text"/> 対1看護補助 加算(A・B・なし) 新看護以外の看護料(<input type="text"/>)
その他 (<input type="text"/>)	①あり 床 ②なし	人	

F3【病院全体の職種別職員数】

以下の職種についてお尋ねします。非常勤・パートタイマーについては勤務時間数により常勤換算して加えて下さい。

看護婦・士	人	准看護婦・士	人	保健婦・士	人
看護補助者・介護職員	人	助産婦	人	医師・歯科医師	人
再掲・介護福祉士資格者	人	薬剤師	人	理学療法士	人
作業療法士	人	臨床心理技術者	人	相談指導員・ワーカー	人
言語聴覚士	人	栄養士	人		人

F4【病棟配置看護要員数】

※「看護婦・士」には保健婦・士、助産婦を含みます。病棟婦長を含めた人数を記載してください。

※手術室及び特定入院料をとる集中治療室等の配置要員は除いてください。また、常勤以外の者及び病棟以外との兼務者は、病棟に勤務した時間を比例計算し、小数点以下第1位まで記載してください(別紙「記入上の注意」参照)。

	看護婦・士	准看護婦・士	看護補助者・介護職員
院内全ての病棟の勤務者総数	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
再掲:そのうち、 療養型および老人病棟勤務者数	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名

2

1999年4月1日 (社)日本看護協会 調査研究課

F5【療養型病床または特例許可老人病床の病棟看護・介護職員の夜間看護体制】

※3月25日の午前2時の勤務者数を、各病棟ごとにお答え下さい。

病棟	看護婦	准看護婦	看護補助者・ 介護職員	病棟	看護婦	准看護婦	看護補助者・ 介護職員
1	人	人	人	6	人	人	人
2	人	人	人	7	人	人	人
3	人	人	人	8	人	人	人
4	人	人	人	9	人	人	人
5	人	人	人	10	人	人	人

F6【介護療養型医療施設指定の意向】

貴院では介護保険の施行に向け療養型病床群または特例許可老人病棟について「介護療養型医療施設」の指定を受ける意向がありますか。

- ①指定を受けたい → 指定病床数 _____ 床程度を予定 ②受ける予定はない ③検討中

F7【調査ご記入者ご自身についてうかがいます】

(1)年齢 満()歳

(2)勤続年数 今の施設での就業年数(開設準備機関を含む、半年以上切り上げ)()年

(3)所持免許(複数回答可)

- ①保健婦・士 ②助産婦 ③看護婦・士 ④准看護婦・士 ⑤その他(具体的に)

【1】あなたは、介護保険は看護職にとってチャンスであるとお考えですか。

- ①そう思う ②そうは思わない ③どちらともいえない

【2】介護支援専門員資格についてうかがいます。

A)あなたがお勤めの病院では介護支援専門員資格を取得された方がいますか。

①いる 計()人

職種別内訳 看護婦()人・准看護婦()人・保健婦()人・看護補助者・介護職員()人、
医師()人、相談指導員・メディカルソーシャルワーカー()人、その他()人

②いない

A)-SQ1 あなたがお勤めの病院では必要な介護支援専門員確保の見通しがありますか。

- ①概ね確保できる ②確保は困難である ③わからない

A)-SQ2 上記 SQ1 で「②確保は困難である」と回答された方にお尋ねします。

介護支援専門員が確保できない場合当面配置する職種としては以下のどの職種をお考えですか。

- ①保健婦 ②看護婦 ③准看護婦 ④支援相談員 ⑤その他()

B)あなたご自身は介護支援専門員資格を取得されましたか。

- ①取得した ②取得していない

C)あなたご自身は今後介護支援専門員資格取得をめざされますか。

- ① 資格取得をめざす ②必要ない ③すでに取得した

D)あなたの職場の看護職員に資格取得を勧めますか。

- ① できるだけ多くの看護職員に勧める ②特定の看護職員に勧める ③必要ない

1

1999年4月1日 (社)日本看護協会 調査研究課

老人保健施設票

1999年 介護保険導入にかかわる看護職員の意識調査

調査票はこの面と裏面の2ページです。該当する項目に○をつけ、□・()内には該当する数字または文字をご記入下さい。
 ※調査票は、特に期日・期間の指定のない項目については1999年4月1日現在のご記入下さい。

F1【施設の属性】

(1)所在地 □□□□ 都・道・府・県

(2)貴施設の設置主体

①医療法人 ②社会福祉法人 ③国、地方公共団体 ④公的・社会保険関係団体 ⑤その他()

(3) 貴施設の開設年月 19()年()月

(4) 併設機関(該当するもの全てに○をつけて下さい)

①病院 ②診療所 ③歯科診療所 ④軽費老人ホーム ⑤特別養護老人ホーム
 ⑥在宅介護支援センター ⑦訪問看護ステーション ⑧その他()

(5) 1999年4月1日の定員、実員数

	定員数	実員数
全入所者		
うち痴呆性専門棟入所者		
ショート・ステイ		
通所者		

(6) 1999年3月31日の 貴施設入所者の平均入所日数 ()日

F2 貴施設の施設療養費の区分と療養費加算 (該当するものに○をつけてください)

①入所基本施設療養費 I	②入所基本施設療養費 II
③痴呆性老人加算	④痴呆性専門棟加算
⑤短期入所ケア加算	

F3 貴施設の通所者施設療養費と療養費加算

①老人保健施設デイ・ケア施設療養費
②老人保健施設デイ・ケア施設療養費痴呆性老人通所加算
③特別老人保健施設デイ・ケア施設療養費
④特別老人保健施設デイ・ケア施設療養費痴呆性老人通所加算
⑤老人保健施設痴呆性老人ナイト・ケア施設療養費
⑥特別老人保健施設痴呆性ナイト・ケア施設療養費

F4 施設全体の職種別職員数

全体の職員数(常勤換算)

職種(人)	職種(人)
看護婦・士 ()	准看護婦・士 ()
保健婦・士 ()	医師 ()
介護職員 () → うち介護福祉士資格者 ()	
理学療法士 ()	作業療法士 ()
相談指導員 ()	栄養士 ()
事務職員 ()	その他 ()

2

1999年4月1日 (社)日本看護協会 調査研究課

F5 看護・介護職員の夜間看護・介護体制

※3月25日の午前2時の勤務者数(施設全体の合計数)をお答え下さい。痴呆性専門棟をお持ちの施設の場合、痴呆性専門棟と分けてお答え下さい。また看護・介護職員の夜勤体制についてもお答え下さい。

	看護婦	准看護婦	介護職員
痴呆性専門病棟を除く施設全体	人	人	人
痴呆性専門病棟	人	人	人

- 1) 看護職員は ①常時夜勤体制を取る ②当直制を取る
 2) 介護職員は ①常時夜勤体制を取る ②当直制を取る ③その他()

F6【調査ご記入者ご自身についてうかがいます】

- (1) 役職名()
 (2) 年齢 満()歳
 (3) 今の施設での就業年数(開設準備機関を含む、半年以上切り上げ)()年
 (4) 所持免許(複数回答可)
 ①保健婦・士 ②助産婦 ③看護婦・士 ④准看護婦・士 ⑤その他()
 (5) 直属上司の職位()
 (6) 今の老人保健施設に勤務する以前の直近の就労場所
 ①他の老人保健施設 ②病院 ③特別養護老人ホーム・養護老人ホーム ④診療所
 ⑤市区町村 ⑥都道府県・保健所 ⑦教育機関 ⑧その他()

【1】あなた自身は、介護保険は看護職にとってチャンスであるとお考えですか。

- ①そう思う ②そうは思わない ③どちらともいえない

【2】 介護支援専門員資格についてうかがいます。

A) あなたがお勤めの施設では介護支援専門員資格を取得された方がいますか。

- ①いる 計()人
 職種別内訳 看護婦()人・准看護婦()人・保健婦()人・看護補助者・介護職員()人、
 医師()人、相談指導員・メディカルソーシャルワーカー()人、その他()人
 ②いない

A)-SQ1 あなたがお勤めの施設では必要な介護支援専門員確保の見通しがありますか。

- ①概ね確保できる ②確保は困難である ③わからない

A)-SQ2 上記 SQ1 で「②確保は困難である」と回答された方にお尋ねします。

- 介護支援専門員が確保できない場合当面配置する職種としては以下のどの職種をお考えですか。
 ①保健婦 ②看護婦 ③准看護婦 ④支援相談員 ⑤その他()

B) あなたご自身は介護支援専門員資格を取得されましたか。

- ①取得した ②取得していない

C) あなたご自身は今後介護支援専門員資格取得をめざされますか。

- ① 資格取得をめざす ②必要ない ③すでに取得した

D) あなたの職場の看護職員に資格取得を勧めますか。

- ① できるだけ多くの看護職員に勧める ②特定の看護職員に勧める ③必要ない

3

1999年4月1日 (社)日本看護協会 調査研究課

【3】【医療処置の多い入所者の受入れ可能性】

現在貴施設では、次のような医療処置を行う必要がある方が入所を希望した場合に受入れが可能ですか。また介護保険施行後は受入れが可能とお考えでしょうか。

※入所定員に空きがある場合を想定してご回答下さい。

医療行為	現在の受入れ可能性	介護保険施行後の受入れ可能性
a.点滴・注射	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
b.留置膀胱カテーテル装着・導尿	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
c.経管経腸栄養	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
d.中心静脈栄養	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
e.褥創	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
f.リハビリテーション	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
g.酸素療法(気管切開)	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
h.酸素療法(気管切開以外)	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
i.気管切開	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
j.人工呼吸器装着	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
k.透析(CAPDを含む)	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
l.ドレーン装着	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
m.吸引	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
n.人工肛門・人工膀胱	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない

【4】【終末(ターミナル)期の対応】

A) 現在貴施設の入所者及び家族が貴施設において終末を迎えることを希望した場合、希望に応じることが出来ますか。

- ①原則として応じる ②応じられないことが多い ③応じられない

B) 介護保険施行後、貴施設の入所者及び家族が貴施設において終末を迎えることを希望した場合、貴施設としてはその希望に応じる方針ですか。

- ①原則として応じる ②応じたいが困難である ③応じるべきでない ④わからない

C) 介護保険施行後の施設において患者の希望に応じて終末を見取るには、どのような条件や体制整備が必要と思われますか。

- ① 看護職員配置の充実
- ② 夜間看護体制の充実
- ③ 緊急時の医師の対応体制の確保
- ④ 必要な医療処置が可能な診療体制の充実
- ⑤ 緊急時対応が出来る看護婦の増員
- ⑥ 看護職員・介護職員の教育
- ⑦ 終末期医療に対する介護報酬・診療報酬上の評価の拡充
- ⑧ その他()

1

1999年4月1日 (社)日本看護協会 調査研究課

特別養護老人ホーム票

1999年 介護保険導入にかかわる看護職員の意識調査

調査票はこの面と裏面の2ページです。該当する項目に○をつけ、□・()内には該当する数字または文字をご記入下さい。
 ※調査票は、特に期日・期間の指定のない項目については1999年4月1日現在のご記入下さい。

F1【施設の属性】

(1)所在地 □ 都・道・府・県

(2)貴施設の設置主体

- ①公立(組合立を含む) ② 官設民営 ③社会福祉法人(②を除く) ④その他()

(3) 貴施設の開設年月 19()年()月

(4) 併設機関(該当するもの全てに○をつけて下さい)

- ①病院 ②診療所 ③歯科診療所 ④軽費老人ホーム ⑤養護老人ホーム
 ⑥在宅介護支援センター ⑦訪問看護ステーション ⑧老人保健施設 ⑨その他()

(5) 1999年4月1日の定員、実員数

	定員数	実員数
全入所者	人	人
ショート・ステイ	人	人
通所者	人	人

F2 施設全体の職種別職員数

(1) 貴施設全体の職員数(常勤換算)

職種(人)	職種(人)
看護婦・士 ()	准看護婦・士 ()
保健婦・士 ()	医師 ()
寮母・寮父(介護職員) ()	→ うち介護福祉士資格者 ()
理学療法士 ()	作業療法士 ()
相談指導員 ()	栄養士 ()
事務職員 ()	その他 ()

F3 看護・介護職員の夜間看護体制

3月25日 午前2時の勤務者数(施設全体の合計数)をお答え下さい。

	看護婦・士	准看護婦・士	寮母・寮父(介護職員)
職員数	人	人	人

※夜勤体制についてもお答え下さい。

- 看護職員は ①常時夜勤体制を取る ②当直制を取る ③夜間の対応はしていない
 寮母・介護職員は ①常時夜勤体制を取る ②当直制を取る ③その他()

2

1999年4月1日 (社)日本看護協会 調査研究課

F4【調査ご記入者ご自身についてうかがいます】

- (1) 役職名()
 (2) 年齢 満()歳
 (3) 今の施設での就業年数(開設準備機関を含む、半年以上切り上げ)()年
 (4) 所持免許(複数回答可)
 ①保健婦・士 ②助産婦 ③看護婦・士 ④准看護婦・士 ⑤その他()
 (5) 直属上司の職位()
 (6) 今の特別養護老人ホームに勤務する以前の直近の就労場所
 ①他の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム ②病院 ③老人保健施設 ④診療所
 ⑤市区町村 ⑥都道府県・保健所 ⑦教育機関 ⑧その他()

【1】あなたは自身は、介護保険は看護職にとってチャンスであるとお考えですか。

- ①そう思う ②そうは思わない ③どちらともいえない

【2】介護支援専門員資格についてうかがいます。

A)あなたがお勤めの施設では介護支援専門員資格を取得された方がいますか。

- ①いる 計()人
 職種別内訳 看護婦()人・准看護婦()人・保健婦()人・看護補助者・介護職員()人、
 医師()人、相談指導員・メディカルソーシャルワーカー()人、その他()人
 ②いない

A)-SQ1 あなたがお勤めの施設では必要な介護支援専門員確保の見通しがありますか。

- ①概ね確保できる ②確保は困難である ③わからない

A)-SQ2 上記 SQ1 で「②確保は困難である」と回答された方にお尋ねします。

介護支援専門員が確保できない場合当面配置する職種としては以下のどの職種をお考えですか。

- ①保健婦 ②看護婦 ③准看護婦 ④支援相談員 ⑤その他()

B)あなたご自身は介護支援専門員資格を取得されましたか。

- ①取得した ②取得していない

C)あなたご自身は今後介護支援専門員資格取得をめざされますか。

- ① 資格取得をめざす ②必要ない ③すでに取得した

D)あなたの職場の看護職員に資格取得を勧めますか。

- ① できるだけ多くの看護職員に勧める ②特定の看護職員に勧める ③必要ない

3

1999年4月1日 (社)日本看護協会 調査研究課

【3】【医療処置の多い入所者の受入れ可能性】

現在貴施設では、次のような医療処置を行う必要がある方が入所を希望した場合に受入れが可能ですか。
また介護保険施行後は受入れが可能とお考えでしょうか。

※入所定員に空きがある場合を想定してご回答下さい。

医療行為	現在の受入れ可能性	介護保険施行後の受入れ可能性
a.点滴・注射	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
b.留置膀胱カテーテル装着・導尿	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
c.経管経腸栄養	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
d.中心静脈栄養	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
e.褥創	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
f.リハビリテーション	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
g.酸素療法(気管切開)	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
h.酸素療法(気管切開以外)	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
i.気管切開	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
j.人工呼吸器装着	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
k.透析(CAPDを含む)	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
l.ドレーン装着	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
m.吸引	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない
n.人工肛門・人工膀胱	①可能 ②困難 ③どちらともいえない	①可能 ②困難 ③どちらともいえない

【4】【終末(ターミナル)期の対応】

A)現在貴施設の入所者及び家族が貴施設において終末を迎えることを希望した場合、希望に応じることができますか。

- ①原則として応じる ②応じられないことが多い ③応じられない

B)介護保険施行後、貴施設の入所者及び家族が貴施設において終末を迎えることを希望した場合、貴施設としてはその希望に応じる方針ですか。

- ①原則として応じる ②応じたいが困難である ③応じるべきでない ④わからない

C)介護保険施行後の施設において患者の希望に応じて終末を見取るには、どのような条件や体制整備が必要と思われますか。

- ① 看護職員配置の充実
- ② 夜間看護体制の充実
- ③ 緊急時の医師の対応体制の確保
- ④ 必要な医療処置が可能な診療体制の充実
- ⑤ 緊急時対応が出来る看護婦の増員
- ⑥ 看護職員・寮母(介護職員)の教育
- ⑦ 終末期医療に対する介護報酬・診療報酬上の評価の拡充
- ⑧ その他()

4

1999年4月1日 (社)日本看護協会 調査研究課

【5】来年4月の介護保険の施行に向け、貴施設における以下の項目へのお取組みの状況をお答え下さい。(それぞれの項目について該当するものに○をおつけください)

	1.既に行っている	2.今年度中に対応	3.来年4月以降対応予定	4.検討中	
<i>施設サービスの質の向上</i>					
1	介護支援専門員(ケアマネジャー)資格取得のための支援	1	2	3	4
2	ケア業務マニュアルの作成や職員の教育	1	2	3	4
3	ケアプラン作成のための研修	1	2	3	4
4	無資格者のための介護福祉士資格取得支援	1	2	3	4
5	業務委託、外注化	1	2	3	4
6	看護職員の増員	1	2	3	4
7	介護職員の増員	1	2	3	4
8	苦情窓口の設置	1	2	3	4
<i>介護保険居宅サービス等の実施</i>					
9	居宅介護支援(ケアマネジメント) 4	1	2	3	4
10	訪問看護	1	2	3	4
11	訪問介護(ホームヘルプサービス)	1	2	3	4
12	通所介護(デイサービス・デイケア)	1	2	3	4
13	訪問入浴介護	1	2	3	4
14	訪問リハビリテーション	1	2	3	4
15	痴呆対応型共同生活介護(グループホーム)	1	2	3	4
16	福祉用具貸与	1	2	3	4
17	通所リハビリテーション	1	2	3	4
18	居宅介護住宅改修	1	2	3	4
<i>要支援・要介護者への介護保険給付対象でないサービスの実施</i>					
19	食事(配食)サービス	1	2	3	4
20	移送サービス	1	2	3	4
21	痴呆症以外の方のグループホーム	1	2	3	4
22	ケア付住宅	1	2	3	4
<i>介護保険給付対象でない対象者へのサービスの実施</i>					
23	施設における入浴サービス	1	2	3	4
24	健康維持・増進のための教室の開設	1	2	3	4
25	自立の方を対象とするショートステイ	1	2	3	4
<i>市町村の介護保険実務への参画</i>					
26	要介護認定調査員の派遣	1	2	3	4
27	介護認定審査会委員の派遣(受託)	1	2	3	4
<i>ボランティア・NPOとの連携</i>					
28	地域のボランティア団体やNPOとの連携	1	2	3	4
29	貴施設でのボランティアの育成・受け入れ	1	2	3	4

【6】【介護保険関連情報の提供についてのご要望】

日本看護協会は2000年4月の介護保険制度スタートに向け、会員の皆様を対象に介護保険制度ならびに介護報酬に関する説明会を開催する予定です。あなたご自身は説明会でどのような情報の提供を希望されますか。企画に際して参考にさせていただきますので、ご自由にお書き下さい。

ありがとうございました。差支えなければ、貴施設の連絡先、ご担当者のお名前をお書き下さい。

施設名:

ご住所:

お名前:

Ⅲ 調査結果

1. 回答施設の属性

(1) 療養型病院

1) 設置主体

回答病院の設置主体は、「国」2病院(0.4%)、「自治体」18病院(3.2%)、「公的(日赤・済生会など)」11病院(2.0%)、「社会保険関係団体」2病院(0.4%)、「医療法人・個人」473病院(84.8%)、「学校法人・その他の法人」49病院(8.8%)などである(表1)。大部分が「医療法人・個人」病院で占められている。

表1 療養型病院 設置主体

(%)

	計	国	都道府県・市町村	公的	社会保険関係団体	医療法人・個人	その他	不明・無回答
回答施設数	558 (100.0)	2 (0.4)	18 (3.2)	11 (2.0)	2 (0.4)	473 (84.8)	49 (8.8)	3 (0.5)

2) 病床規模と療養型への転換

療養型病床群をもつ病院は351病院である。届出病床数は348病院で合計34,133床、1病院平均98.1床である。うち「完全型病棟」をもつ病院は178病院で病床合計は18,020床、平均101.2床、移行型病棟を持つ病院は175病院で合計14,160床、平均80.9床である。病床規模は「20-49床」83病院(23.6%)、「50-99床」138病院(39.3%)、「100-199床」97病院(27.6%)、「200-299床」20病院(5.7%)、「300-499床」8病院(2.3%)、「500床以上」2病院(0.6%)で100床未満が半数以上を占めている(表2)。

老人病床をもつ病院は、228病院である。届出病床数は225病院で合計26807床で、1病院平均の届出病床数は、119.1床である。病床規模は「19床以下」2病院(0.9%)、「20-49床」35病院(15.4%)、「50-99床」72病院(31.6%)、「100-199床」80病院(35.1%)、「200-299床」23病院(10.1%)、「300-499床」7病院(3.1%)、「500床以上」2病院(0.9%)であった(表2)。

老人病床のうち現在療養型への転換を予定している病院は228病院中198病院(86.8%)であった。

表2 療養型病院 病床数(療養型病床群・老人病床)

(%)

	計	19床以下	20-49床	50-99床	100-199床	200-299床	300-499床	500床以上	不明・無回答
療養型病床群	351 (100.0)	- (-)	83 (23.6)	138 (39.3)	97 (27.6)	20 (5.7)	8 (2.3)	2 (0.6)	3 (0.9)
老人病床	228 (100.0)	2 (0.9)	35 (15.4)	72 (31.6)	80 (35.1)	23 (10.1)	7 (3.1)	2 (0.9)	7 (3.1)

3) 併設機関

調査回答558病院のうち「在宅介護支援センター」を併設している病院は106病院(19.0%)、「訪問看護ステーション」200病院(35.8%)、「特別養護老人ホーム」35病院(6.3%)、「老人保健施設」133病院(23.8%)である(表3)。

表3 療養型病院 併設機関(複数回答) (%)

回答施設数	在宅介護 支援センター	訪問看護 ステーション	特別養護 老人ホーム	老人保健 施設	その他
558 (100.0)	106 (19.0)	200 (35.8)	35 (6.3)	133 (23.8)	43 (7.7)

* 各回答数を回答施設数(100.0%とした時)で割った比率

4) 入院医療管理料

療養型病床群

療養型病床群を設置している病院のうち、療養型病床群入院医療管理料を算定していた病院は322である。281病院(87.3%)が療養群であり、そのうち群の()が179病院(63.7%)、群の()が73病院(26.4%)と大半を占めている(表4)。

表4 療養型病院 療養の群と療養型入院医学管理料 (%)

療養の群	計	療養型病床群入院医療管理料						
群	41 (100.0)	22 (53.7)	12 (29.3)	2 (4.9)	2 (4.9)	2 (4.9)	0 (0.0)	1 (2.4)
群	281 (100.0)	179 (63.7)	73 (26.4)	17 (5.9)	12 (4.6)			

老人病床

老人病床を設置している病院のうち、入院医療管理料を算定していた病院は228であった。老人病棟入院医療管理料()を算定していた病院が126病院(55.3%)、()が67(29.4%)となっている(表5)。

表5 療養型病院 老人入院管理料 (%)

計	老人病棟入院医療管理料						
							無回答・不明
228 (100.0)	126 (55.3)	67 (29.4)	14 (6.1)	3 (1.3)	2 (0.9)	1 (0.4)	15 (6.6)

5) 入院患者数

調査当日の療養型病床群の入院患者総数は、31,125人(回答病院数327)、1病院平均95.2人、老人病床の入院患者総数は25,422人(回答病院数220)、1病院平均115.6人であった。

6) 他病床との併設

一般病床を持つ病院は341病院(61.1%)、精神病床は29病院(5.2%)、その他の病床は26病院(4.7%)であった。

7) 療養型または老人病床における看護要員配置数

看護要員(看護職員・介護職員)総数

回答病院533について、療養型病床群または老人病床に配置されている看護要員の総数は、29,422.2人である。うち看護婦・士は5,697.6名(1病院当たり10.7名)、准看護婦・士は7,741.2名(同14.5名)、看護補助者・介護職員15,983.4名(同30.0名)であった。

看護要員(看護職員・介護職員)の配置状況

記入のあった病院の、看護職員(保・助・看・准看)1人あたりの患者数は4.1人であった。また、介護職員・看護補助者1人あたりの患者数は4.2人で、看護職員と介護職員・看護補助者をあわせた看護要員1人あたりの患者数は1.9人であった。

8) 回答者の属性

調査票記入者の平均年齢は54.0歳、現在の病院での就業年数は、平均11.8年であった。回答者588名の所持免許(複数回答)は、保健婦・士4.1%、助産婦5.6%、看護婦・士95.2%、准看護婦・士5.6%、その他5.2%であった。また、准看護婦・士の免許のみを持つ者は7名であった。

(2) 老人保健施設

1) 設置主体

回答施設の設置主体は、「医療法人」171施設(69.2%)、「社会福祉法人」40施設(16.2%)、「国・地方公共団体」8施設(3.2%)、「公的・社会保険関係団体」2施設(0.8%)、「その他」12施設(4.9%)である(表6)。大部分が「医療法人」の施設で占められている。

表6 老人保健施設 設置主体

(%)

計	医療法人	社会福祉法人	国・地方公共団体	公的・社会保険関係団体	その他	無回答・不明
247 (100.0)	171 (69.2)	40 (16.2)	8 (3.2)	2 (0.8)	12 (4.9)	10 (4.0)

2) 併設機関

調査回答247施設のうち、110施設(44.5%)が病院の併設施設である。その他老健と併設してい

る機関は、「在宅介護支援センター」122施設(49.4%)、「訪問看護ステーション」100施設(40.5%)であった(表7)。

表7 老人保健施設 併設機関(複数回答) (%)

回答施設数	病院	診療所	歯科 診療所	軽費老人 ホーム	特別養護 老人ホーム	在宅介護 支援センター	訪問看護 ステーション	その他
247 (100.0)	110 (44.5)	30 (12.1)	6 (2.4)	2 (0.8)	18 (7.3)	122 (49.4)	100 (40.5)	34 (13.8)

* 各回答数を回答施設数(100.0%とした時)で割った比率

3) 入所者定員・実員数

全入所者の平均定員(痴呆性専門病棟・ショート・ステイを含む)・実員数(調査日の入所者数)、そのうちの痴呆性専門病棟入所者の平均定員・実員数、ショート・ステイの平均定員・実員数、および通所者の平均定員・実員数等については、以下の通りである(表8)。

表8 老人保健施設 入所定員と実員

	回答施設数	平均定員数	回答施設数	平均実員数
全入所者	246	96.4人	235	89.0人
うち痴呆性専門棟入所者	95	33.9人	90	30.1人
ショート・ステイ	240	8.6人	205	4.4人
通所者	239	32.0人	212	23.8人

4) 平均入所日数

回答202施設数の平均入所日数は、227.8日であり、入所日数は、最短で14日、最長で800日であった。地域によっては、退所後の受け皿が無いなどの理由で入所日数が長くなる場合があり、介護保険施行にともなってより一層他施設とのネットワーク作りや地域の指定居宅サービス事業者などの活用をすすめていく必要がある。

5) 施設療養費区分と療養費加算

施設療養費の算定状況は、表9の通りである。入所者が、特定痴呆性老人または、寝たきり状態にある者を含み、看護・介護職員が入所者3人に対して1人以上である「入所者基本施設療養費()」を算定している施設の割合が8割に達している(表9)。

表9 老人保健施設 施設療養費区分と療養費加算(複数回答) (%)

回答施設数	入所基本施設 療養費	入所基本施設 療養費	痴呆性 老人加算	痴呆性専 門棟加算	短期入所 ケア加算
247 (100.0)	48 (19.4)	196 (79.4)	154 (62.3)	1 (0.4)	185 (74.9)

* 各回答数を回答施設数(100.0%とした時)で割った比率

6) 通所者施設療養費と療養費加算

通所者施設療養費の算定状況は、表10の通りである。「老人保健施設デイケア施設療養費」をとっている施設が78.5%、「老人保健施設デイケア施設療養費痴呆性老人通所加算」をとっている施設が68.0%とデイケアに関する加算が多くとられている(表10)。

表10 老人保健施設 通所者施設療養費と療養費加算(複数回答)

	(%)
回答施設数	247 (100.0)
老人保健施設デイケア施設療養費	194 (78.5)
老人保健施設デイケア施設療養費痴呆性老人通所加算	168 (68.0)
特別老人保健施設デイ・ケア施設療養費	164 (66.4)
特別老人保健施設デイ・ケア施設費痴呆性老人通所加算	147 (59.5)
老人保健施設痴呆性老人ナイト・ケア施設療養費	64 (25.9)
特別老人保健施設痴呆性ナイト・ケア施設療養費	34 (13.8)

* 各回答数を回答施設数(100.0%とした時)で割った比率

7) 施設全体の職員数

調査時点での看護・介護職員配置数は、介護保険施設の施設運営基準より厚く配置されており、看護職員(看護婦・士 准看護婦・士) 介護職員(介護福祉士を含む) 看護要員(看護職員・介護職員)のそれぞれ一人あたりの平均 入所者数は、8.2人、2.8人 2.1人であった。また 老健の各職種の平均人数は表11の通りである。

表11 老人保健施設 施設全体の職員数

	看護婦・士	准看護婦・士	保健婦・士	医師	介護職員	うち介護福祉士資格者	理学療法士	作業療法士	相談指導員	栄養士
回答施設数	246	246	246	246	244	242	246	246	246	246
平均	4.5	6.5	0.1	1.2	32.0	11.6	0.9	0.9	2.2	1.2
合計	1116.7	1601.1	15.0	299.1	7814.5	2798.0	215.2	216.4	543.0	300.7

8) 回答者の属性

調査票記入者の平均年齢は、48.8歳、現在の当該施設での就業年数は、平均3.6年であった。回答者232名の所持免許(複数回答)では、保健婦・士 4.0%、助産婦2.8%、看護婦・士 89.9% 准看護婦・士 11.8% その他 2.8%であった。また、准看護婦の免許のみを持つ者は、18名であった。

(3) 特別養護老人ホーム

1) 設置主体

回答施設の設置主体は、「公立」22施設(9.4%)、「官設民営」12施設(5.2%)、「社会福祉法人」192施設(82.4%)、「その他」3施設(1.3%)である(表12)。大部分が「社会福祉法人」で占められている。

表12 特別養護老人ホーム 設置主体 (%)

計	公立	官設民営	社会福祉法人	その他	無回答
233 (100.0)	22 (9.4)	12 (5.2)	192 (82.4)	3 (1.3)	4 (1.7)

2) 併設機関

調査対象233施設では、「在宅介護支援センター」を併設している施設が最も多く、149施設(63.9%)である。「その他」には主にデイ・サービスが記入されており、実施している施設は115施設(49.4%)であった(表13)。

表13 特別養護老人ホーム 併設機関(複数回答) (%)

回答施設数	病院	診療所	歯科 診療所	軽費老人 ホーム	養護老人 ホーム	在宅介護支 援センター	訪問看護ス テーション	老人保 健施設	その他
233 (100.0)	15 (6.4)	34 (14.6)	6 (2.6)	23 (9.9)	26 (11.2)	149 (63.9)	17 (7.3)	13 (5.6)	115 (49.4)

* 各回答数を回答施設数(100.0%とした時)で割った比率

3) 入所者定員・実員数

全入所者の平均 定員・実員数(調査日の入所者数) ショート・ステイの平均 定員・実員数、通所者の平均 定員・実員数については、以下の通りである(表14)。

表14 特別養護老人ホーム 入所者定員・実員数

	回答施設数	平均定員数	回答施設数	平均実員数
全入所者	229	66.8人	229	66.7人
ショート・ステイ	214	13.7人	216	8.5人
通所者	125	23.3人	134	22.1人

4) 施設全体の職員数

調査時点での看護・介護職員配置数は、介護保険施設の施設運営基準より厚く配置されており、看護職員(看護婦・士 准看護婦・士) 介護職員(介護福祉士を含む) 看護要員(看護職員・介護職員)の一人あたりの平均 入所者数は、16.3人、2.8人 2.3人であった。また、特養の各職種の平均人数は、以下の通りである(表15)。

表15 特別養護老人ホーム 施設全体の職員数

	看護婦・士	准看護婦・士	保健婦・士	医師常勤	医師嘱託	医師非常勤	寮母・父/介護職員	うち介護福祉士資格者	理学療法士	作業療法士	相談指導員	栄養士
回答施設数	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231
平均	2.5	2.1	0.1	0.4	0.1	0.0	25.1	11.1	0.2	0.1	2.0	1.1
合計	569.0	479.0	20.0	83.4	18.0	11.0	5792.3	2574.0	36.5	13.0	470.0	247.0

5) 回答者の属性

調査票記入者の平均年齢は、46.2歳、当該施設での就業年数は、平均7.3年であった。回答者 227名の所持免許(複数回答)は、保健婦・士 3.9%、助産婦 3.4%、看護婦・士 72.1%、准看護婦・士 25.3%、その他 9.9%であった。また、准看護婦免許のみを持つ者は、53名であった。

2. 看護・介護職員の夜間看護体制

(1) 夜勤体制

療養型病院では、診療報酬算定要件として看護職員による夜勤体制をとることが定められている。老健の夜間看護体制は、看護職員・介護職員共に「常時夜勤体制を取る」施設が多かった。

特養の夜間看護体制では、看護職員については、「常時夜勤体制を取る」施設は少なく、多くの施設が「夜間対応はしない(オンコール含む)」体制をとっていた。介護職員では、「常時夜勤体制を取る」施設が多かった(表16)。

表16 老人保健施設および特別養護老人ホームでの看護要員の夜勤体制 (%)

		計	常時夜勤体制を取る	当直体制を取る	夜間の対応はしない	その他	不明・無回答
老健	看護職員の夜勤体制	247 (100.0)	145 (58.7)	69 (27.9)	- (-)	- (-)	33 (13.4)
	介護職員の夜勤体制	247 (100.0)	153 (61.9)	66 (26.7)	- (-)	1 (0.4)	27 (10.9)
特養	看護職員の夜勤体制	233 (100.0)	13 (5.6)	24 (10.3)	179 (76.8)	- (-)	17 (7.3)
	介護職員の夜勤体制	233 (100.0)	206 (88.4)	17 (7.3)	- (-)	1 (0.4)	9 (3.9)

さらに老健、特養で看護職員と介護職員が、夜勤体制をどのような組み合わせで行っているのかを分析した。

老健では、看護職員と介護職員が同じ「常時夜勤体制をとる」施設が全体の57.5%を占め、次に看護職員と介護職員が同じ「当直体制をとる」施設が25.5%と多かった(表17)。

表17 老人保健施設 看護要員の夜勤体制 (%)

		計	介護職員			
			常時夜勤体制 を取る	当直体制 を取る	その他	不明・無回答
計		247 (100.0)	153 (61.9)	66 (26.7)	1 (0.4)	27 (10.9)
看護 職員	常時夜勤体制を取る	145 (58.7)	142 (57.5)	1 (0.4)	- (-)	2 (0.8)
	当直体制を取る	69 (27.9)	6 (2.4)	63 (25.5)	- (-)	- (-)
	不明・無回答	33 (13.4)	5 (2.0)	2 (0.8)	1 (0.4)	25 (10.1)

特養では7割近くの施設が、看護職員は「夜間に対応しない」体制で、介護職員が「常時夜勤体制を取る」夜間体制を取っていた。次に看護職員が「当直体制を取る」体制で、介護職員が「常時夜勤体制を取る」施設が多かった(表18)。

表18 特別養護老人ホーム 看護要員の夜勤体制 (%)

		計	介護職員			
			常時夜勤体制 を取る	当直体制 を取る	その他	不明・無回答
計		233 (100.0)	206 (88.4)	17 (7.3)	1 (0.4)	9 (3.9)
看 護	常時夜勤体制を取る	13 (5.6)	10 (4.3)	2 (0.9)	1 (0.4)	- (-)
	当直体制を取る	24 (10.3)	21 (9.0)	3 (1.3)	- (-)	- (-)
職 員	夜勤対応はしない	179 (76.8)	161 (69.1)	10 (4.3)	- (-)	8 (3.4)
	不明・無回答	17 (7.3)	14 (6.0)	2 (0.9)	- (-)	1 (0.4)

(2) 夜間の看護要員配置

療養型病院では、1病棟あたりの平均夜勤人数は、看護婦・士0.6名、准看護婦・士0.8名、看護補助者・介護職員1.3名の計2.7名(503病院)である。

老健での1施設(痴呆性専門病棟を除く)あたりの平均夜勤人数は、看護婦・士0.4名、准看護婦・士0.6名、介護職員2.4名の計3.4名(182施設)である。痴呆性専門病棟での平均夜勤人数は看護婦・士0.2名、准看護婦・士0.2名、介護職員1.6名の計2.0名(57施設)である。

特養での1施設あたりの平均夜勤人数は寮母・寮父(介護職員)2.8名である(表19)。

表19 夜間の看護要員数

	計	看護婦・士	准看護婦・士	看護補助者 ・介護職員	平均患者 ・入所者数
療養型病院	2.7人	0.6人	0.8人	1.3人	49.0人
老人保健施設(痴呆性専門病棟以外)	3.4人	0.4人	0.6人	2.4人	58.9人
老人保健施設 痴呆性専門病棟	2.0人	0.2人	0.2人	1.6人	30.1人
特別養護老人ホーム	2.8人	0.0人	0.0人	2.8人	66.7人

*療養型病院は1病棟当たり的人数

*老人保健施設、特別養護老人ホームは1施設当たり

3. 介護支援専門員確保状況

(1) 介護支援専門員資格の取得者の有無

介護保険施行後は、介護保険施設において1人以上の常勤の介護支援専門員を配置することが義務づけられている。調査時点で、「資格取得者がいる」と回答したのは、療養型病院で93.5%、老健で93.9%、特養で91.4%であった(表20)。

表20 介護支援専門員資格の取得者の有無

	計	いる	いない	無回答
療養型病院	558 (100.0)	522 (93.5)	30 (5.4)	6 (1.1)
老人保健施設	247 (100.0)	232 (93.9)	11 (4.5)	4 (1.6)
特別養護老人ホーム	233 (100.0)	213 (91.4)	16 (6.9)	4 (1.7)

(2) 介護支援専門員の各施設の平均人数

介護支援専門員のいる施設において、1施設あたりの平均人数は、療養型病院5.2人(うち看護婦・士2.7人)、老健3.0人(うち看護婦・士1.1人)、特養3.3人(うち看護婦・士0.8人)である(表21・22)。

表21 介護支援専門員の平均人数

	回答施設数	平均人数	合計
療養型病院	520	5.2人	2699人
老人保健施設	231	3.0人	691人
特別養護老人ホーム	212	3.3人	205人

(3) 介護支援専門員の職種内訳

各施設における介護支援専門員の職種の内訳では、療養型病院、老健では、看護婦・士が最も多く、特養でも看護補助・介護職員について多くなっている(表22)。

表22 介護支援専門員の職種内訳

	回答施設数		看護婦・士	准看護婦・士	保健婦・士	看護補助・介護職員	医師	相談指導員・ソーシャルワーカー	その他
療養型病院	519	平均人数	2.7	0.4	0.1	0.1	0.7	0.3	0.9
		合計人数	(1405.0)	(196.0)	(40.0)	(48.0)	(361.0)	(174.0)	(491.0)
老人保健施設	229	平均人数	1.1	0.2	0.0	0.4	0.2	0.6	0.5
		合計人数	(254.0)	(56.0)	(7.0)	(85.0)	(50.0)	(129.0)	(107.0)
特別養護老人ホーム	205	平均人数	0.8	0.2	0.1	1.1	0.0	0.9	0.2
		合計人数	(172.0)	(33.0)	(11.0)	(227.0)	(10.0)	(175.0)	(49.0)

(4) 看護職員の介護支援専門員資格取得の勧め

各施設の看護管理者が、「できるだけ多くの看護職員に資格取得を勧める」と回答したのは、療養型病院で62.4%、老健で72.9%、特養では76.4%となっている。介護保険施設で看護管理者が、看護職員の介護支援専門員資格取得を重要と考えていることが分かる(表23)。

表23 看護職員に介護支援専門員資格取得を勧めるか。(%)

	計	できるだけ多くの 看護職員に勧める	特定の看護職員 に勧める	必要ない	無回答
療養型病院	558 (100.0)	348 (62.4)	189 (33.9)	7 (1.3)	14 (2.5)
老人保健施設	247 (100.0)	180 (72.9)	57 (23.1)	3 (1.2)	7 (2.8)
特別養護老人ホーム	232 (100.0)	178 (76.4)	41 (17.6)	7 (3.0)	6 (2.6)

4. 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性

介護保険施行1年後に控えた調査時点で医療処置の多い患者・入所者の受け入れに対する意向を把握するために、調査時点の「現在」と「介護保険施行後」とでの受け入れ可能性について「可能」「困難」「どちらともいえない」の中から1つを選択してもらう形式をとり質問した(調査票参照)。

その結果を療養型病院、老健、特養の各施設において、(1)調査時点の「現在」と「介護保険施行後」による医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性の比較(2)一般病棟、病院または診療所併設有無による医療処置の受け入れ可能性の比較(3)施設における看護職員・看護要員配置数による医療処置の受け入れ可能性の比較を軸に分析しまとめた。

(1) 各施設における医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性

調査時点の「現在」では、療養型病院、老健、特養とも「点滴・注射」「留置膀胱カテーテル装着」「経管経腸栄養」「じょく創」「吸引」「人工肛門・人工膀胱」の処置が必要な患者・入所者について、概ね受け入れ可能であることが分かる(図1)【統計表24】。しかし、最も医療体制の整っている療養型病院でも、「中心静脈栄養」「酸素療法(気管切開)」のある患者の受け入れ可能な施設は6割程度と低く、「人工呼吸器装着」「透析(COPDを含む)」のある患者については、3割以下となる。

「介護保険施行後」においては、各施設とも医療処置をとまなう患者に対する「受け入れ可能である」割合は現状より若干減少し、「どちらともいえない」の割合が増加した。これは、調査実施時点では介護保険下での医療処置のある患者への介護報酬上の評価が明らかでないことによるものと考えられる(図2)【統計表25】。

図1 現在 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性

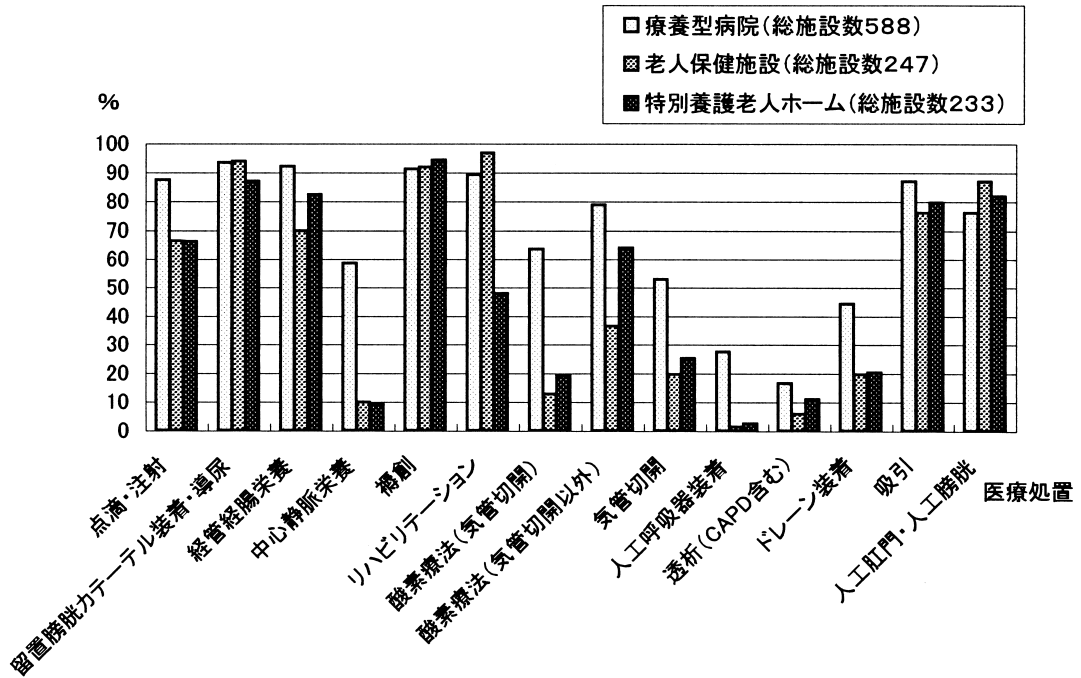
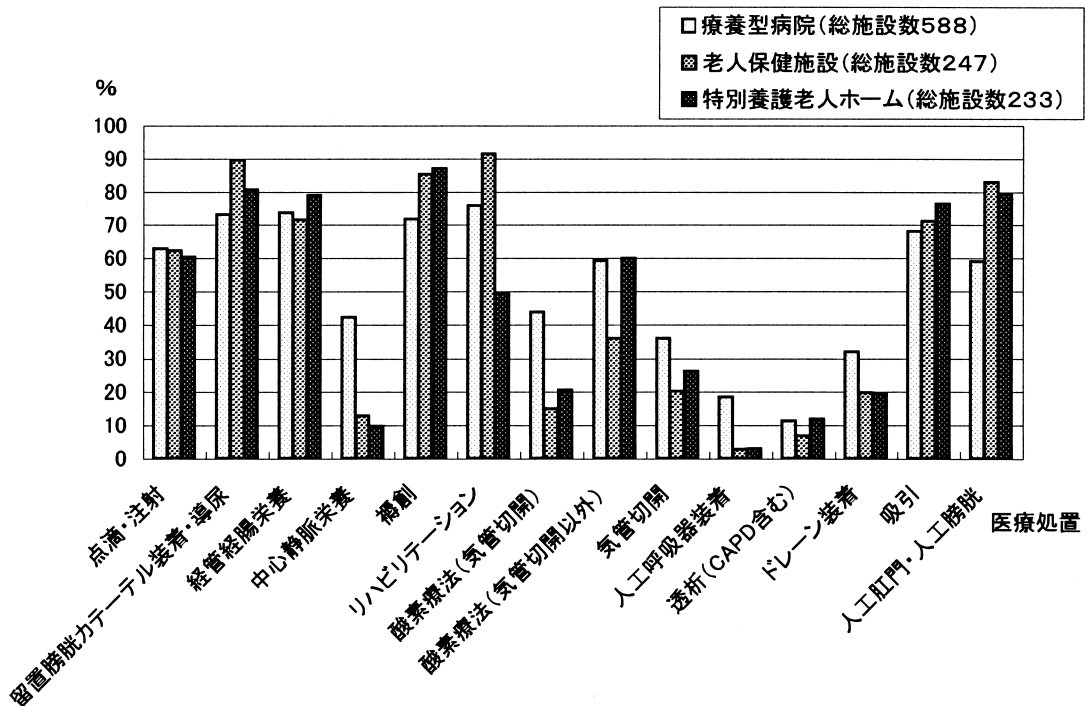


図2 介護保険施行後 医療処置の多い患者・入所の受け入れ状況



(2) 各施設における一般病棟・病院または診療所併設有無にみた医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性

療養型病院では、調査時点「現在」について一般病床を併設していない方が、「点滴・注射」「留置膀胱カテーテル装着・導尿」「経管経腸栄養」「中心静脈栄養」「じょく創」「酸素療法(気管切開以外)」「吸引」などの医療処置で「受け入れ可能」と回答している比率が高い。「介護保険導入後」では全医療処置の項目で「受け入れ可能」と回答した比率は低下したが、一般病床を併設していない方が、多数の処置で「受け入れ可能」と回答した比率が高かった【統計表32】【統計表41】。

老健では、調査時点「現在」について、病院または診療所を併設している方が、「点滴・注射」「留置膀胱カテーテル装着・導尿」「経管経腸栄養」「酸素療法(気管切開以外)」「気管切開」「透析(CAPD含む)」「ドレーン装着」「人工肛門・人工膀胱」などの多数の医療処置で「受け入れ可能」と回答している比率が高い。「介護保険導入後」では、「じょく創」「リハビリテーション」「吸引」「人工肛門・人工膀胱」などの医療処置では「受け入れ可能」と回答した比率が、病院または診療所の併設の有無に関わらず、どちらも「現在」よりも低下したが、その他の医療処置項目で、大差は見られなかった。また、病院または診療所を併設している方が、「じょく創」「透析(CAPD含む)」「ドレーン装着」「人工肛門・人工膀胱」などの医療処置で、「受け入れ可能」と回答した比率が高かった【統計表33】【統計表42】。

特養では、調査時点「現在」について病院または診療所を併設している方が、「点滴・注射」「留置膀胱カテーテル装着・導尿」「経管経腸栄養」「リハビリテーション」「透析(CAPD含む)」「ドレーン装着」「吸引」「人工肛門・人工膀胱」など多数の医療処置において「受け入れ可能」と回答している比率が高かった。介護保険導入後においては、「点滴・注射」「留置膀胱カテーテル装着・導尿」「経管経腸栄養」「透析(CAPD含む)」などにおいて病院または診療所の併設有無に関わらず、どちらも「受け入れ可能」と回答した比率は低下したが、その他多数の医療処置では大差はみられなかった。また、病院または診療所併設がある方が、「介護保険導入後」においても上記の医療処置について「受け入れ可能」と回答している比率が高かった【統計表34】【統計表43】。

(3) 各施設における看護職員・看護要員配置状況別にみた医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性

調査時点では、ほとんどの施設が介護保健施設の基準を上回る看護職員及び介護職員を配置していた。そこでより厚い看護職員・介護職員配置をしている施設とそうでない施設において医療処置のある患者・入所者への受け入れ可能性に差があるかどうかを検討した。

- 1) 看護職員配置において療養型病院では、患者対看護職員数4対1以上・未滿、老健においては、入所者100人に対する看護職員配置を12人以上・未滿、特別養護老人ホームでは、入所者100人に対する看護職員配置を6人以上・未滿でそれぞれ比較した。

各施設毎、調査時点「現在」と「介護保険施行後」における看護職員配置状況別に「可能である」と回答した施設の比率を、主な項目のみでまとめたものが表24である。

表24 看護職員の配置状況別にみた医療処置の受け入れ可能性（可能であると回答した比率）

	現 在		介護保険施行後	
	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満
療養型病院				
回答施設数	316	187	316	187
点滴・注射	89.2%	86.1%	64.9%	61.0%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	94.6	93.0	74.4	73.3
経管経腸栄養	94.0	90.9	75.9	73.8
気管切開	51.6	57.2	36.7	37.4
人工呼吸器装着	29.1	24.6	20.6	15.5
老人保健施設				
回答施設数	116	119	116	119
点滴・注射	68.9%	62.9%	63.9%	59.5%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	96.6	91.4	91.6	87.9
経管経腸栄養	76.5	66.4	74.8	71.6
気管切開	24.4	14.7	23.5	16.4
人工呼吸器装着	2.5	0.9	4.2	1.7
特別養護老人ホーム				
回答施設数	151	76	151	76
点滴・注射	66.9%	64.5%	61.6%	59.2%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	86.1	88.2	79.5	81.6
経管経腸栄養	84.1	77.6	79.5	76.3
気管切開	23.8	28.9	25.2	28.9
人工呼吸器装着	4.0	0.0	4.0	1.3

療養型病院では、調査時点「現在」で「点滴・注射」、「経管経腸栄養」、「人工呼吸器装着」などにおいてより看護職員配置の多い4対1以上の方が、「受け入れ可能」と回答している比率が高かった。「介護保険施行後」については、全医療処置の項目で看護職員配置4対1以上・未満のどちらも「受け入れ可能」と回答している比率は低下し、職員配置状況における差はあまり見られなかったが、「人工呼吸器装着」、「ドレーン装着」などで、看護職員を患者に対して4対1以上配置している方が「受け入れ可能」と回答している比率が高かった【統計表35】。

老健では、調査時点「現在」で「点滴・注射」、「留置膀胱カテーテル装着・導尿」、「経管経腸栄養」、「気管切開」などについて、入所者100人に対して看護職員を12人以上配置している方が、「受け入れ可能」と回答した比率が高かった。「介護保険施行後」では、調査時点現在より、多数の医療処置項目で「受け入れ可能」と回答した比率が低下した。看護職員配置状況においては、より手厚い看護職員配置をしている方が、「点滴・注射」、「気管切開」、「吸引」などについて「受け入れ可能」と回答した比率は高かったが、他の医療処置では、大差はみられなかった【統計表36】。

特養では、調査時点「現在」については、入所者100人に対して看護職員6人以上配置している方

が、「経管経腸栄養」、「中心静脈栄養」、「酸素療法（気管切開）」、「酸素療法（気管切開以外）」などでは、「受け入れ可能」と回答する比率が高かったが、その他の医療処置項目で、差はみとめられなかった。「介護保険施行後」では、多数の医療処置で、看護職員6人以上・未満配置でも調査時点「現在」より「受け入れ可能」と回答している比率の明らかな低下は見られなかった。また「酸素療法（気管切開以外）」や「ドレーン装着」においては、看護職員6人以上配置している方が、より「受け入れ可能」と回答した比率は高かったが、それ以外の項目については、看護職員6人以上と未満での医療処置の「受け入れ可能」の比率には、明らかな差は認められなかった【統計表37】。

2) 看護要員配置（看護職・介護職）において療養型病院 患者対看護要員数2対1以上・未満、老人保健施設 および特別養護老人ホームでは、入所者100人に対して看護要員50人以上・未満でそれぞれ比較した。

各施設毎、調査時点「現在」と「介護保険施行後」について看護要員配置状況別に「可能である」と回答した施設の比率を、主な項目のみについてまとめたものが表25である。

表25 看護要員の配置状況別にみた医療処置受け入れ可能性（可能であると回答した比率）

	現 在		介護保険施行後	
	看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満	看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満
療養型病院				
回答施設数	365	134	365	134
点滴・注射	89.6%	85.8%	64.1%	62.7%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	95.1	92.5	73.4	76.1
経管経腸栄養	94.0	89.6	74.8	76.1
気管切開	53.4	55.2	37.0	38.1
人工呼吸器装着	29.3	22.4	19.5	17.2
老人保健施設				
看護要員配置 50以上		看護要員配置 50人未満	看護要員配置 50以上	看護要員配置 50人未満
回答施設数	98	135	98	135
点滴・注射	70.4%	63.0%	67.3%	57.8%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	95.9	92.6	91.8	88.1
経管経腸栄養	70.4	72.6	77.6	70.4
気管切開	24.5	16.3	25.5	16.3
人工呼吸器装着	4.1	0.0	6.1	0.7
特別養護老人ホーム				
看護要員配置 50以上		看護要員配置 50人未満	看護要員配置 50以上	看護要員配置 50人未満
回答施設数	155	69	155	69
点滴・注射	66.7%	65.8%	63.8%	59.4%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	85.5	87.7	76.8	81.9
経管経腸栄養	88.4	78.7	84.1	75.5
気管切開	18.8	29.0	17.4	31.0
人工呼吸器装着	5.8	1.3	4.3	2.6

療養型病院では、調査時点「現在」で、より厚い看護要員配置である看護要員対患者の配置2対1以上の方が、「点滴・注射」、「経管経腸栄養」、「人工呼吸器装着」、「ドレーン装着」、「人工肛門・人工

膀胱」などについて、「受け入れ可能」と回答している比率が高かった。「介護保険施行後」では、全医療処置項目で、看護要員配置2対1以上と未満でどちらも「受け入れ可能」と回答した比率は低下したが、看護要員配置2対1以上で「中心静脈栄養」において「受け入れ可能」と回答した比率が高かった。その他の医療処置項目については、明らかな差は認められなかった【統計表38】。

老健では、調査時点「現在」で入所者100人に対して看護要員配置50人以上の方が、「点滴・注射」、「留置膀胱カテーテル装着・導尿」、「中心静脈栄養」、「酸素療法（気管切開以外）」、「吸引」、「気管切開」、「人工肛門・人工膀胱」等多数の医療処置で「受け入れ可能」と回答した比率が高かった。「介護保険施行後」では、「点滴・注射」、「吸引」、「人工肛門・人工膀胱」などで、看護要員50人以上・未満のどちらも「受け入れ可能」の比率が低下したが、その他の医療処置の項目においては明らかな低下は見られなかった。また、看護要員配置を入所者100人に対して50人以上配置した方が、「点滴・注射」、「経管栄養」、「中心静脈栄養」、「酸素療法（気管切開以外）」、「気管切開」、「吸引」で「受け入れ可能」と回答した比率が高かった【統計表39】。

特養では、調査時点「現在」で入所者100人に対して看護要員50人以上配置している方が、「経管経腸栄養」、「中心静脈栄養」、「リハビリテーション」、「人工呼吸器」、「ドレーン装着」、「人工肛門・人工膀胱」について「受け入れ可能」と回答した比率が高かったが、その他医療処置項目では、差は見られなかった。介護保険施行後、「点滴・注射」、「留置膀胱カテーテル装着・導尿」など意外の多数の医療処置において、看護要員配置50人以上・未満のどちらについても「現在」と比較し、明らかな「受け入れ可能」の比率の低下は認められなかった。また、「介護保険施行後」でも看護要員50人以上配置している方が、「点滴・注射」、「経管経腸栄養」、「リハビリテーション」、「ドレーン装着」、「人工肛門・人工膀胱」などにおいて「受け入れ可能」と回答した比率は高かったが、その他においては明らかな差は見られなかった【統計表40】。

以上の結果より以下の3点が示唆される。

第一に長期にわたり療養を必要とする人のための医療機関であり、介護保険施設の中で最も医療体制が整った療養型病院でも、「人工呼吸器装着」、「透析（CAPDを含む）」、「ドレーン装着」などの高度な医療処置を伴う患者に対して「受け入れ可能」とする割合が低い。介護保険施行後について、介護保険施設でのこれらの患者・入所者の受け入れは、一層困難となると予想され、受け入れ先の確保が急務となる。

第二に一般病床をもつ療養型病院において、調査時点現在で「気管切開」、「人工呼吸器」、「透析（CAPD含む）」については、一般病床がない療養型病院より「受け入れ可能」とする比率が高かった。一般病床をもつ療養型病院においては、高度な医療処置に必要となる医療資源・体制が十分備わっており、その活用ができるため、このような結果となった可能性がある。一方、一般病床をもたない療養型病院において、調査時点現在で、「点滴・注射」、「中心静脈栄養」、「酸素療法（気管切開以外）」

「ドレーン装着」について一般病床を持つ療養型病院より「受け入れ可能」とする比率が高かった。一般病床をもたない療養型病院において、看護職員で医療管理が主にできる医療処置については、療養病床でも対応する意向が伺える。

最後に各施設において、調査時点「現在」で多数の医療処置について看護職員配置の厚い方が、配置の薄い方より医療処置のある患者・入所者をより「受け入れ可能」と回答している比率が高かった。介護保険施行後についても「受け入れ可能」と回答した比率が「現在」より低下していたが、やはりいくつかの医療処置では、看護職員配置の厚い方が「受け入れ可能」と回答した比率が高い結果となった。医療処置の管理については、厚い看護職員の配置が必須である。

5. 施設内での終末（ターミナル）期の対応

(1) 各施設におけるターミナル受け入れ状況

各施設サービスにおいて介護保険下で患者・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合、その希望に応じられるか否かについて、調査時点「現在」と「介護保険実施導入後」とでの対応について質問した。

各施設のうち調査時点「現在」においては、療養型病院 84.4%、老人保健施設 40.9%、特養 79.4%が「原則として応じる」と回答した。「介護保険実施導入後」についても、療養型病院と特養においては7割以上の施設が「原則として応じる」と回答している。また、「応じたいが困難」または、「応じるべきではない」と回答した施設は、療養型病院で13.3%、老健で43.3%、特養で13.3%となっている（表26・27）。

表26 入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合（現在）

(%)

	計	原則として 応じる	応じられない ことが多い	応じられない	無回答
療養型病院	558 (100.0)	471 (84.4)	57 (10.2)	17 (3.0)	13 (2.3)
老人保健施設	247 (100.0)	101 (40.9)	94 (38.1)	45 (18.2)	7 (2.8)
特別養護老人ホーム	233 (100.0)	185 (79.4)	23 (9.9)	20 (8.6)	5 (2.1)

表27 入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合（介護保険導入後）

(%)

	計	原則として 応じる	応じられない ことが多い	応じられない	わからない	無回答
療養型病院	558 (100.0)	401 (71.9)	64 (11.5)	10 (1.8)	61 (10.9)	22 (3.9)
老人保健施設	247 (100.0)	96 (38.9)	84 (34.0)	23 (9.3)	38 (15.4)	6 (2.4)
特別養護老人ホーム	233 (100.0)	171 (73.4)	27 (11.6)	4 (1.7)	25 (10.7)	6 (2.4)

(2) 各施設における終末の看取りを可能にするための条件・体制整備

次に介護保険導入後に、施設内での終末の看取りを可能とする条件について質問した。療養型病院と老健では「終末期医療に対する介護報酬・診療報酬上の評価充実」がそれぞれ72.6%、68.0%となっている。一方特養では「看護職員・寮母(介護職員)の教育」との回答が69.1%と最も多くなっている(表28)。

表28 介護保険導入後の施設の終末を看取るための条件・体制整備(複数回答) (%)

	回 答 施 設 数	充 看 護 職 員 配 置 実 の	充 夜 間 看 護 体 制 実 の	対 緊 急 時 制 の 医 師 保 の	充 可 能 な 診 療 体 制 実 の	必 要 な 医 療 処 置 が	緊 急 時 に 対 応 で き る 看 護 婦 の 増 員	教 育 の 充 実	報 酬 上 の 評 価 充 実	終 末 期 医 療 に 対 し て の 充 実	そ の 他
療養型病院	558 (100.0)	272 (48.7)	322 (57.7)	233 (41.8)	209 (37.5)	162 (29.0)	353 (63.3)	405 (72.6)	43 (7.7)		
老人保健施設	247 (100.0)	132 (53.4)	159 (64.4)	153 (61.9)	116 (47.0)	84 (34.0)	163 (66.0)	168 (68.0)	25 (10.1)		
特別養護老人ホーム	233 (100.0)	109 (46.8)	125 (53.6)	170 (73.0)	80 (34.3)	86 (36.9)	161 (69.1)	130 (55.8)	26 (11.2)		

* 各回答数を回答施設数(100.0%とした時)で割った比率

さらに、終末の看取りの希望に対して介護保険施行後に「原則として応じる」と回答した施設と「応じたいが困難」と回答した施設において終末を看取るための条件に差があるか検討した。

「原則として応じる」施設では「応じたいが困難」施設と比較すると各施設とも「看護職員・寮母(介護職員)の教育」が必要との回答が多かった。また、老健や、特養では、「終末期医療に対する介護報酬・診療報酬上の評価の拡充」を求める比率が高かった。

「応じたいが困難」と回答した施設では「原則として応じる」施設と比較すると、療養型病院では「看護職員配置の充実」、老健においては、「必要な医療処置が可能な診療体制の充実」「緊急時に対応できる看護婦の増員」、特養では「夜間看護体制の充実」「必要な医療処置が可能な診療体制の充実」が必要との回答が多かった(表29)。

表29 看取りに必要な条件(複数回答) (%)

	療養型病院		老 健		特 養	
	原則として 応じる	応じたいが 困難	原則として 応じる	応じたいが 困難	原則として 応じる	応じたいが 困難
回答施設数	401	64	96	84	171	27
看護職員配置の充実	49.6%	59.4%	51.0%	57.1%	48.0%	37.0%
夜間看護体制の充実	59.1	59.4	61.5	67.9	50.9	70.4
緊急時の医師の対応体制の確保	44.9	39.1	60.4	66.7	71.3	74.1
必要な医療処置が可能な診療体制の充実	37.4	48.4	29.2	61.9	31.0	37.0
緊急時に対応できる看護婦の増員	28.2	40.6	25.0	40.5	37.4	44.4
看護職員・寮母の教育	69.6	56.3	77.1	56.0	76.0	51.9
終末期医療に対する介護報酬・診療報酬上の評価充実	73.8	81.3	71.9	66.7	61.4	40.7

* 各回答数を回答施設数(100.0%とした時)で割った比率

* ()内は回答施設数

(3) 各施設における一般病棟・病院または診療所併設有無にみたターミナル受け入れ

医療機関併設の有無（療養型病院においては一般病棟併設の有無）によって終末期の看取りの受け入れに違いが見られるかを比較した。

療養型病院では、調査時点「現在」においては受け入れに大差は認められなかったが【統計表54】、介護保険導入後では「一般病床あり」で「原則として応じる」と回答した比率が低くなっていた（表30）【統計表55】。

表30 療養型病院 一般病床の有無における終末の看取りの希望について（介護保険導入後）

	回答施設数	原則として 応じる	応じたいが 困難である	応じるべき ではない	わからない	不明・無回答
一般病床あり	341	67.4%	14.1	2.1	12.9	3.5
一般病床なし	215	79.1%	7.0	1.4	7.9	4.7

老健では、病院・診療所の併設の有無で比較を行なったところ調査時点「現在」においても「介護保険導入後」においても「併設あり」の施設の方が「併設なし」の施設より「原則として受け入れる」と回答した比率が高かった（表31・32）。

表31 老人保健施設 病院・診療所併設有無と終末の看取り希望について（現在）

	回答施設数	原則として 応じる	応じられない ことが多い	応じられない	不明・ 無回答
病院または診療所併設あり	135	45.9%	37.0	14.8	2.2
病院・診療所どちらも併設なし	112	34.8%	39.3	22.3	3.6

表32 老人保健施設 病院・診療所併設有無による終末の看取りの希望について（介護保険導入後）

	回答 施設数	原則とし て応じる	応じられない ことが多い	応じられない	わからない	不明・ 無回答
病院または診療所併設あり	135	43.0%	30.4	9.6	15.6	1.5
病院・診療所どちらも併設なし	112	33.9%	38.4	8.9	15.2	3.6

特養では、病院・診療所の有無では大差が見られなかった【統計表54・55】。

(4) 各施設における看護職員配置状況別にみたターミナル受け入れ

看護職員の配置状況別における終末期の看取りに違いが見られるかどうか比較した。

療養型病院では、看護職員1人当たり患者4人以上・未満で比較を行なったところ、調査時点「現在」においても「介護保険導入後」においても終末の看取りに対して「原則として応じる」と回答した比率に看護職員配置状況別で違いはほとんど見られなかった【統計表56・57】。

老健は、入所者100人あたりの看護職員配置12人以上・未満で比較を行なったところ、調査時点「現在」では受け入れに差は見られないものの、介護保険導入後では看護職員12人未満の施設で「わからない」と回答した比率が高くなっていた（表33）【統計表56】。

表33 老人保健施設看護職員数の配置状況における終末の看取りの希望について（介護保険導入後）

	回答施設数	原則として 応じる	応じたいが 困難である	応じるべき でない	わからない	不明・無回答
看護職員配置 12人未満	116	35.3%	31.9	7.8	21.6	3.4
看護職員配置 12人以上	119	41.2%	36.1	11.8	9.2	1.7

特養においては、入所者100あたりの看護職6人以上・未満で比較を行なったところ、「6人以上」の施設において調査時点「現在」と「介護保険導入後」とも「原則として受け入れる」と回答した比率が若干高い結果となった。(表34・35)

表34 特別養護老人ホーム 看護職員配置状況による終末の看取り希望について(現在)

	回答施設数	原則として応じる	応じられないことが多い	応じられない	不明・無回答
看護職員配置 6人未満	76	77.6%	9.2	10.5	2.6
看護職員配置 6人以上	151	81.5%	9.9	6.6	2.0

表35 特別養護老人ホーム 看護職員配置状況による終末の看取り希望について(介護保険導入後)

	回答施設数	原則として応じる	応じたいが困難である	応じるべきでない	わからない	不明・無回答
看護職員配置 6人未満	76	71.1%	14.5	2.6	9.2	2.6
看護職員配置 6人以上	151	75.5%	9.9	0.7	11.3	2.6

6. 介護保険の施行に向けての取り組み状況

介護保険施行にむけ、調査時点で各施設での取り組みの状況を(1)施設サービスの質の向上、(2)居宅サービス等の実施(3)要支援・要介護者への介護保険給付対象でないサービスの実施、(4)介護保険給付対象ではない対象者へのサービスの実施、(5)市町村の介護保険実務への参画(6)ボランティア・NPOとの連携の大きな6項目に分け、全部で29の質問項目をあげた。例えば、「施設サービスの質の向上」の中の一つの質問である、「介護支援専門員資格取得のための支援」について、「1.既に行っている」「2.今年中に対応」「3.来年4月以降対応予定」「4.検討中」の回答の中から1つ選択してもらう方式をとった(調査票参照)。

調査結果を質問項目別に「既に行っている」(既施行率)と回答した比率のみで、まとめたものが、図3～6である。

各施設とも介護保険施行に向けた取組みは、介護支援専門員資格取得のための支援、ケア業務マニュアルの作成や職員の教育等が含まれる(1)「施設サービスの質向上」に重点が置かれている。(2)「居宅サービス等の実施」については療養型病院の62.5%が訪問看護を既に行っており、老健、特養では通所介護をそれぞれ82.2%と79.2%が、既に行なっている。(3)「要支援・要介護者への介護保険給付対象でないサービス」については施設の中で特養が、食事サービス35.3%、移送サービス29.9%と高い比率で実施していることが分かった。(4)では、介護保険給付対象でない人を対象にした施設における入浴サービスや、健康維持・増進のための教室の開設を既に行なっている施設が特養で4割近く、老健でも2割を超していた。(5)の市町村の介護保険実務への参画では、要介護認定調査員の派遣や介護認定審査会委託(受託)の2項目とも、各施設で主に検討中が3割前後を占め、4割前後で無回答であった。(6)のボランティア・NPOとの連携についても老健・特養で多くの施設が行なっていた【統計表63】。

介護保険の施行に向けての取り組み状況

図3 施設サービスの質の向上(既施行率)

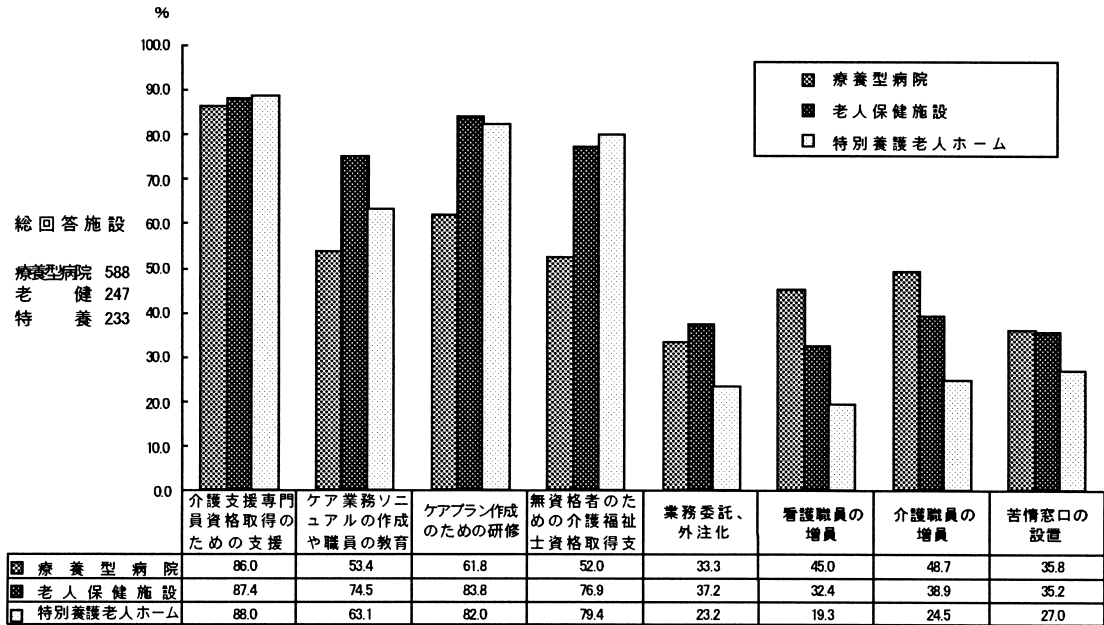


図4 介護保険居宅サービス等の実施(既施行率)

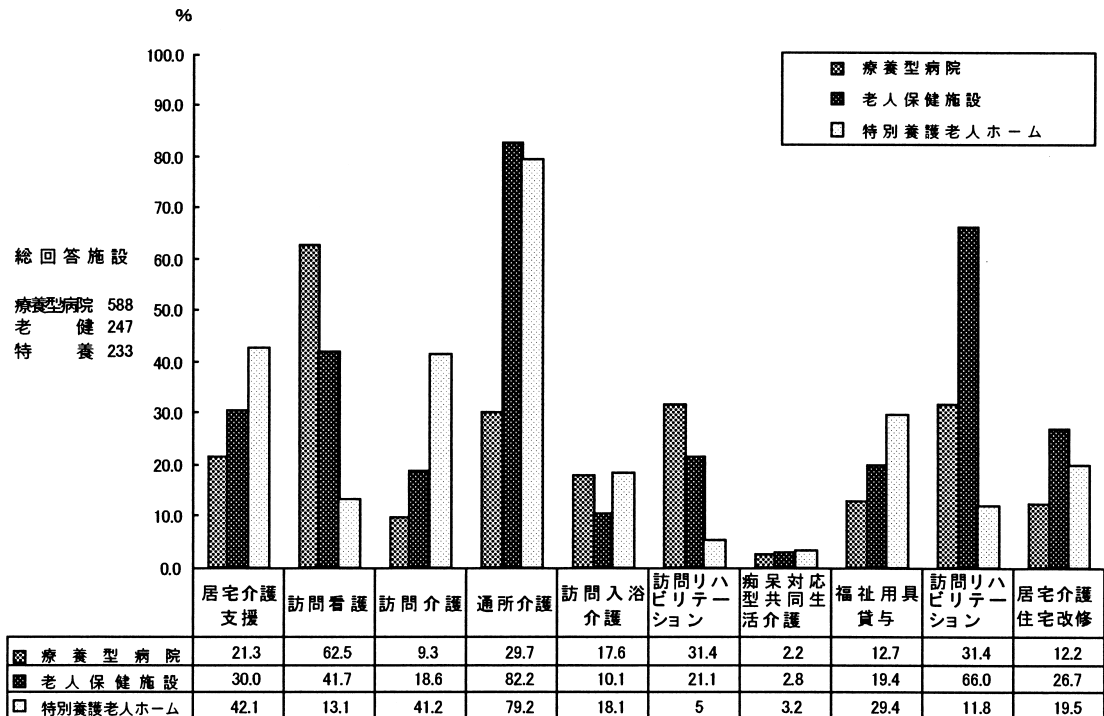


図5 介護保険給付対象でない対象者へのサービス実施(既施行率)

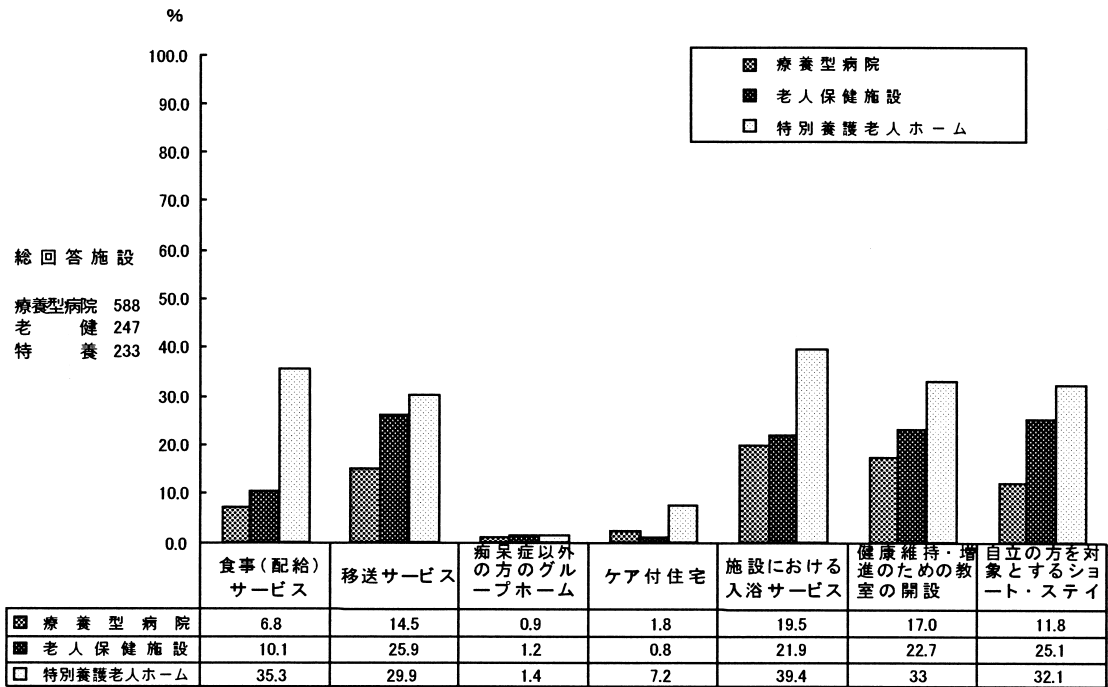
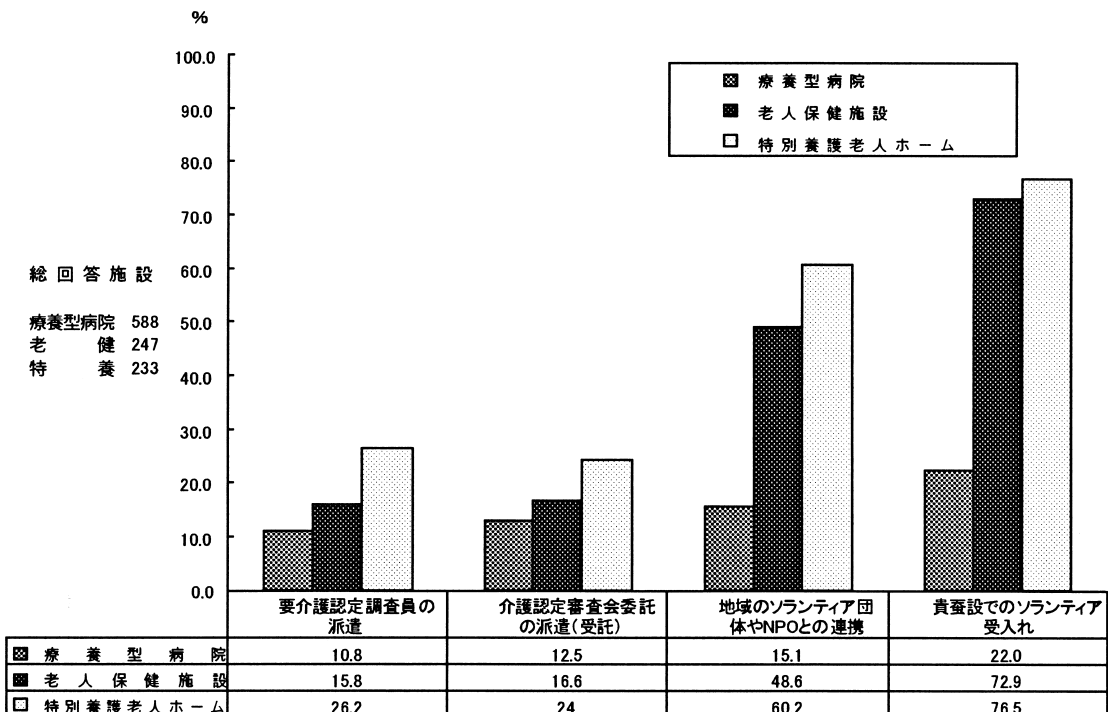


図6 市町村の介護保険実務への参画及びボランティアとの連携(既施行率)



7. 自由記述まとめ

自由記述を1. 本会に対する情報提供の要望(介護報酬、要介護認定、ケアマネージャー、課題分析法、ケアプラン作成、介護サービス、社会的入院患者の退院の円滑化等)2. 企画等の要望の2つに大きく分けまとめた。

本会に対する情報提供の要望としては、調査時介護報酬について未定だったため、3施設共通にみられたのは、介護報酬に対する情報提供の要望が高かった。特に「成功報酬」「個々の医療処置・看護・介護ケア等に対する報酬」についての情報を求める声が多かった。また、要介護認定についても、「施設内での判定は誰がするのか」などの判定基準等に対する情報提供の希望が多く、施設内で、認定基準について十分な情報が浸透していないことがわかった。特に特別養護老人ホームでは、「5年間据え置きされた要支援入所者はどうなるのか」という施設での入所対象外になった利用者への対応に不安があるとの声も聞かれた。また、施設内での「ケアマネージャーの待遇および報酬はどうなるのか」という質問も多く、介護サービスにおいては、「地域格差をどううめるのか」という介護保険に伴う制度に対する不安や、「地域の居宅介護支援事業者について情報提供してほしい」というような地域とのネットワーク作りをしたいという希望が多かった。また、入院患者・入所者が退院・退所し、居宅サービスを受けるにも地域でのサービスの受け皿がない場合があるということが問題となっていることが分かった。

一方、会員向けの企画の要望については、各地域で「介護報酬・制度」、「具体的な介護保険下での施設の運営方法」、「経営プラン」、や「介護支援専門員の質の向上」などをテーマにした研修を企画してほしいという要望が多くあげられた。

(1) 療養型病院

1) 情報提供の要望

○ 介護報酬について(56)

- ・介護度点数化、介護に対する評価の相違点はあるのか。(在宅と施設)
- ・施設のマンパワーの評価はどうなるのか。(人員配置による診療報酬)
- ・退院時のケアプランに対する報酬はどうなるのか。
- ・施設内で看護婦・介護補助者の比率が報酬にどう反映されるのか。
- ・療養型で介護度に応じた利用料はどのくらいになるのか。
- ・保険料負担、利用者負担が増大し、サービスの水準が低下するのではないか。
- ・個々の看護ケア・医療処置に対するコストはどうなるのか。
- ・終末期医療に対する評価はどうなるのか。
- ・デイケアサービスなどの報酬はどうなるのか。
- ・ケアを充実した結果、要介護度が下がり診療報酬も下がってしまう。その場合どうするのか。

- ・成功報酬はどのようになるのか。
 - ・療養病棟に気管切開患者などの重傷者に対する介護報酬はどうなるのか。
 - ・施設内での介護報酬はどうなるのか。
 - ・介護保険を使わずに入院した場合の自費の上限はどうなるのか。
 - ・介護保険適応の制限・限度予算・支給限度額等どうなるのか。
- 要介護認定について(16)
- ・施設内の要介護認定はどうなるのか。
 - ・施設内でのアセスメント票、サービス計画表の準備はどうするのか。
 - ・各施設の広報活動等について、行政で案内はしてもらえるのか。
 - ・要介護認定において、調査員によってかなりの差がでるのではないか。
 - ・療養型病床施設に入所する患者の基準はどうなるのか。
 - ・痴呆患者が認定時、要介護度が低くでることがあるがどうなるのか。
 - ・要介護認定審査会で要介護と認定されず、独居が困難な高齢者に対するケアを行っていくにはどのような方法があるか。
 - ・病院内での患者の要介護認定は院内のケアマネージャーが行うのか。
 - ・施設入所者が認定されないと予測される場合その受け入れ先はどうなるのか。
 - ・訪問看護、在宅医療で支援されているケースでは、要介護認定してみると現在のサービスより低下するケースが多いが、どのようにすればよいのか。
 - ・要介護認定の結果が申請者と認定するものとの間に意識や意見の相違が生じ、問題になった時はどうするのか。
 - ・要介護認定の方法、基準についてどのようになるのか。
 - ・訪問調査票の調査内容の検討が必要ではないか。
- ケアマネージャーについて(27)
- ・ケアマネージャーの待遇はどうなるのか。
 - ・ケアマネージャー資格者の継続教育はどうなるのか。
 - ・介護支援専門員資格者の看護職は、施設内でどのように両立していけるのか。
 - ・病院勤務者におけるケアマネージャーの報酬はケアマネージャー個人か病院のどちらの収入になるのか。
 - ・介護支援専門員実務研修の運営体制及び各県の状況についての情報が必要である。
 - ・施設内で病棟業務とケア・マネージャーを併務することは大変であるのでどのように施設内で対応していけばよいのか。
 - ・ケアマネージャーの認定証の有効期間はあるのか。
 - ・ケアマネージャーの資格はどこが出しているのか またどういう資格なのか。
- 課題分析法(アセスメントツール)について(3)
- ・今後1つに統一される可能性はないのか。

- ・課題分析(アセスメント)をするにあたって、訪問調査に行く時介護支援専門員であるという身分証明が必要であるのか。
- ケアプラン作成について(14)
 - ・施設と在宅のケアプラン作成で、在宅の人が施設入所になった場合などどのように対処するのか。
 - ・ケアプラン作成のためのケアカンファレンスはどのようにすればよいか。
(場所・設定時間・参加メンバー等)
 - ・ケアプラン作成における研修は市町村や、協会で実施されないのか。
 - ・ケアプランの管理と評価及び修正はどのようにすればよいのか。
 - ・介護支援専門員が外来患者のケアプランに関われるのか。
 - ・ケアプランを作成するのに非常に時間がかかるため簡略化するための研究が必要ではないか。
- 介護保険適応の範囲はどうなるのか。(8)
 - ・医療依存度の高い患者をどのレベルまで介護保険でみられるのか。
 - ・身体障害者(65歳以上)はどうなるのか。
 - ・療養型病床群に入院中の患者が病状悪化した場合医療保険は適応されるのか。
 - ・介護保険導入後在宅における介護保険と医療保険の適応範囲はどうなるのか。
- 介護サービスについて(9)
 - ・他の市町村の介護サービスを受けることができるのか。
 - ・サービスを提供する場合の手続きと条件等を知りたい。
 - ・他施設、地域ボランティア団体等の横の連携を実際どのように結べばよいのか。
 - ・地域格差をどのように埋めるのか。
 - ・市町村によるサービスはどのようなものがあるのか。
 - ・病院に地域の居宅支援サービス業者の一覧(種類と金額等の情報を含めた)が必要である。
 - ・福祉用具貸与の対象となる福祉用具の範囲についての情報がほしい。
 - ・介護支援専門員への依頼状況の予測を教えてほしい。
- 社会的入院患者の退院のスムーズ化することについて(8)
 - ・社会的入院患者の受け入れ先が介護保険導入後にどう変化するのか。
 - ・介護保険施設と地域のサービスの連携においてケアプラン作成時どのように工夫すればよいのか。
 - ・山村地域の独居老人の入院が長期化する問題があるが、どのように行政と協力して、退院の方向にもっていけば良いのか。(訪問看護するにも4から26km離れていることがある)
 - ・要支援又は自立の判定される社会的入院の患者への給付はどうなるのか。
(特に在宅施設も不可な患者を抱えている療養施設での対応はどうなるのか。)
- 医療を含む看護全体について(4)
 - ・第4次医療改正の行方はどうなるのか。

- ・急性期・慢性期の病床分離はどうなるのか。
- 介護施設について(22)
 - ・介護保険の施設内基準はどうなるか。
 - ・設備運営に関する基準を教えてください。
 - ・看護要員の配置基準はどう変わるのか。
 - ・介護職員の配置する職員数の見直しが必要ではないか。
 - ・重症者にも対応できるよう看護・介護職者の増員・教育が必要ではないか。
 - ・療養型病床の単科病院で一般病床も置くことが可能になるのか。
 - ・介護職員の充実を考えてほしい。(特に夜間の看護体制)
 - ・療養型病床群の医療系における人員配置の充実を考えてほしい。
 - ・療養型病床群の必要病床数の上限の設定は市区町村でどうなっているのか。
 - ・リハビリテーション施設の位置づけは介護保険下ではどうなるのか。
 - ・介護保険施設にする場合、介護福祉士の資格者の配置は義務づけられるのか。
- 身体拘束等禁止規定に対する情報がほしい。(3)
- 介護支援専門員における試験制度の在り方について情報がほしい。
- 訪問看護など事務所を開設するにはどのようにすればよいのか。
 - ・訪問看護ステーションの開設または病院内で訪問看護を続けるのかどちらがよいのか。
- 療養型病床医療型はどのような準備をすればよいのか。
 - ・介護保険適応後は介護・看護関係者は具体的にどのように対応すればよいのか。
 - ・療養型病床群の要介護認定をした場合、看護上必要な記録物等はどのようなものがいいのか。
- 指定居宅介護支援事業者では介護支援専門員の仕事量がどの程度になるのか。
- 看護業務と介護業務の責任と範囲、特に医療施設内で働く介護職員への教育と法的責任の範囲はどうなっているのか。
- 介護保険給付支払い請求など事務手続きについてどのようになるのか。
支払請求の申請形式等を具体的に教えていただきたい。
- NPOの状況を教えてください。(2)

2) 企画等の要望(10)

- 介護保険制度などの説明会を各地域で企画してほしい。
- 介護療養型施設における具体的な運営、経営プラン等などの説明会を開いてほしい。
- 情報を得るため衛星放送などを活用し介護保険に関することを教えてください。
- 住民(国民)をふくめて介護保険に関することを説明してほしい。
- 介護支援専門員の質を上げる研修を企画してほしい。
- トラブルへのQ & A / 民間の指定サービス業者のリスト作成してほしい。
看護協会に対する要望(6)

- 看護協会として介護保険制度をどのように考えているのか また支援していくのか。
- 看護協会ニュースに診療報酬および介護報酬等の情報源をのせてほしい。
- 看護協会の政策方針が専門分野化されすぎているため今後の情勢を把握していないよう見受けられるので、もっと努力してほしい。
- 看護協会主催で介護保険に関する各論的、具体的な制度、サービスを教えてほしい。

(2) 老人保健施設

1) 情報提供の要望

- 介護報酬について(22)
 - ・おむつ代などの報酬はどうなるのか。
 - ・デイケアでの個人負担はどうなるのか。
 - ・成功報酬についての情報がほしい。
 - ・老人保健施設における逓減制の報酬はどうなるのか。
 - ・介護報酬の支給限度額について教えてほしい。
 - ・サービス別の介護報酬はあるのか教えてほしい。
 - ・介護保険と医療保険の利用範囲はどうなるのか。
 - ・老人保健施設についてはどのような介護報酬体系がとられるのか。
 - ・施設内で治療(特にインシュリンなど)するのに経費的に負担になるものがあり、施設の経営を圧迫する。それを回避できるような報酬体系を考えてほしい。
 - ・痴呆性老人加算では寝たきりの状態になっていない痴呆性老人を対象にしている(自立歩行可能者)が車椅子など重度の入所者に対しても加算を考えてほしい。
 - ・高度な医療措置を必要とされている入所者を処置料、物品の使用料など、どのように個人に請求できるのか。(現在施設療養費でまかなっている)
 - ・退所前訪問時に介護度の高い入所者への指導・支援への報酬化を希望する。
 - ・施設から在宅にむけて入所者に対しおこなう退所時指導料はどう算定されるのか。
- 要介護認定について(10)
 - ・介護認定時に行うチェックの項目は、変更されることはないのか。
 - ・要介護度についての基準を教えてほしい。
 - ・入所者の要介護認定はだれがするのか。
 - ・要介護認定の判定は困難になると考えられるがどのようになるのか。
- ケアマネージャーについて(4)
 - ・ケアマネージャーへの報酬はあるのか。
 - ・ケアマネージャーが少ない施設についてどうなるのか。

- ・ケアマネージャーとして働く場合、訪問調査は十分な時間をかけられるのか。
- ケアプラン作成について(3)
 - ・ケアプラン作成の代行は平成14年以降できないのか。
- 介護保険適応の範囲はどうなるのか。
- 介護サービスについて(10)
 - ・県・市町村の支援サービスについての情報がほしい。
 - ・居宅介護支援事業者の業務内容についての教えてほしい。
 - ・地域の居宅介護事業者やそのシステム等の状況に関する情報がほしい。
 - ・要介護、要支援にもならない人、社会的弱者に対してどう対応していくのか。
 - ・病院と施設間の医療・看護・介護職者の介護保険についての認識が違うため、介護保険制度に関するより詳細な情報が必要である。
 - ・介護保険内でのサービスを考えるため、利用者にとって他のサービスを受けたくても受けられないような状態になるのではないか。また、利用者に経済的負担がかかる場合も多いのではないか。
 - ・サービスの地域格差はどれくらいあるのかまた推測しているのか。
 - ・サービスの地域格差に対する対策は立てられているのか。
 - ・どこまでの医療を老人保健施設では要求されるのか。
- ターミナル・ケアについて(3)
 - ・老人保健施設でターミナル・ケアをどこまで行っていくのか。
 - ・ターミナル・ケアに対処するための施設設備、人員配置、看護・介護の役割はどうなるのか。今よりも厚い看護職員配置をしてほしい。
- 社会的入所患者の退院のスムーズ化することについて(4)
 - ・老人保健施設に入所しているが要支援と認定された入所者で家族の受け入れ見込みのない人はどうなるのか。
- 介護施設について(7)
 - ・看護要員を増加させるには、どのようにすればよいのか。
 - ・人員配置基準をあげるような取り組みをしていただきたい。
 - ・老人保健施設の入所要件はどうなるのか。
 - ・介護保険適応後、入所する利用者の介護度が重度化する可能性があり、サービスの質を維持、向上できない可能性がある。そのため今後どのように人員配置すればよいのか。
 - ・介護保険制度下における施設における経営効率のよい運営方法について情報がほしい。
 - ・施設基準はどのようになるのか。
 - ・介護保険導入後の記録・国保への提出書類・実施指導の書類等どうなるのか。
- 老人保健施設でヘルパー養成所やヘルパーステーションを開設するにはどうすればよいのか。(2)
- 介護保険導入に向けて職員をどのように教育していけばよいのか。

- 入所者で要介護、要支援にならない場合の入所者及び家族への対応はどうすればよいのか。
- 介護保険申請者の老人保健施設にマネジメントされるベッド数はどうなるのか。ベッドをどのように確保すればよいのか。(2)
- 老人保健施設で入所者で要介護認定を受けられない人はどうなるのか移行期間などは考えられているのか。

2) 企画等の要望(10)

- 介護報酬についての説明会を行ってほしい。
- 介護保険制度などに関する一連の情報を提供してほしい。

看護協会に対する要望(2)

- 介護保険に関する厚生省より出されている資料、審議会の資料等および現状の取り組み状況を知らせてほしい。
- 老人保健施設で介護保険導入後、介護報酬、制度等でどうなるのかということを説明会で具体的に教えてほしい。

(3) 特別養護老人ホーム

1) 情報提供の要望

介護報酬について(22)

- ・看護処置(じょく創処置・膀胱、胃チューブ交換など)は、介護保険で請求できるのか?
- ・施設での介護報酬について知りたい
- ・具体的な報酬が知りたい(おむつ交換1回、15分間散歩する値段等)
- ・施設を利用されている方が、入院等により、一時施設を離れた場合の医療保険と介護保険適応はどうなるのか
- ・嘱託医の定期検診の報酬は介護保険からでるのか

要介護認定について(2)

- ・要支援者の5年間据え置きで入所される方についての入所金額はどうなるのか

ケアマネージャーについて(6)

- ・施設内でのケアマネージャーの具体的な業務・位置付け、ケアプラン作成での役割について教えてほしい。
- ・ケアプラン作成にあたり、OA機器などの情報についておしえてほしい

看護・介護サービスについて(6)

- ・よりよい看護サービスを行うためにもっと看護職員を増やしてほしい。
- ・常勤の医師がおらず、夜勤の看護婦がいないため、IVHなどの医療的処置に対して看護職の数

が不足

社会的入所者の退院のスムーズ化することについて(5)

- ・病院と併設しているため、急変時即入院させているが、退院後どうなるのか？
- ・要介護認定後、要支援の人は5年後退所となるが、どうなるのか？

介護保険施設について(5)

- ・介護保険施設である特別養護老人ホームではどのまで医療処置ができるのか？

2) 企画等の要望 (5)

- ・介護保険制度に関する研修会を開いてほしい
- ・介護職への教育するための研修会を開いてほしい
- ・各都道府県毎に研修会を開催してほしい(文書等の通知だけでもよい)

統 計 表

統計表1 療養型病院 設置主体・都道府県

	計	国	都道府県 ・市町村	公的	社会保険 関係団体	医療法人 ・個人	その他	不明・ 無回答
計	558	2	18	11	2	473	49	3
北海道	38	-	1	1	1	31	4	-
青森	5	-	-	-	-	4	1	-
岩手	4	-	-	-	-	3	1	-
宮城	6	-	2	-	-	4	-	-
秋田	7	-	1	-	-	6	-	-
山形	7	-	-	-	-	6	1	-
福島	4	-	-	1	-	2	1	-
茨城	3	-	-	-	-	3	-	-
栃木	7	-	-	-	-	6	1	-
群馬	10	-	2	-	-	7	1	-
埼玉	16	-	-	1	-	15	-	-
千葉	26	-	1	-	-	23	2	-
東京	23	1	-	-	-	17	5	-
神奈川	22	-	-	-	-	20	1	1
新潟	15	-	-	1	-	13	1	-
富山	5	-	-	-	-	5	-	-
石川	10	-	-	-	1	9	-	-
福井	4	-	-	-	-	3	1	-
山梨	7	-	1	-	-	6	-	-
長野	3	-	1	-	-	1	1	-
岐阜	8	-	1	-	-	7	-	-
静岡	15	-	1	1	-	11	1	1
愛知	12	-	-	-	-	11	-	1
三重	10	-	-	-	-	10	-	-
滋賀	4	-	1	-	-	3	-	-
京都	6	-	-	-	-	5	1	-
大阪	28	-	-	1	-	26	1	-
兵庫	29	-	-	-	-	27	2	-
奈良	4	-	-	-	-	4	-	-
和歌山	2	-	-	-	-	2	-	-
鳥取	6	-	1	1	-	3	1	-
島根	5	-	-	-	-	3	2	-
岡山	16	1	1	-	-	10	4	-
広島	21	-	-	-	-	19	2	-
山口	18	-	-	1	-	16	1	-
徳島	8	-	-	1	-	7	-	-
香川	5	-	1	-	-	3	1	-
愛媛	10	-	-	-	-	9	1	-
高知	24	-	1	-	-	23	-	-
福岡	32	-	-	-	-	28	4	-
佐賀	5	-	-	-	-	5	-	-
長崎	8	-	-	-	-	7	1	-
熊本	23	-	-	1	-	21	1	-
大分	6	-	1	-	-	4	1	-
宮崎	5	-	-	-	-	4	1	-
鹿児島	17	-	1	1	-	13	2	-
沖縄	9	-	-	-	-	8	1	-

統計表 2 療養型病院 療養病棟規模・都道府県

	計	19床以下	20-49床	50-99床	100-199床	200-299床	300-499床	500床以上
計	348	-	83	138	97	20	8	2
北海道	26	-	8	3	11	2	1	1
青森	2	-	-	1	-	1	-	-
岩手	4	-	-	1	3	-	-	-
宮城	6	-	4	2	-	-	-	-
秋田	3	-	1	1	1	-	-	-
山形	5	-	2	2	1	-	-	-
福島	2	-	-	2	-	-	-	-
茨城	1	-	1	-	-	-	-	-
栃木	6	-	1	3	2	-	-	-
群馬	8	-	5	3	-	-	-	-
埼玉	7	-	-	4	1	-	2	-
千葉	8	-	1	2	4	1	-	-
東京	10	-	4	4	2	-	-	-
神奈川	8	-	3	3	1	1	-	-
新潟	10	-	3	5	2	-	-	-
富山	4	-	-	1	2	1	-	-
石川	7	-	-	5	1	-	-	1
福井	2	-	1	-	1	-	-	-
山梨	7	-	2	1	3	1	-	-
長野	2	-	-	2	-	-	-	-
岐阜	6	-	2	4	-	-	-	-
静岡	8	-	1	3	4	-	-	-
愛知	6	-	1	4	1	-	-	-
三重	6	-	1	3	2	-	-	-
滋賀	1	-	-	1	-	-	-	-
京都	4	-	1	3	-	-	-	-
大阪	14	-	2	3	7	2	-	-
兵庫	15	-	3	7	3	2	-	-
奈良	4	-	1	1	2	-	-	-
和歌山	1	-	1	-	-	-	-	-
鳥取	5	-	2	3	-	-	-	-
島根	3	-	1	1	1	-	-	-
岡山	14	-	4	7	3	-	-	-
広島	17	-	4	9	3	-	1	-
山口	12	-	-	4	5	1	2	-
徳島	7	-	2	3	1	1	-	-
香川	3	-	2	1	-	-	-	-
愛媛	8	-	2	3	2	1	-	-
高知	18	-	4	9	5	-	-	-
福岡	20	-	3	6	7	2	2	-
佐賀	2	-	1	1	-	-	-	-
長崎	4	-	-	2	1	1	-	-
熊本	17	-	2	5	7	3	-	-
大分	6	-	3	2	1	-	-	-
宮崎	4	-	-	2	2	-	-	-
鹿児島	10	-	4	3	3	-	-	-
沖縄	5	-	-	3	2	-	-	-

統計表3 療養型病院 老人病床規模・都道府県

	計	19床以下	20-49床	50-99床	100-199床	200-299床	300-499床	500床以上
計	221	2	35	72	80	23	7	2
北海道	14	2	2	5	5	-	-	-
青森	3	-	1	1	1	-	-	-
秋田	4	-	1	2	1	-	-	-
山形	2	-	-	-	2	-	-	-
福島	2	-	-	-	1	1	-	-
茨城	2	-	1	1	-	-	-	-
栃木	1	-	-	1	-	-	-	-
群馬	2	-	1	-	1	-	-	-
埼玉	9	-	-	2	3	2	2	-
千葉	18	-	4	7	5	1	-	1
東京	16	-	4	4	5	3	-	-
神奈川	14	-	-	6	6	2	-	-
新潟	5	-	-	-	4	1	-	-
富山	1	-	-	-	-	-	1	-
石川	3	-	-	-	1	1	1	-
福井	3	-	1	1	1	-	-	-
長野	1	-	-	1	-	-	-	-
岐阜	2	-	-	-	2	-	-	-
静岡	8	-	-	2	5	1	-	-
愛知	5	-	1	2	1	1	-	-
三重	5	-	-	3	1	1	-	-
滋賀	3	-	-	2	1	-	-	-
京都	2	-	-	1	1	-	-	-
大阪	14	-	3	6	4	1	-	-
兵庫	12	-	4	3	4	1	-	-
奈良	2	-	1	-	-	1	-	-
和歌山	1	-	-	1	-	-	-	-
鳥取	1	-	-	1	-	-	-	-
島根	2	-	-	1	1	-	-	-
岡山	4	-	1	3	-	-	-	-
広島	4	-	1	1	1	1	-	-
山口	6	-	-	2	2	-	2	-
徳島	1	-	-	-	1	-	-	-
香川	2	-	1	-	-	1	-	-
愛媛	2	-	-	1	-	-	1	-
高知	5	-	-	2	3	-	-	-
福岡	14	-	1	5	5	2	-	1
佐賀	2	-	-	1	1	-	-	-
長崎	4	-	1	-	2	1	-	-
熊本	7	-	1	2	3	1	-	-
大分	1	-	-	-	1	-	-	-
宮崎	1	-	-	-	1	-	-	-
鹿児島	7	-	4	1	2	-	-	-
沖縄	4	-	1	1	2	-	-	-

統計表 4 療養型病院 併設機関・都道府県（複数回答）

	回答施設数	在宅介護支援センター	訪問看護ステーション	特別養護老人ホーム	老人保健施設	その他
計	558	106	200	35	133	81
北海道	38	10	11	3	11	5
青森	5	1	3	1	3	-
岩手	4	2	1	1	2	-
宮城	6	-	2	-	1	1
秋田	7	1	3	-	4	-
山形	7	3	5	-	-	-
福島	4	1	1	-	-	1
茨城	3	-	1	-	1	-
栃木	7	1	3	-	-	-
群馬	10	3	2	1	6	-
埼玉	16	5	7	3	4	4
千葉	26	5	12	1	4	1
東京	23	3	8	1	2	4
神奈川	22	-	4	-	3	1
新潟	15	2	5	-	6	-
富山	5	-	-	-	1	-
石川	10	2	-	-	4	3
福井	4	2	3	-	1	1
山梨	7	1	5	-	1	2
長野	3	1	-	-	-	-
岐阜	8	3	2	-	2	3
静岡	15	3	4	1	4	1
愛知	12	1	6	-	4	1
三重	10	-	2	-	1	1
滋賀	4	-	-	-	1	1
京都	6	3	3	-	-	2
大阪	28	3	11	1	4	1
兵庫	29	-	9	1	5	1
奈良	4	1	2	-	2	1
和歌山	2	-	-	-	-	-
鳥取	6	2	3	-	-	-
島根	5	1	4	-	3	1
岡山	16	4	3	1	3	3
広島	21	3	10	-	5	4
山口	18	8	7	4	8	3
徳島	8	4	4	1	4	2
香川	5	-	-	2	1	1
愛媛	10	6	8	2	5	5
高知	24	-	9	1	3	4
福岡	32	4	12	1	6	3
佐賀	5	-	1	1	1	2
長崎	8	2	2	2	4	2
熊本	23	7	9	2	4	7
大分	6	3	3	1	1	2
宮崎	5	-	-	-	1	1
鹿児島	17	3	6	2	4	3
沖縄	9	2	4	1	3	3

統計表5 療養型病院 設置主体・併設機関（複数回答）

（％）

	回答施設数	併設機関				
		在宅介護支援センター	訪問看護ステーション	特別養護老人ホーム	老人保健施設	その他
計	558 (100.0)	106 (19.0)	200 (35.8)	35 (6.3)	133 (23.8)	81 (14.5)
国	2 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (50.0)
都道府県・市町村	18 (100.0)	3 (16.7)	5 (27.8)	- (-)	5 (27.8)	2 (11.1)
公的	11 (100.0)	2 (18.2)	3 (27.3)	- (-)	- (-)	- (-)
社会保険関係団体	2 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
医療法人・個人	473 (100.0)	90 (19.0)	175 (37.0)	31 (6.6)	118 (24.9)	70 (14.8)
その他	49 (100.0)	10 (20.4)	16 (32.7)	4 (8.2)	10 (20.4)	8 (16.3)
不明・無回答	3 (100.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	- (-)	- (-)	- (-)

統計表 6 療養型病院 設置主体・療養型病床群入院医療管理料と群区分
(療養型病床群をもつ351施設について集計)

(%)

		療 養 型 病 床 群 入 院 医 療 管 理 料								
設置主体	計									不明・無回答
群	計	45 (100.0)	22 (48.9)	12 (26.7)	2 (4.4)	2 (4.4)	2 (4.4)	- (-)	1 (2.2)	4 (8.9)
	国	1 (100.0)	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	都道府県・市町村	6 (100.0)	2 (33.3)	2 (33.3)	1 (16.7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (16.7)
	公的	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	社会保険 関係団体	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 100.0
	医療法人 ・個人	29 (100.0)	12 (41.4)	9 (31.0)	1 (3.4)	2 (6.9)	2 (6.9)	- (-)	1 (3.4)	2 (6.9)
	その他	6 (100.0)	6 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	不明・ 無回答	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	群	計	293 (100.0)	179 (61.1)	73 (24.9)	17 (5.8)	12 (4.1)	- (-)	- (-)	- (-)
国		1 (100.0)	- (-)	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
都道府県・市町村		11 (100.0)	8 (72.7)	1 (9.1)	2 (18.2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
公的		6 (100.0)	2 (33.3)	4 (66.7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
社会保険 関係団体		1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (100.0)
医療法人・ 個人		248 (100.0)	153 (61.7)	59 (23.8)	14 (5.6)	11 (4.4)	- (-)	- (-)	- (-)	11 (4.4)
その他		24 (100.0)	15 (62.5)	7 (29.2)	1 (4.2)	1 (4.2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
不明・ 無回答		2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
不明・ 無回答	医療法人・ 個人	13 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	13 (100.0)

統計表7 療養型病院 設置主体・特例許可老人病棟入院医療管理料
(特例病棟入院医療管理病棟をもつ228病院で集計)

(%)

	計	特例許可老人病棟入院医療管理料						不明・無回答
計	228 (100.0)	126 (55.3)	67 (29.4)	14 (6.1)	3 (1.3)	2 (0.9)	1 (0.4)	15 (6.6)
都道府県・ 市町村	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)
公的	3 (100.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
医療法人・ 個人	199 (100.0)	113 (56.8)	57 (28.6)	12 (6.0)	2 (1.0)	2 (1.0)	1 (0.5)	12 (6.0)
その他	24 (100.0)	10 (41.7)	9 (37.5)	2 (8.3)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (12.5)
無回答	1 (100.0)	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)

統計表 8 老人保健施設 設置主体・都道府県

	計	医療法人	社会福祉 法人	国、地方 公共団体	公的・社会 保険団体	その他	不明
計	243	171	40	8	2	12	10
北海道	19	16	1	1	-	-	1
青森	14	6	5	-	-	2	1
岩手	6	3	1	1	-	-	1
宮城	4	4	-	-	-	-	-
秋田	9	2	4	1	-	1	1
山形	9	3	5	-	-	-	1
福島	8	3	-	2	1	1	1
茨城	5	4	-	-	-	-	1
栃木	3	2	-	1	-	-	-
群馬	2	1	1	-	-	-	-
埼玉	3	2	-	-	-	1	-
千葉	6	5	-	-	-	1	-
東京	1	1	-	-	-	-	-
神奈川	5	2	1	-	-	2	-
新潟	8	4	4	-	-	-	-
富山	1	1	-	-	-	-	-
石川	1	1	-	-	-	-	-
長野	3	1	1	1	-	-	-
岐阜	6	6	-	-	-	-	-
静岡	6	6	-	-	-	-	-
愛知	4	4	-	-	-	-	-
三重	8	5	2	1	-	-	-
京都	2	2	-	-	-	-	-
大阪	6	5	1	-	-	-	-
兵庫	7	6	1	-	-	-	-
奈良	1	1	-	-	-	-	-
和歌山	2	2	-	-	-	-	-
鳥取	2	2	-	-	-	-	-
岡山	8	5	-	-	-	2	1
広島	6	5	1	-	-	-	-
山口	6	6	-	-	-	-	-
愛媛	6	2	2	-	1	-	1
高知	2	2	-	-	-	-	-
福岡	19	15	4	-	-	-	-
佐賀	5	3	1	-	-	-	1
長崎	7	5	2	-	-	-	-
熊本	14	12	1	-	-	1	-
大分	3	3	-	-	-	-	-
宮崎	4	3	-	-	-	1	-
鹿児島	8	8	-	-	-	-	-
沖縄	4	2	2	-	-	-	-

統計表9 老人保健施設 併設機関・都道府県（複数回答）

	回答施設数	病院	診療所	歯科診療所	軽費老人ホーム	養護老人ホーム	在宅介護支援センター	訪問看護ステーション	その他
計	243	110	30	6	2	18	122	100	34
北海道	19	9	3	-	-	1	11	9	3
青森	14	4	3	-	-	1	8	6	2
岩手	6	1	2	-	-	1	1	3	-
宮城	4	1	-	-	-	-	1	2	-
秋田	9	2	-	-	-	1	4	3	-
山形	9	2	2	-	-	-	2	2	-
福島	8	4	3	1	-	2	6	3	1
茨城	5	2	1	-	-	-	1	2	1
栃木	3	2	1	-	-	-	-	-	-
群馬	2	-	-	-	-	-	2	1	-
埼玉	3	-	-	-	-	-	3	1	1
千葉	6	3	-	1	-	-	1	2	-
東京	1	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	5	3	-	-	-	-	3	1	-
新潟	8	6	1	-	-	2	4	2	1
富山	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨	6	1	-	-	-	-	-	-	-
長野	6	1	-	-	-	-	2	-	-
岐阜	4	1	1	1	-	-	3	1	-
静岡	8	4	-	-	-	-	3	-	2
愛知	2	2	1	-	-	-	3	3	-
三重	6	4	-	-	-	-	2	2	1
滋賀	7	-	-	-	-	-	-	-	-
京都	1	1	-	-	-	1	2	2	1
大阪	2	4	-	-	-	-	3	5	2
兵庫	2	3	-	-	-	-	2	4	1
奈良	8	1	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	6	1	-	-	-	-	1	1	1
鳥取	6	-	1	-	-	-	-	1	-
島根	6	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	2	2	2	-	-	-	5	3	-
広島	19	4	1	-	-	-	4	4	2
山口	5	3	-	-	1	1	6	2	3
徳島	7	-	-	-	-	-	-	-	-
香川	14	-	-	-	-	1	1	-	-
愛媛	3	4	-	-	-	1	6	4	2
高知	4	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡	8	10	4	1	-	1	4	8	2
佐賀	4	3	1	-	1	1	5	4	2
長崎	10	3	-	-	-	-	4	2	1
熊本	27	6	2	-	-	3	8	6	2
大分	4	-	1	-	-	-	1	1	1
宮崎	7	3	-	-	-	-	2	2	-
鹿児島	18	7	-	1	-	-	4	5	1
沖縄	10	2	-	1	-	1	3	2	1

統計表10 老人保健施設 設置主体・併設機関(複数回答)

(%)

	併 設 機 関								
	回答 施設数	病院	診療所	歯科 診療所	軽費老人 ホーム	養護老人 ホーム	在宅介護 支援セン ター	訪問看護 ステー ション	その他
計	247 (100.0)	108 (43.7)	30 (12.1)	6 (2.4)	2 (0.8)	17 (6.9)	120 (48.6)	98 (39.7)	34 (13.8)
医療法人	171 (100.0)	86 (50.3)	24 (14.0)	6 (3.5)	1 (0.6)	6 (3.5)	82 (48.0)	80 (46.8)	26 (15.2)
社会福祉 法人	40 (100.0)	5 (12.5)	3 (7.5)	- (-)	1 (2.5)	7 (17.5)	20 (50.0)	6 (15.0)	6 (15.0)
国・地方 公共団体	8 (100.0)	5 (62.5)	1 (12.5)	- (-)	- (-)	2 (25.0)	4 (50.0)	2 (25.0)	1 (12.5)
公的・社会 保険団体	2 (100.0)	2 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (100.0)	1 (50.0)	- (-)
その他	12 (100.0)	7 (58.3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (50.0)	4 (33.3)	- (-)
不明	10 (100.0)	3 (30.0)	2 (20.0)	- (-)	- (-)	2 (20.0)	6 (60.0)	5 (50.0)	1 (10.0)

統計表11 老人保健施設 定員規模・都道府県

	計	定員数		
		4～80	81～100	100～200
計	246	65	153	28
北海道	19	3	15	1
青森	14	1	12	1
岩手	6	2	4	-
宮城	4	-	3	1
秋田	9	-	8	1
山形	9	1	8	-
福島	8	2	6	-
茨城	5	1	4	-
栃木	3	-	2	1
群馬	2	2	-	-
埼玉	3	-	1	2
千葉	6	1	3	2
東京	1	-	-	1
神奈川	5	-	5	-
新潟	8	-	6	2
富山	1	-	1	-
石川	1	-	1	-
山梨	1	-	1	-
長野	3	1	2	-
岐阜	6	-	3	3
静岡	5	-	3	2
愛知	5	-	2	3
三重	8	2	6	-
京都	2	1	1	-
大阪	6	1	3	2
兵庫	7	-	7	-
奈良	1	1	-	-
和歌山	2	1	-	1
鳥取	2	-	2	-
岡山	8	3	4	1
広島	6	2	3	1
山口	6	3	3	-
香川	1	1	-	-
愛媛	6	4	1	1
高知	2	2	-	-
福岡	20	3	17	-
佐賀	5	5	-	-
長崎	7	3	3	1
熊本	14	9	5	-
大分	3	1	2	-
宮崎	4	3	-	1
鹿児島	8	4	4	-
沖縄	4	2	2	-

統計表12 老人保健施設 通所者定員規模・都道府県

	計	通所者定員数		
		1～20	21～40	41～110
計	239	97	83	59
北海道	18	5	8	5
青森	13	4	2	7
岩手	6	5	1	-
宮城	4	2	1	1
秋田	9	7	2	-
山形	9	2	4	3
福島	8	6	2	-
茨城	4	2	1	1
栃木	3	3	-	-
群馬	2	-	-	2
埼玉	3	2	-	1
千葉	6	3	3	-
東京	1	1	-	-
神奈川	5	4	1	-
新潟	8	4	3	1
富山	1	1	-	-
石川	1	-	1	-
山梨	1	1	-	-
長野	3	1	2	-
岐阜	6	3	2	1
静岡	5	4	-	1
愛知	5	2	1	2
三重	6	3	3	-
京都	2	1	-	1
大阪	6	-	4	2
兵庫	7	2	4	1
奈良	1	-	1	-
和歌山	2	-	1	1
鳥取	2	1	1	-
岡山	7	1	2	4
広島	6	1	1	4
山口	6	3	1	2
香川	1	1	-	-
愛媛	6	3	1	2
高知	2	-	1	1
福岡	20	7	9	4
佐賀	4	3	1	-
長崎	7	1	5	1
熊本	14	3	7	4
大分	3	-	1	2
宮崎	4	1	1	2
鹿児島	8	3	3	2
沖縄	4	1	2	1

統計表13 老人保健施設 ショートステイ定員規模・都道府県

	計	ショート・ステイ定員数		
		0~5	6~10	11~30
計	238	96	101	41
北海道	17	8	7	2
青森	13	6	7	-
岩手	6	3	2	1
宮城	4	4	-	-
秋田	9	5	3	1
山形	9	4	3	2
福島	8	-	4	4
茨城	5	3	2	-
栃木	3	-	3	-
群馬	2	-	2	-
埼玉	3	-	-	3
千葉	6	1	2	3
東京都	1	-	-	1
神奈川県	5	-	3	2
新潟	8	2	4	2
富山	1	-	-	1
石川	1	1	-	-
山梨	1	-	1	-
長野	2	-	1	1
岐阜	6	-	3	3
静岡県	5	-	4	1
愛知県	5	1	1	3
三重	7	5	1	1
京都	2	-	1	1
大阪	6	1	3	2
兵庫県	7	3	3	1
奈良	1	1	-	-
和歌山	2	1	1	-
鳥取	2	-	2	-
岡山	8	4	2	2
広島	6	2	4	-
山口	6	4	2	-
香川	1	1	-	-
愛媛	5	1	3	1
高知	2	-	2	-
福岡	19	15	4	-
佐賀	4	4	-	-
長崎	7	2	3	2
熊本	14	5	9	-
大分	3	1	2	-
宮崎	4	3	-	1
鹿児島	8	2	6	-
沖縄	4	3	1	-

統計表14 老人保健施設 痴呆性専門病棟入所定員規模・都道府県

	計	痴呆性専門病棟入所定員数		
		0～25	26～40	41～85
計	88	21	41	26
北海道	9	1	5	3
青森	2	-	-	2
岩手	2	2	-	-
宮城	1	-	1	-
秋田	3	1	1	1
山形	5	2	2	1
福島	4	2	1	1
茨城	1	1	-	-
群馬	2	2	-	-
埼玉	3	-	1	2
千葉	1	-	1	-
神奈川	4	2	1	1
新潟	3	-	3	-
岐阜	1	-	-	1
静岡	1	-	-	1
三重	2	-	1	1
大阪	3	1	-	2
兵庫	1	1	-	-
奈良	1	-	1	-
和歌山	1	-	1	-
岡山	5	-	4	1
広島	1	-	1	-
山口	2	-	2	-
愛媛	1	-	1	-
福岡	14	1	6	7
佐賀	1	-	1	-
長崎	3	2	-	1
熊本	5	1	4	-
宮崎	3	1	1	1
鹿児島	2	1	1	-
沖縄	1	-	1	-

統計表15 老人保健施設 平均在所日数・都道府県

	計	平均在所日数			
		1～100	101～200	201～300	301～
計	202	48	56	43	55
北海道	15	4	4	4	3
青森	9	-	2	2	5
岩手	4	3	-	-	1
宮城	3	-	-	1	2
秋田	9	-	4	-	5
山形	9	1	3	3	2
福島	6	3	2	-	1
茨城	4	1	1	2	-
栃木	3	2	-	1	-
群馬	2	-	2	-	-
埼玉	3	1	2	-	-
千葉	5	2	-	2	1
神奈川県	5	3	2	-	-
新潟	7	-	3	1	3
富山	1	-	-	-	1
石川	1	-	-	-	1
山梨	1	-	-	1	-
長野	2	1	1	-	-
岐阜	6	3	-	3	-
静岡	3	-	-	3	-
愛知	5	1	3	1	-
三重	5	1	1	2	1
京都	2	2	-	-	-
大阪	5	4	1	-	-
兵庫	6	2	4	-	-
奈良	1	1	-	-	-
和歌山	2	-	1	-	1
鳥取	1	1	-	-	-
岡山	6	2	1	1	2
広島	6	-	2	2	2
山口	4	-	1	-	3
香川	1	-	-	-	1
愛媛	6	2	1	1	2
高知	2	-	1	-	1
福岡	16	3	5	2	6
佐賀	4	-	1	2	1
長崎	5	1	-	2	2
熊本	10	-	5	2	3
大分	3	1	1	-	1
宮崎	3	1	1	-	1
鹿児島	7	1	1	4	1
沖縄	4	1	-	1	2

統計表16 特別養護老人ホーム 設置主体・都道府県

	計	設置主体				
		公立	官設民営	社会福祉法人	その他	無回答
計	233	22	12	192	3	4
北海道	14	3	1	10	-	-
青森	3	2	-	1	-	-
岩手	6	2	-	4	-	-
宮城	4	-	-	4	-	-
秋田	16	7	1	8	-	-
山形	4	-	-	4	-	-
福島	2	-	-	2	-	-
栃木	1	-	-	1	-	-
群馬	4	-	-	4	-	-
埼玉	2	-	1	1	-	-
千葉	8	2	-	6	-	-
東京	9	-	2	6	-	1
神奈川	6	-	-	6	-	-
新潟	24	1	-	23	-	-
富山	3	-	-	3	-	-
石川	1	-	-	1	-	-
山梨	1	-	-	1	-	-
岐阜	8	-	1	7	-	-
静岡	9	-	-	9	-	-
愛知	6	-	-	6	-	-
三重	5	-	-	5	-	-
滋賀	3	-	-	3	-	-
京都	1	-	-	1	-	-
大阪	3	-	1	2	-	-
兵庫	16	-	2	14	-	-
奈良	1	-	-	1	-	-
和歌山	8	3	-	4	-	1
鳥取	1	-	-	-	-	1
島根	1	-	-	1	-	-
岡山	5	1	-	4	-	-
広島	7	-	-	7	-	-
山口	5	-	1	4	-	-
徳島	1	-	-	1	-	-
香川	8	-	2	6	-	-
愛媛	1	-	-	1	-	-
福岡	10	-	-	7	2	1
佐賀	4	-	-	4	-	-
長崎	1	-	-	-	1	-
熊本	10	-	-	10	-	-
大分	1	-	-	1	-	-
宮崎	1	-	-	1	-	-
鹿児島	7	1	-	6	-	-
沖縄	2	-	-	2	-	-

統計表17 特別養護老人ホーム 併設機関・都道府県（複数回答）

	回答 施設数	病院	診療所	歯科 診療所	軽費 老人 ホーム	養護 老人 ホーム	在宅支 援セン ター	訪問看護 ステー ション	老人 保健 施設	その他
計	233	15	34	6	23	26	149	17	13	115
北海道	14	1	2	1	1	2	7	3	2	9
青森	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-
岩手	6	-	1	-	-	1	2	-	-	3
宮城	4	-	-	-	1	-	2	-	-	2
秋田	16	1	2	1	5	3	11	1	1	7
山形	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島	2	-	1	-	-	1	2	-	1	1
茨城	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬	2	-	-	-	-	1	2	-	-	2
埼玉	8	-	1	-	-	1	2	1	-	1
千葉	9	-	1	-	-	-	4	1	-	3
東京	6	-	1	-	1	2	4	-	-	2
神奈川	24	1	-	1	-	1	2	-	1	1
新潟	3	5	1	-	-	1	19	3	2	14
富山	1	-	-	-	-	-	3	-	-	2
石川	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1
福井	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨	9	-	1	-	-	1	1	-	-	-
長野	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜	5	-	-	-	-	-	7	1	-	3
静岡	3	2	1	-	-	-	8	2	-	3
愛知	1	-	1	2	2	-	1	-	-	4
三重	3	-	2	1	-	-	4	-	-	3
滋賀	16	-	-	-	2	-	2	1	-	2
京都	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1
大阪	8	-	2	-	1	-	3	-	-	2
兵庫	1	-	1	-	2	3	11	1	1	11
奈良	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1
和歌山	5	1	5	-	1	1	5	1	1	4
鳥取	7	-	-	-	1	-	1	-	-	1
島根	5	-	1	-	-	-	1	-	-	1
岡山	1	1	1	-	-	-	2	-	1	4
広島	8	-	4	-	2	1	4	-	1	3
山口	1	-	1	-	-	1	2	-	-	3
徳島	10	-	1	-	-	-	1	-	-	1
香川	4	-	1	-	-	1	6	-	1	4
愛媛	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	1	1	-	-	-	2	6	-	-	4
佐賀	1	1	1	-	1	-	4	1	1	1
長崎	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本	2	-	-	-	2	2	6	-	-	3
大分	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1
宮崎	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1
鹿児島	12	-	1	-	1	-	5	-	-	5
沖縄	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1

統計表18 特別養護老人ホーム 設置主体・併設機関（複数回答） (%)

	回答 施設数	病院	診療所	歯科診 療所	軽費 老人 ホーム	養護 老人 ホーム	在宅介 護支援 セン ター	訪問看 護ス テー ション	老人保 健施設	その他
計	233 (100.0)	15 (6.4)	34 (14.6)	6 (2.6)	23 (9.9)	26 (11.2)	149 (63.9)	17 (7.3)	13 (5.6)	115 (49.4)
公立（組合立 を含む）	22 (100.0)	2 (9.1)	7 (31.8)	1 (4.5)	2 (9.1)	3 (13.6)	7 (31.8)	2 (9.1)	1 (4.5)	7 (31.8)
官設民営	12 (100.0)	- (-)	1 (8.3)	- (-)	- (-)	1 (8.3)	9 (75.0)	1 (8.3)	12 (100.0)	8 (66.7)
社会福祉法人	192 (100.0)	11 (5.7)	26 (13.5)	5 (2.6)	21 (10.9)	21 (10.9)	130 (67.7)	14 (7.3)	- (-)	98 (51.0)
その他	3 (100.0)	2 (66.7)	34 (-)	- (-)	- (-)	1 (33.3)	1 (33.3)	- (-)	- (-)	1 (33.3)
無回答・不明	4 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)

統計表19 特別養護老人ホーム 定員規模・都道府県

	計	定員数			
		1～50	51～100	101～150	151～200
計	233	122	97	10	4
北海道	14	8	5	1	-
青森	3	1	1	1	-
岩手	6	4	2	-	-
宮城	4	4	-	-	-
秋田	16	13	2	1	-
山形	4	-	4	-	-
福島	2	2	-	-	-
栃木	1	1	-	-	-
群馬	4	3	1	-	-
埼玉	2	2	-	-	-
千葉	8	6	2	-	-
東京	9	2	4	-	3
神奈川	6	3	3	-	-
新潟	24	3	20	1	-
富山	3	1	2	-	-
石川	1	-	1	-	-
山梨	1	1	-	-	-
岐阜	8	2	5	-	1
静岡	9	4	5	-	-
愛知	6	-	6	-	-
三重	5	5	-	-	-
滋賀	3	2	1	-	-
京都	1	-	1	-	-
大阪	3	1	1	1	-
兵庫	16	10	6	-	-
奈良	1	-	1	-	-
和歌山	8	2	5	1	-
鳥取	1	1	-	-	-
島根	1	1	-	-	-
岡山	5	5	-	-	-
広島	7	4	3	-	-
山口	5	2	3	-	-
徳島	1	-	-	1	-
香川	8	7	1	-	-
愛媛	1	-	1	-	-
福岡	10	8	1	1	-
佐賀	4	2	1	1	-
長崎	1	-	1	-	-
熊本	10	6	3	1	-
大分	1	1	-	-	-
宮崎	1	1	-	-	-
鹿児島	7	3	4	-	-
沖縄	2	1	1	-	-

統計表20 特別養護老人ホーム ショートステイ定員規模・都道府県

	計	ショートステイ定員数				
		1～5	6～10	11～15	16～20	20～
計	223	36	75	19	77	16
北海道	13	1	8	1	3	-
青森	2	-	-	2	-	-
岩手	6	-	4	1	1	-
宮城	4	1	2	-	1	-
秋田	15	2	7	-	6	-
山形	4	-	3	-	1	-
福島	2	-	-	-	2	-
栃木	1	1	-	-	-	-
群馬	4	-	2	1	1	-
埼玉	2	-	-	1	1	-
千葉	8	3	3	-	2	-
東京	7	-	6	-	1	-
神奈川	6	2	2	-	2	-
新潟	24	1	2	1	10	10
富山	3	-	-	1	2	-
石川	1	-	1	-	-	-
山梨	1	-	1	-	-	-
岐阜	8	1	3	-	3	1
静岡	9	-	4	2	3	-
愛知	6	2	1	-	3	-
三重	5	1	-	-	4	-
滋賀	3	1	-	-	2	-
京都	1	-	-	-	-	1
大阪	3	-	1	-	2	-
兵庫	16	2	3	1	7	3
奈良	1	-	-	-	1	-
和歌山	7	1	3	1	2	-
鳥取	1	-	1	-	-	-
島根	1	-	1	-	-	-
岡山	4	1	1	-	2	-
広島	7	4	2	1	-	-
山口	5	1	3	-	1	-
徳島	1	-	-	1	-	-
香川	8	1	1	-	6	-
愛媛	1	-	-	-	-	1
福岡	9	4	2	-	3	-
佐賀	4	1	1	-	2	-
長崎	1	1	-	-	-	-
熊本	10	-	7	2	1	-
大分	1	-	-	-	1	-
鹿児島	6	2	-	3	1	-
沖縄	2	2	-	-	-	-

統計表21 特別養護老人ホーム 通所者定員規模・都道府県

	計	通所者 定員数				
		1～15	16～30	31～45	45～60	61～
計	119	54	52	4	3	6
北海道	7	-	-	-	-	-
青森	1	1	-	-	-	-
岩手	1	-	1	-	-	-
秋田	6	5	1	-	-	-
福島	1	1	-	-	-	-
群馬	2	1	1	-	-	-
埼玉	1	-	-	-	-	1
千葉	5	3	2	-	-	-
東京	3	-	2	-	-	1
神奈川	5	2	3	-	-	-
新潟	17	9	6	1	1	-
富山	3	-	2	1	-	-
石川	1	1	-	-	-	-
岐阜	2	1	1	-	-	-
静岡	6	2	4	-	-	-
愛知	5	2	3	-	-	-
三重	2	1	1	-	-	-
滋賀	3	2	-	-	-	1
京都	1	-	-	-	1	-
大阪	3	1	2	-	-	-
兵庫	13	3	8	1	-	1
奈良	1	1	-	-	-	-
鳥取	1	-	1	-	-	-
岡山	4	2	2	-	-	-
広島	2	-	2	-	-	-
山口	4	1	3	-	-	-
香川	5	4	1	-	-	-
福岡	5	1	2	1	-	1
佐賀	2	1	1	-	-	-
熊本	2	2	-	-	-	-
大分	1	1	-	-	-	-
鹿児島	3	2	-	-	1	-
沖縄	1	-	1	-	-	-

統計表22 記入者本人の介護支援専門員資格取得状況 (%)

	計	資格を取得した	資格を取得していない	無回答
療養型病院	558 (100.0)	157 (28.1)	395 (70.8)	6 (1.1)
老人保健施設	247 (100.0)	95 (38.5)	148 (59.9)	4 (1.6)
特別養護老人ホーム	233 (100.0)	83 (35.6)	147 (63.1)	3 (1.3)

統計表23 記入者本人の介護支援専門員資格取得希望 (%)

	計	資格を目指す	必要ない	既に取得した	無回答
療養型病院	558 (100.0)	199 (35.7)	188 (33.7)	152 (27.2)	19 (3.4)
老人保健施設	247 (100.0)	110 (44.5)	39 (15.8)	91 (36.8)	7 (2.8)
特別養護老人ホーム	233 (100.0)	110 (47.2)	34 (14.6)	83 (35.6)	6 (2.6)

統計表24 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・現在（可能な施設の比率）

	療養型病院	老人保健施設	特別養護老人ホーム
回答施設数	100.0% (588)	100.0% (247)	100.0% (233)
点滴・注射	87.5	66.4	66.1
留置膀胱カテーテル装着・導尿	93.5	93.9	87.1
経管経腸栄養	92.1	70.0	82.4
中心静脈栄養	58.6	10.1	9.4
褥創	91.4	91.9	94.4
リハビリテーション	89.2	96.8	48.1
酸素療法（気管切開）	63.4	13.0	19.3
酸素療法（気管切開以外）	78.9	36.8	63.9
気管切開	53.0	19.8	25.3
人工呼吸器装着	27.6	1.6	2.6
透析（CAPD含む）	16.7	6.1	11.2
ドレーン装着	44.6	19.8	20.6
吸引	87.1	76.1	79.8
人工肛門・人工膀胱	76.2	87.0	82.0

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

* ()内は回答施設数

統計表25 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・介護保険施行後（可能な施設の比率）

	療養型病院	老人保健施設	特別養護老人ホーム
回答施設数	100.0% (588)	100.0% (247)	100.0% (233)
点滴・注射	62.9	62.3	60.5
留置膀胱カテーテル装着・導尿	73.1	89.5	80.7
経管経腸栄養	73.8	71.7	79.0
中心静脈栄養	42.3	13.0	9.9
褥創	71.9	85.4	87.1
リハビリテーション	75.8	91.5	49.4
酸素療法（気管切開）	43.9	15.0	20.6
酸素療法（気管切開以外）	59.3	36.0	60.1
気管切開	36.0	20.2	26.2
人工呼吸器装着	18.6	2.8	3.0
透析（CAPD含む）	11.3	6.9	12.0
ドレーン装着	31.9	19.8	19.3
吸引	68.1	71.3	76.4
人工肛門・人工膀胱	59.1	83.0	79.4

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

* ()内は回答施設数

統計表26 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・療養型病院（可能な施設の比率）

回答施設数 588	現在	介護保険施行後
点滴・注射	87.5%	62.9%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	93.5	73.1
経管経腸栄養	92.1	73.8
中心静脈栄養	58.6	42.3
褥創	91.4	71.9
リハビリテーション	89.2	75.8
酸素療法（気管切開）	63.4	43.9
酸素療法（気管切開以外）	78.9	59.3
気管切開	53.0	36.0
人工呼吸器装着	27.6	18.6
透析（CAPD含む）	16.7	11.3
ドレーン装着	44.6	31.9
吸引	87.1	68.1
人工肛門・人工膀胱	76.2	59.1

* 588回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

統計表27 医療処置が多い患者・入所者の受け入れ可能性・老人保健施設（可能な施設の比率）

回答施設数 247	現在	介護保険施行後
点滴・注射	66.4%	62.3%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	93.9	89.5
経管経腸栄養	70.0	71.7
中心静脈栄養	10.1	13.0
褥創	91.9	85.4
リハビリテーション	96.8	91.5
酸素療法（気管切開）	13.0	15.0
酸素療法（気管切開以外）	36.8	36.0
気管切開	19.8	20.2
人工呼吸器装着	1.6	2.8
透析（CAPD含む）	6.1	6.9
ドレーン装着	19.8	19.8
吸引	76.1	71.3

* 247回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

統計表28 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・特別養護老人ホーム（可能な施設の比率）

回答施設数 233	現在	介護保険施行後
点滴・注射	66.1%	60.5%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	87.1	80.7
経管経腸栄養	82.4	79.0
中心静脈栄養	9.4	9.9
褥創	94.4	87.1
リハビリテーション	48.1	49.4
酸素療法（気管切開）	19.3	20.6
酸素療法（気管切開以外）	63.9	60.1
気管切開	25.3	26.2
人工呼吸器装着	2.6	3.0
透析（CAPD含む）	11.2	12.0
ドレーン装着	20.6	19.3
吸引	79.8	76.4
人工肛門・人工膀胱	82.0	79.4

* 233回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

統計表29 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・療養型病院

回答施設数 588	現在				介護保険施行後			
	可能	困難	どちらとも いえない	無回答	可能	困難	どちらとも いえない	無回答
点滴・注射	87.5%	5.6%	4.1%	2.9%	62.9%	8.8%	17.0%	11.3%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	93.5	1.4	2.2	2.9	73.1	3.4	12.0	11.5
経管経腸栄養	92.1	2.0	2.9	3.0	73.8	3.4	10.4	12.4
中心静脈栄養	58.6	25.1	10.4	5.9	42.3	25.6	17.4	14.7
褥創	91.4	2.5	2.7	3.4	71.9	3.8	12.2	12.2
リハビリテーション	89.2	2.7	3.6	4.3	75.8	2.2	10.0	12.0
酸素療法（気管切開）	63.4	22.2	9.0	5.4	43.9	22.8	19.2	14.2
酸素療法（気管切開以外）	78.9	9.7	6.8	4.7	59.3	10.8	16.5	13.4
気管切開	53.0	30.1	10.6	6.3	36.0	29.0	18.6	16.3
人工呼吸器装着	27.6	57.5	7.9	7.0	18.6	51.8	14.5	15.1
透析（CAPD含む）	16.7	70.8	4.5	8.1	11.3	62.2	10.4	16.1
ドレーン装着	44.6	32.6	15.8	7.0	31.9	31.0	22.4	14.7
吸引	87.1	4.5	3.9	4.5	68.1	5.9	12.5	13.4
人工肛門・人工膀胱	76.2	11.5	7.5	4.8	59.1	10.2	17.0	13.6

* 各医療処置について588回答施設を100.0%とした時の回答した比率

統計表30 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・老人保健施設

回答施設数 247	現在				介護保険施行後			
	可能	困難	どちらとも いえない	無回答	可能	困難	どちらとも いえない	無回答
点滴・注射	66.4%	14.6%	16.6%	2.4%	62.3%	10.5%	21.1%	6.1%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	93.9	1.2	2.8	2.0	89.5	1.2	3.6	5.7
経管経腸栄養	70.0	12.1	13.8	4.0	71.7	8.1	12.6	7.7
中心静脈栄養	10.1	68.0	14.2	7.7	13.0	55.5	22.7	8.9
褥創	91.9	1.6	3.6	2.8	85.4	2.4	4.5	7.7
リハビリテーション	96.8	0.4	0.8	2.0	91.5	0.4	1.6	6.5
酸素療法（気管切開）	13.0	63.2	17.8	6.1	15.0	50.2	25.9	8.5
酸素療法（気管切開以外）	36.8	39.8	18.6	5.3	36.0	32.0	23.9	8.1
気管切開	19.8	53.8	20.6	5.7	20.2	45.3	25.1	9.3
人工呼吸器装着	1.6	85.6	7.3	5.3	2.8	75.7	13.0	8.5
透析（CAPD含む）	6.1	73.3	14.6	6.1	6.9	64.8	19.0	9.3
ドレーン装着	19.8	43.7	29.1	7.3	19.8	35.2	34.4	10.5
吸引	76.1	11.3	10.1	2.4	71.3	9.3	11.7	7.7
人工肛門・人工膀胱	87.0	4.5	6.9	1.6	83.0	4.0	6.1	6.9

* 各医療処置について247回答施設を100.0%とした時の回答した比率

統計表31 医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性・特別養護老人ホーム (%)

回答施設数 233	現在				介護保険施行後			
	可能	困難	どちらとも いえない	無回答	可能	困難	どちらとも いえない	無回答
点滴・注射	66.1%	16.7%	12.9%	4.3%	60.5%	14.6%	17.6%	7.3%
留置膀胱カテーテル装着・導尿	87.1	4.3	6.0	2.6	80.7	3.4	9.0	6.9
経管経腸栄養	82.4	8.6	6.0	3.0	79.0	5.2	9.0	6.9
中心静脈栄養	9.4	67.8	16.7	6.0	9.9	53.6	27.0	9.4
褥創	94.4	0.4	3.0	2.1	87.1	0.4	5.6	6.9
リハビリテーション	48.1	21.9	25.8	4.3	49.4	12.9	30.0	7.7
酸素療法（気管切開）	19.3	59.2	15.9	5.6	20.6	49.8	21.5	8.2
酸素療法（気管切開以外）	63.9	22.7	10.3	3.0	60.1	18.0	14.6	7.3
気管切開	25.3	52.4	17.6	4.7	26.2	42.9	21.9	9.0
人工呼吸器装着	2.6	83.3	9.0	5.2	3.0	76.4	12.9	7.7
透析（CAPD含む）	11.2	69.5	13.7	5.6	12.0	63.9	18.5	5.6
ドレーン装着	20.6	48.9	24.9	5.6	19.3	41.6	33.0	6.0
吸引	79.8	7.7	9.0	3.4	76.4	6.0	11.2	6.4
人工肛門・人工膀胱	82.0	7.7	7.3	3.0	79.4	3.9	9.4	7.3

* 各医療処置について233回答施設を100.0%とした時の回答した比率

統計表32 一般病床併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性
(療養型病院：可能な施設の比率)

	現在		介護保険施行後	
	一般病床あり	一般病床なし	一般病床あり	一般病床なし
回答施設数	100.0% (341)	100.0% (215)	100.0% (341)	100.0% (215)
点滴・注射	84.2	92.6	54.8	75.3
留置膀胱カテーテル装着・導尿	92.7	94.9	68.0	80.9
経管経腸栄養	91.5	93.0	70.1	79.5
中心静脈栄養	56.0	62.3	39.3	47.0
褥創	89.7	94.0	65.7	81.4
リハビリテーション	90.3	87.9	74.2	78.1
酸素療法(気管切開)	63.3	63.3	42.2	47.0
酸素療法(気管切開以外)	76.8	81.9	54.5	66.5
気管切開	56.3	47.9	37.8	33.5
人工呼吸器装着	29.3	24.7	20.5	15.8
透析(CAPD含む)	22.0	7.9	14.7	6.0
ドレーン装着	45.2	43.7	32.3	31.6
吸引	84.2	92.1	62.2	78.1
人工肛門・人工膀胱	75.7	77.2	57.8	61.9

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

* ()内は回答施設数

統計表33 病院・診療所併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性
(老人保健施設：可能な施設の比率)

	現在		介護保険施行後	
	病院または診療所の併設あり	病院・診療所どちらもなし	病院または診療所の併設あり	病院・診療所どちらもなし
回答施設数	100.0% (135)	100.0% (112)	100.0% (135)	100.0% (112)
点滴・注射	67.4	65.2	62.2	62.5
留置膀胱カテーテル装着・導尿	94.8	92.9	89.6	89.3
経管経腸栄養	71.1	68.8	71.1	72.3
中心静脈栄養	10.4	9.8	13.3	12.5
褥創	92.6	91.1	88.1	82.1
リハビリテーション	96.3	97.3	92.6	90.2
酸素療法(気管切開)	12.6	13.4	11.9	18.8
酸素療法(気管切開以外)	38.5	34.8	36.3	35.7
気管切開	20.7	18.8	21.5	18.8
人工呼吸器装着	2.2	0.9	4.4	0.9
透析(CAPD含む)	7.4	4.5	8.1	5.4
ドレーン装着	23.0	16.1	23.0	16.1
吸引	75.6	76.8	71.9	70.5
人工肛門・人工膀胱	87.4	86.6	83.7	82.1

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

* ()内は回答施設数

統計表34 病院・診療所併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性
(特別養護老人ホーム：可能な施設の比率)

	現在		介護保険施行後	
	病院または診療所併設あり	病院・診療所併設どちらもなし	病院または診療所併設あり	病院・診療所併設どちらもなし
回答施設数	100.0% (47)	100.0% (186)	100.0% (47)	100.0% (186)
点滴・注射	80.9	62.4	74.5	57.0
留置膀胱カテーテル装着・導尿	93.6	85.5	87.2	79.0
経管経腸栄養	87.2	81.2	85.1	77.4
中心静脈栄養	8.5	9.7	6.4	10.8
褥創	97.9	93.5	93.6	85.5
リハビリテーション	53.2	46.8	59.6	46.8
酸素療法(気管切開)	17.0	19.9	21.3	20.4
酸素療法(気管切開以外)	61.7	64.5	59.6	60.2
気管切開	21.3	26.3	23.4	26.9
人工呼吸器装着	-	3.2	-	3.8
透析(CAPD含む)	19.1	9.1	17.0	10.8
ドレーン装着	27.7	18.8	29.8	16.7
吸引	85.1	78.5	85.1	74.2
人工肛門・人工膀胱	85.1	81.2	87.2	77.4

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

* ()内は回答施設数

1999年 介護保険導入にかかわる看護職員の意識調査

統計表35 看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（療養型病院：可能な施設の比率）

	現在		介護保険施行後	
	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満
回答施設数	100.0% (316)	100.0% (187)	100.0% (316)	100.0% (187)
点滴・注射	89.2	86.1	64.9	61.0
留置膀胱カテーテル装着・導尿	94.6	93.0	74.4	73.3
経管経腸栄養	94.0	90.9	75.9	73.8
中心静脈栄養	63.9	51.3	46.8	34.2
褥創	92.1	91.4	73.4	70.1
リハビリテーション	89.8	89.8	76.6	77.5
酸素療法（気管切開）	64.9	63.6	45.3	44.4
酸素療法（気管切開以外）	80.4	78.1	60.8	57.8
気管切開	51.6	57.2	36.7	37.4
人工呼吸器装着	29.1	24.6	20.6	15.5
透析（CAPD含む）	13.9	23.5	9.5	16.0
ドレーン装着	48.1	39.6	34.8	29.4
吸引	88.9	86.6	69.6	69.0
人工肛門・人工膀胱	77.2	77.5	60.8	61.5

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率
* ()内は回答施設数

統計表36 看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（老人保健施設：可能な施設の比率）

	現在		介護保険施行後	
	看護職員配置 12人以上	看護職員配置 12人未満	看護職員配置 12人以上	看護職員配置 12人未満
回答施設数	100.0% (116)	100.0% (119)	100.0% (116)	100.0% (119)
点滴・注射	68.9	62.9	63.9	59.5
留置膀胱カテーテル装着・導尿	96.6	91.4	91.6	87.9
経管経腸栄養	76.5	66.4	74.8	71.6
中心静脈栄養	10.9	9.5	13.4	12.9
褥創	93.3	92.2	86.6	85.3
リハビリテーション	96.6	96.6	90.8	91.4
酸素療法（気管切開）	14.3	12.1	15.3	15.5
酸素療法（気管切開以外）	39.5	36.2	38.7	36.2
気管切開	24.4	14.7	23.5	16.4
人工呼吸器装着	2.5	0.9	4.2	1.7
透析（CAPD含む）	5.9	6.0	6.7	6.9
ドレーン装着	21.0	19.0	21.0	20.7
吸引	84.0	69.0	76.5	67.2
人工肛門・人工膀胱	88.2	86.2	83.2	82.8

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率
* ()内は回答施設数

統計表37 看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（特別養護老人ホーム：可能な施設の比率）

	現在		介護保険施行後	
	看護職員配置 6人以上	看護職員配置 6人未満	看護職員配置 6人以上	看護職員配置 6人未満
回答施設数	100.0% (151)	100.0% (76)	100.0% (151)	100.0% (76)
点滴・注射	66.9	64.5	61.6	59.2
留置膀胱カテーテル装着・導尿	86.1	88.2	79.5	81.6
経管経腸栄養	84.1	77.6	79.5	76.3
中心静脈栄養	11.9	3.9	13.2	3.9
褥創	92.1	98.7	83.4	93.4
リハビリテーション	47.7	51.3	46.4	57.9
酸素療法（気管切開）	23.2	13.2	24.5	14.5
酸素療法（気管切開以外）	66.9	59.2	61.6	57.9
気管切開	23.8	28.9	25.2	28.9
人工呼吸器装着	4.0	-	4.0	1.3
透析（CAPD含む）	7.9	17.1	8.6	18.4
ドレーン装着	23.2	15.8	21.2	17.1
吸引	80.1	80.3	74.8	80.3
人工肛門・人工膀胱	80.8	82.9	76.8	82.9

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率
* ()内は回答施設数

統計表38 看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（療養型病院：可能な施設の比率）

	現在		介護保険施行後	
	看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満	看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満
回答施設数	100.0% (365)	100.0% (134)	100.0% (365)	100.0% (134)
点滴・注射	89.6	85.8	64.1	62.7
留置膀胱カテーテル装着・導尿	95.1	92.5	73.4	76.1
経管経腸栄養	94.0	89.6	74.8	76.1
中心静脈栄養	62.5	51.5	44.9	35.1
褥創	92.9	90.3	71.8	73.9
リハビリテーション	90.1	90.3	76.4	79.1
酸素療法（気管切開）	65.2	63.4	45.2	44.8
酸素療法（気管切開以外）	80.0	79.1	59.7	60.4
気管切開	53.4	55.2	37.0	38.1
人工呼吸器装着	29.3	22.4	19.5	17.2
透析（CAPD含む）	14.8	25.4	9.6	18.7
ドレーン装着	47.4	38.8	34.5	29.1
吸引	89.0	86.6	69.3	70.9
人工肛門・人工膀胱	78.6	73.1	61.6	60.4

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

* ()内は回答施設数

統計表39 看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（老人保健施設：可能な施設の比率）

	現在		介護保険施行後	
	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満
回答施設数	100.0% (98)	100.0% (135)	100.0% (98)	100.0% (135)
点滴・注射	70.4	63.0	67.3	57.8
留置膀胱カテーテル装着・導尿	95.9	92.6	91.8	88.1
経管経腸栄養	70.4	72.6	77.6	70.4
中心静脈栄養	15.3	6.7	20.4	7.4
褥創	91.8	93.3	86.7	85.2
リハビリテーション	98.0	95.6	93.9	88.9
酸素療法（気管切開）	17.3	10.4	19.4	11.9
酸素療法（気管切開以外）	45.9	31.9	45.9	31.1
気管切開	24.5	16.3	25.5	16.3
人工呼吸器装着	4.1	-	6.1	0.7
透析（CAPD含む）	4.1	7.4	6.1	6.7
ドレーン装着	20.4	19.3	21.4	20.0
吸引	83.7	71.1	77.6	67.4
人工肛門・人工膀胱	91.8	84.4	88.8	79.3

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

* ()内は回答施設数

統計表40 看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（特別養護老人ホーム：可能な施設の比率）

	現在		介護保険施行後	
	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満
回答施設数	100.0% (155)	100.0% (69)	100.0% (155)	100.0% (69)
点滴・注射	66.7	65.8	63.8	59.4
留置膀胱カテーテル装着・導尿	85.5	87.7	76.8	81.9
経管経腸栄養	88.4	78.7	84.1	75.5
中心静脈栄養	14.5	7.1	14.5	8.4
褥創	94.2	94.2	88.4	85.8
リハビリテーション	52.2	47.7	52.2	49.7
酸素療法（気管切開）	23.2	18.1	24.6	19.4
酸素療法（気管切開以外）	72.5	60.6	68.1	56.8
気管切開	18.8	29.0	17.4	31.0
人工呼吸器装着	5.8	1.3	4.3	2.6
透析（CAPD含む）	13.0	10.3	13.0	11.6
ドレーン装着	24.6	18.1	23.2	17.4
吸引	82.6	79.4	76.8	76.8
人工肛門・人工膀胱	87.0	78.7	82.6	76.8

* 回答施設数を100.0%とした時、「可能」「不可能」「どちらともいえない」「無回答」の中の「可能」と回答した比率

* ()内は回答施設数

統計表41 一般病床併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（療養型病院）

		現在		介護保険施行後	
		一般病床あり	一般病床なし	一般病床あり	一般病床なし
回答施設数		100.0%(341)	100.0%(215)	100.0%(341)	100.0%(215)
点滴・注射	可能	84.2	92.6	54.8	75.3
	困難	7.3	2.8	11.1	5.1
	どちらともいえない	5.6	1.9	22.3	8.8
	無回答	2.9	2.8	11.7	10.7
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	92.7	94.9	68.0	80.9
	困難	1.5	1.4	3.8	2.8
	どちらともいえない	2.9	0.9	16.1	5.6
	無回答	2.9	2.8	12.0	10.7
経管経腸栄養	可能	91.5	93.0	70.1	79.5
	困難	2.1	1.9	4.4	1.9
	どちらともいえない	3.5	1.9	12.6	7.0
	無回答	2.9	3.3	12.9	11.6
中心静脈栄養	可能	56.0	62.3	39.3	47.0
	困難	25.5	24.7	26.1	24.7
	どちらともいえない	12.3	7.4	19.9	13.5
	無回答	6.2	5.6	14.7	14.9
褥創	可能	89.7	94.0	65.7	81.4
	困難	2.3	2.8	4.7	2.3
	どちらともいえない	3.8	0.9	16.7	5.1
	無回答	4.1	2.3	12.9	11.2
リハビリテーション	可能	90.3	87.9	74.2	78.1
	困難	2.1	3.7	2.3	1.9
	どちらともいえない	2.9	4.7	11.1	8.4
	無回答	4.7	3.7	12.3	11.6
酸素療法（気管切開）	可能	63.3	63.3	42.2	47.0
	困難	21.4	23.7	22.6	22.3
	どちらともいえない	10.3	7.0	20.8	16.7
	無回答	5.0	6.0	14.4	14.0
酸素療法（気管切開以外）	可能	76.8	81.9	54.5	66.5
	困難	10.6	8.4	12.0	8.8
	どちらともいえない	7.3	6.0	18.8	13.0
	無回答	5.3	3.7	14.7	11.6
気管切開	可能	56.3	47.9	37.8	33.5
	困難	24.3	39.1	25.2	34.4
	どちらともいえない	13.2	6.5	20.5	15.8
	無回答	6.2	6.5	16.4	16.3
人工呼吸器装着	可能	29.3	24.7	20.5	15.8
	困難	54.8	61.9	48.4	56.7
	どちらともいえない	9.1	6.0	15.2	13.5
	無回答	6.7	7.4	15.8	14.0
透析（CAPD含む）	可能	22.0	7.9	14.7	6.0
	困難	64.8	80.5	56.3	71.2
	どちらともいえない	5.6	2.8	12.3	7.4
	無回答	7.6	8.8	16.7	15.3
ドレーン装着	可能	45.2	43.7	32.3	31.6
	困難	30.8	35.3	28.7	34.0
	どちらともいえない	17.3	13.5	24.6	19.1
	無回答	6.7	7.4	14.4	15.3
吸引	可能	84.2	92.1	62.2	78.1
	困難	5.3	2.8	7.6	2.3
	どちらともいえない	5.9	0.9	16.1	7.0
	無回答	4.7	4.2	14.1	12.6
人工肛門・人工膀胱	可能	75.7	77.2	57.8	61.9
	困難	9.7	14.0	8.5	12.6
	どちらともいえない	10.3	3.3	20.2	12.1
	無回答	4.4	5.6	13.5	13.5

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表42 病院・診療所併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性
(老人保健施設)

		現在		介護保険施行後	
		病院または診療所の併設あり	病院・診療所どちらもなし	病院または診療所の併設あり	病院・診療所どちらもなし
回答施設数		100.0% (135)	100.0% (12)	100.0% (135)	100.0% (12)
点滴・注射	可能	67.4	65.2	62.2	62.5
	困難	14.1	15.2	12.6	8.0
	どちらともいえない	17.0	16.1	20.7	21.4
	無回答	1.5	3.6	4.4	8.0
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	94.8	92.9	89.6	89.3
	困難	-	2.7	0.7	1.8
	どちらともいえない	4.4	0.9	5.2	1.8
	無回答	0.7	3.6	4.4	7.1
経管経腸栄養	可能	71.1	68.8	71.1	72.3
	困難	11.9	12.5	8.1	8.0
	どちらともいえない	15.6	11.6	14.8	9.8
	無回答	1.5	7.1	5.9	9.8
中心静脈栄養	可能	10.4	9.8	13.3	12.5
	困難	69.6	66.1	57.0	53.6
	どちらともいえない	12.6	16.1	20.7	25.0
	無回答	7.4	8.0	8.9	8.9
褥創	可能	92.6	91.1	88.1	82.1
	困難	0.7	2.7	1.5	3.6
	どちらともいえない	5.2	1.8	5.9	2.7
	無回答	1.5	4.5	4.4	11.6
リハビリテーション	可能	96.3	97.3	92.6	90.2
	困難	0.7	-	0.7	-
	どちらともいえない	1.5	-	2.2	0.9
	無回答	1.5	2.7	4.4	8.9
酸素療法(気管切開)	可能	12.6	13.4	11.9	18.8
	困難	63.0	63.4	53.0	47.3
	どちらともいえない	18.5	17.0	28.4	23.2
	無回答	5.9	6.3	6.7	10.7
酸素療法(気管切開以外)	可能	38.5	34.8	36.3	35.7
	困難	35.6	43.8	32.6	31.3
	どちらともいえない	20.7	16.1	25.2	22.3
	無回答	5.2	5.4	5.9	10.7
気管切開	可能	20.7	18.8	21.5	18.8
	困難	51.9	56.3	45.2	45.5
	どちらともいえない	22.2	18.8	26.7	23.2
	無回答	5.2	6.3	6.7	12.5
人工呼吸器装着	可能	2.2	0.9	4.4	0.9
	困難	83.7	88.4	77.0	74.1
	どちらともいえない	8.9	5.4	12.6	13.4
	無回答	5.2	5.4	5.9	11.6
透析(CAPD含む)	可能	7.4	4.5	8.1	5.4
	困難	74.8	71.4	68.1	60.7
	どちらともいえない	11.1	18.8	17.0	21.4
	無回答	6.7	5.4	6.7	12.5
ドレーン装着	可能	23.0	16.1	23.0	16.1
	困難	40.0	48.2	32.6	38.4
	どちらともいえない	28.9	29.5	36.3	32.1
	無回答	8.1	6.3	8.1	13.4
吸引	可能	75.6	76.8	71.9	70.5
	困難	11.1	11.6	9.6	8.9
	どちらともいえない	11.9	8.0	13.3	9.8
	無回答	1.5	3.6	5.2	10.7
人工肛門・人工膀胱	可能	87.4	86.6	83.7	82.1
	困難	3.7	5.4	3.7	4.5
	どちらともいえない	8.1	5.4	7.4	4.5
	無回答	0.7	2.7	5.2	8.9

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表43 病院・診療所併設有無別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性
(特別養護老人ホーム)

		現在		介護保険施行後	
		病院・診療所併設あり	病院・診療所併設どちらもなし	病院・診療所併設あり	病院・診療所併設どちらもなし
回答施設数		100.0% (47)	100.0% (186)	100.0% (47)	100.0% (186)
点滴・注射	可能	80.9	62.4	74.5	57.0
	困難	10.6	18.3	12.8	15.1
	どちらともいえない	4.3	15.1	8.5	19.9
	無回答	4.3	4.3	4.3	8.1
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	93.6	85.5	87.2	79.0
	困難	4.3	4.3	4.3	3.2
	どちらともいえない	-	7.5	4.3	10.2
	無回答	2.1	2.7	4.3	7.5
経管経腸栄養	可能	87.2	81.2	85.1	77.4
	困難	6.4	9.1	2.1	5.9
	どちらともいえない	4.3	6.5	8.5	9.1
	無回答	2.1	3.2	4.3	7.5
中心静脈栄養	可能	8.5	9.7	6.4	10.8
	困難	72.3	66.7	61.7	51.6
	どちらともいえない	8.5	18.8	19.1	29.0
	無回答	10.6	4.8	12.8	8.6
褥創	可能	97.9	93.5	93.6	85.5
	困難	-	0.5	-	0.5
	どちらともいえない	-	3.8	-	7.0
	無回答	2.1	2.2	6.4	7.0
リハビリテーション	可能	53.2	46.8	59.6	46.8
	困難	21.3	22.0	12.8	12.9
	どちらともいえない	19.1	27.4	21.3	32.3
	無回答	6.4	3.8	6.4	8.1
酸素療法(気管切開)	可能	17.0	19.9	21.3	20.4
	困難	70.2	56.5	57.4	47.8
	どちらともいえない	6.4	18.3	12.8	23.7
	無回答	6.4	5.4	8.5	8.1
酸素療法(気管切開以外)	可能	61.7	64.5	59.6	60.2
	困難	34.0	19.9	23.4	16.7
	どちらともいえない	2.1	12.4	10.6	15.6
	無回答	2.1	3.2	6.4	7.5
気管切開	可能	21.3	26.3	23.4	26.9
	困難	63.8	49.5	55.3	39.8
	どちらともいえない	6.4	20.4	12.8	24.2
	無回答	8.5	3.8	8.5	9.1
人工呼吸器装着	可能	-	3.2	-	3.8
	困難	87.2	82.3	78.7	75.8
	どちらともいえない	4.3	10.2	12.8	12.9
	無回答	8.5	4.3	8.5	7.5
透析(CAPD含む)	可能	19.1	9.1	17.0	10.8
	困難	63.8	71.0	61.7	64.5
	どちらともいえない	8.5	15.1	14.9	19.4
	無回答	8.5	4.8	6.4	5.4
ドレーン装着	可能	27.7	18.8	29.8	16.7
	困難	53.2	47.8	44.7	40.9
	どちらともいえない	12.8	28.0	21.3	36.0
	無回答	6.4	5.4	4.3	6.5
吸引	可能	85.1	78.5	85.1	74.2
	困難	10.6	7.0	8.5	5.4
	どちらともいえない	-	11.3	2.1	13.4
	無回答	4.3	3.2	4.3	7.0
人工肛門・人工膀胱	可能	85.1	81.2	87.2	77.4
	困難	8.5	7.5	-	4.8
	どちらともいえない	4.3	8.1	8.5	9.7
	無回答	2.1	3.2	4.3	8.1

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表44 看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（療養型病院）

		現在		介護保険施行後	
		看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満
回答施設数		100.0% (316)	100.0% (187)	100.0% (316)	100.0% (187)
点滴・注射	可能	89.2	86.1	64.9	61.0
	困難	4.7	7.0	9.2	9.6
	どちらともいえない	3.5	4.3	16.1	17.1
	無回答	2.5	2.7	9.8	12.3
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	94.6	93.0	74.4	73.3
	困難	1.3	2.1	2.8	4.3
	どちらともいえない	1.9	2.1	13.0	10.2
	無回答	2.2	2.7	9.8	12.3
経管経腸栄養	可能	94.0	90.9	75.9	73.8
	困難	0.9	3.2	1.9	4.8
	どちらともいえない	2.5	2.7	11.1	9.1
	無回答	2.5	3.2	11.1	12.3
中心静脈栄養	可能	63.9	51.3	46.8	34.2
	困難	20.9	32.6	22.8	33.2
	どちらともいえない	9.5	12.8	17.4	19.3
	無回答	5.7	3.2	13.0	13.4
褥創	可能	92.1	91.4	73.4	70.1
	困難	2.8	2.7	3.8	4.8
	どちらともいえない	2.5	2.7	12.3	12.3
	無回答	2.5	3.2	10.4	12.8
リハビリテーション	可能	89.8	89.8	76.6	77.5
	困難	3.5	2.1	2.8	1.6
	どちらともいえない	2.9	3.7	10.1	8.6
	無回答	3.8	4.3	10.4	12.3
酸素療法（気管切開）	可能	64.9	63.6	45.3	44.4
	困難	22.2	23.0	22.2	24.6
	どちらともいえない	8.2	9.1	19.9	17.6
	無回答	4.7	4.3	12.7	13.4
酸素療法（気管切開以外）	可能	80.4	78.1	60.8	57.8
	困難	9.2	11.2	10.4	12.3
	どちらともいえない	6.6	7.5	16.8	16.6
	無回答	3.8	3.2	12.0	13.4
気管切開	可能	51.6	57.2	36.7	37.4
	困難	31.6	27.8	30.1	27.8
	どちらともいえない	10.8	10.2	18.7	18.7
	無回答	6.0	4.8	14.6	16.0
人工呼吸器装着	可能	29.1	24.6	20.6	15.5
	困難	57.6	59.4	51.6	56.7
	どちらともいえない	6.3	10.7	14.6	12.8
	無回答	7.0	5.3	13.3	15.0
透析（CAPD含む）	可能	13.9	23.5	9.5	16.0
	困難	74.7	64.2	65.2	59.4
	どちらともいえない	3.2	5.9	10.4	9.1
	無回答	8.2	6.4	14.9	15.5
ドレーン装着	可能	48.1	39.6	34.8	29.4
	困難	27.5	39.6	26.9	36.9
	どちらともいえない	18.0	15.0	25.0	19.3
	無回答	6.3	5.9	13.3	14.4
吸引	可能	88.9	86.6	69.6	69.0
	困難	4.4	3.7	6.0	5.3
	どちらともいえない	2.8	5.9	13.0	11.8
	無回答	3.8	3.7	11.4	13.9
人工肛門・人工膀胱	可能	77.2	77.5	60.8	61.5
	困難	11.7	8.6	10.8	7.5
	どちらともいえない	7.0	9.6	16.8	17.1
	無回答	4.1	4.3	11.7	13.9

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表45 看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（療養型病院）

		現在		介護保険施行後	
		看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満	看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満
回答施設数		100.0% (365)	100.0% (134)	100.0% (365)	100.0% (135)
点滴・注射	可能	89.6	85.8	64.1	62.7
	困難	4.4	8.2	8.8	10.4
	どちらともいえない	3.6	3.0	16.4	15.7
	無回答	2.5	3.0	10.7	11.2
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	95.1	92.5	73.4	76.1
	困難	1.4	2.2	3.3	3.7
	どちらともいえない	1.4	2.2	12.6	9.0
	無回答	2.2	3.0	10.7	11.2
経管経腸栄養	可能	94.0	89.6	74.8	76.1
	困難	1.1	3.7	2.2	5.2
	どちらともいえない	2.5	3.0	11.2	7.5
	無回答	2.5	3.7	11.8	11.2
中心静脈栄養	可能	62.5	51.5	44.9	35.1
	困難	22.7	32.1	24.7	32.8
	どちらともいえない	10.1	12.7	17.0	20.1
	無回答	4.7	3.7	13.4	11.9
褥創	可能	92.9	90.3	71.8	73.9
	困難	2.7	3.0	3.8	5.2
	どちらともいえない	1.9	3.7	13.2	9.7
	無回答	2.5	3.0	11.2	11.2
リハビリテーション	可能	90.1	90.3	76.4	79.1
	困難	3.0	2.2	2.5	2.2
	どちらともいえない	3.6	2.2	10.1	7.5
	無回答	3.3	5.2	11.0	11.2
酸素療法（気管切開）	可能	65.2	63.4	45.2	44.8
	困難	21.4	24.6	21.6	26.9
	どちらともいえない	8.5	9.0	19.7	17.2
	無回答	4.9	3.0	13.4	11.2
酸素療法（気管切開以外）	可能	80.0	79.1	59.7	60.4
	困難	9.0	11.9	10.4	13.4
	どちらともいえない	7.4	6.0	17.3	14.2
	無回答	3.6	3.0	12.6	11.9
気管切開	可能	53.4	55.2	37.0	38.1
	困難	29.6	32.1	28.8	30.6
	どちらともいえない	11.0	9.0	18.9	17.2
	無回答	6.0	3.7	15.3	14.2
人工呼吸器装着	可能	29.3	22.4	19.5	17.2
	困難	56.2	63.4	51.2	59.7
	どちらともいえない	7.1	10.4	14.5	11.2
	無回答	7.4	3.7	14.8	11.9
透析（CAPD含む）	可能	14.8	25.4	9.6	18.7
	困難	72.9	64.2	64.4	59.0
	どちらともいえない	3.6	6.0	9.9	9.7
	無回答	8.8	4.5	16.2	12.7
ドレーン装着	可能	47.4	38.8	34.5	29.1
	困難	28.5	41.8	27.4	39.6
	どちらともいえない	17.3	14.9	23.6	19.4
	無回答	6.8	4.5	14.5	11.9
吸引	可能	89.0	86.6	69.3	70.9
	困難	3.6	5.2	4.9	7.5
	どちらともいえない	3.6	4.5	13.4	9.0
	無回答	3.8	3.7	12.3	12.7
人工肛門・人工膀胱	可能	78.6	73.1	61.6	60.4
	困難	9.6	13.4	8.5	11.9
	どちらともいえない	7.4	9.7	16.7	16.4
	無回答	4.4	3.7	13.2	11.2

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表46 看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性
(一般病棟併設有：療養型病院)

	回答施設数	現在		介護保険施行後	
		看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満
点滴・注射	可能	87.2	82.4	56.4	54.6
	困難	6.4	9.2	12.8	10.9
	どちらともいえない	5.3	4.2	21.8	21.8
	無回答	1.1	4.2	9.0	12.6
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	95.7	90.8	69.1	69.7
	困難	1.1	2.5	3.2	5.0
	どちらともいえない	2.7	2.5	18.6	12.6
	無回答	0.5	4.2	9.0	12.6
経管経腸栄養	可能	94.7	89.9	72.9	71.4
	困難	1.1	3.4	2.7	5.9
	どちらともいえない	3.2	2.5	13.8	10.1
	無回答	1.1	4.2	10.6	12.6
中心静脈栄養	可能	60.6	51.3	43.1	34.5
	困難	22.3	29.4	26.1	29.4
	どちらともいえない	12.2	14.3	19.7	21.8
	無回答	4.8	5.0	11.2	14.3
褥創	可能	91.5	89.9	67.0	66.4
	困難	3.2	1.7	5.9	4.2
	どちらともいえない	3.7	3.4	17.0	16.8
	無回答	1.6	5.0	10.1	12.6
リハビリテーション	可能	92.6	88.2	75.5	77.3
	困難	2.7	1.7	3.2	1.7
	どちらともいえない	2.1	3.4	11.7	8.4
	無回答	2.7	6.7	9.6	12.6
酸素療法(気管切開)	可能	65.4	63.0	41.5	47.1
	困難	20.7	21.8	23.9	21.0
	どちらともいえない	11.2	9.2	23.4	17.6
	無回答	2.7	5.9	11.2	14.3
酸素療法(気管切開以外)	可能	78.2	77.3	54.8	56.3
	困難	10.6	10.9	12.2	12.6
	どちらともいえない	8.5	6.7	20.7	16.8
	無回答	2.7	5.0	12.2	14.3
気管切開	可能	56.4	58.8	38.8	39.5
	困難	25.5	21.8	28.2	22.7
	どちらともいえない	13.8	12.6	20.2	21.0
	無回答	4.3	6.7	12.8	16.8
人工呼吸器装着	可能	30.9	27.7	21.8	19.3
	困難	56.4	53.8	48.9	52.1
	どちらともいえない	8.0	10.9	16.5	12.6
	無回答	4.8	7.6	12.8	16.0
透析(CAPD含む)	可能	19.1	30.3	12.8	21.0
	困難	70.7	52.9	60.1	50.4
	どちらともいえない	4.3	8.4	12.8	12.6
	無回答	5.9	8.4	14.4	16.0
ドレーン装着	可能	47.9	42.9	34.0	32.8
	困難	27.1	35.3	25.0	34.5
	どちらともいえない	20.2	15.1	29.3	18.5
	無回答	4.8	6.7	11.7	14.3
吸引	可能	86.7	83.2	62.2	66.4
	困難	5.9	4.2	9.6	5.0
	どちらともいえない	4.8	7.6	17.6	14.3
	無回答	2.7	5.0	10.6	14.3
人工肛門・人工膀胱	可能	80.3	72.3	60.6	59.7
	困難	9.6	6.7	9.0	5.9
	どちらともいえない	8.0	15.1	19.7	21.0
	無回答	2.1	5.9	10.6	13.4

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表47 看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性
(一般病棟併設有：療養型病院)

		現在		介護保険施行後	
		看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満	看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満
回答施設数		100.0%(205)	100.0%(99)	100.0%(205)	100.0%(99)
点滴・注射	可能	87.8	82.8	56.1	56.6
	困難	5.9	10.1	11.7	12.1
	どちらともいえない	4.9	3.0	22.4	19.2
	無回答	1.5	4.0	9.8	12.1
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	96.6	89.9	68.3	72.7
	困難	1.0	3.0	3.9	4.0
	どちらともいえない	1.5	3.0	18.0	11.1
	無回答	1.0	4.0	9.8	12.1
経管経腸栄養	可能	94.6	88.9	72.2	72.7
	困難	1.0	4.0	2.9	6.1
	どちらともいえない	2.9	3.0	13.7	9.1
	無回答	1.5	4.0	11.2	12.1
中心静脈栄養	可能	59.5	53.5	41.5	36.4
	困難	23.4	28.3	26.8	29.3
	どちらともいえない	13.2	13.1	20.0	21.2
	無回答	3.9	5.1	11.7	13.1
褥創	可能	93.2	87.9	65.4	70.7
	困難	2.4	3.0	4.9	6.1
	どちらともいえない	2.4	5.1	19.5	11.1
	無回答	2.0	4.0	10.2	12.1
リハビリテーション	可能	92.2	88.9	75.6	78.8
	困難	2.9	1.0	2.9	2.0
	どちらともいえない	2.4	3.0	11.7	7.1
	無回答	2.4	7.1	9.8	12.1
酸素療法(気管切開)	可能	65.4	64.6	42.0	48.5
	困難	20.0	22.2	22.9	22.2
	どちらともいえない	11.2	9.1	22.9	17.2
	無回答	3.4	4.0	12.2	12.1
酸素療法(気管切開以外)	可能	79.0	76.8	55.1	56.6
	困難	9.3	13.1	11.2	15.2
	どちらともいえない	8.8	6.1	21.0	15.2
	無回答	2.9	4.0	12.7	13.1
気管切開	可能	57.6	58.6	38.0	42.4
	困難	23.4	25.3	26.8	24.2
	どちらともいえない	14.1	11.1	21.5	18.2
	無回答	4.9	5.1	13.7	15.2
人工呼吸器装着	可能	31.7	26.3	20.0	23.2
	困難	54.1	56.6	49.3	51.5
	どちらともいえない	7.8	12.1	16.1	12.1
	無回答	6.3	5.1	14.6	13.1
透析(CAPD含む)	可能	20.0	31.3	12.2	24.2
	困難	67.3	55.6	60.0	48.5
	どちらともいえない	5.4	7.1	12.2	13.1
	無回答	7.3	6.1	15.6	14.1
ドレーン装着	可能	48.3	42.4	34.6	32.3
	困難	27.3	36.4	25.9	34.3
	どちらともいえない	19.0	15.2	26.8	20.2
	無回答	5.4	6.1	12.7	13.1
吸引	可能	86.8	83.8	62.9	67.7
	困難	4.4	6.1	7.3	8.1
	どちらともいえない	5.4	6.1	18.0	11.1
	無回答	3.4	4.0	11.7	13.1
人工肛門・人工膀胱	可能	79.5	71.7	60.5	60.6
	困難	7.8	10.1	8.3	7.1
	どちらともいえない	9.8	13.1	19.5	20.2
	無回答	2.9	5.1	11.7	12.1

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* ()内は回答施設数

統計表48 看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性
(一般病棟併設無：療養型病院)

		現在		介護保険施行後	
		看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満
回答施設数		100.0% (127)	100.0% (67)	100.0% (127)	100.0% (67)
点滴・注射	可能	92.1	92.5	77.2	71.6
	困難	2.4	3.0	3.9	7.5
	どちらともいえない	0.8	4.5	7.9	9.0
	無回答	4.7	-	11.0	11.9
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	92.9	97.0	81.9	79.1
	困難	1.6	1.5	2.4	3.0
	どちらともいえない	0.8	1.5	4.7	6.0
	無回答	4.7	-	11.0	11.9
経管経腸栄養	可能	92.9	92.5	80.3	77.6
	困難	0.8	3.0	0.8	3.0
	どちらともいえない	1.6	3.0	7.1	7.5
	無回答	4.7	1.5	11.8	11.9
中心静脈栄養	可能	68.5	50.7	52.0	34.3
	困難	18.9	38.8	18.1	38.8
	どちらともいえない	5.5	10.4	14.2	14.9
	無回答	7.1	-	15.7	11.9
褥創	可能	92.9	94.0	82.7	76.1
	困難	2.4	4.5	0.8	6.0
	どちらともいえない	0.8	1.5	5.5	4.5
	無回答	3.9	-	11.0	13.4
リハビリテーション	可能	85.7	92.5	78.0	77.6
	困難	4.8	3.0	2.4	1.5
	どちらともいえない	4.0	4.5	7.9	9.0
	無回答	5.6	-	11.8	11.9
酸素療法(気管切開)	可能	63.8	64.2	51.2	40.3
	困難	24.4	25.4	18.9	29.9
	どちらともいえない	3.9	9.0	15.0	17.9
	無回答	7.9	1.5	15.0	11.9
酸素療法(気管切開以外)	可能	83.5	79.1	69.3	59.7
	困難	7.1	11.9	7.9	11.9
	どちらともいえない	3.9	9.0	11.0	16.4
	無回答	5.5	-	11.8	11.9
気管切開	可能	44.9	53.7	33.9	34.3
	困難	40.2	38.8	32.3	35.8
	どちらともいえない	6.3	6.0	16.5	14.9
	無回答	8.7	1.5	17.3	14.9
人工呼吸器装着	可能	26.8	17.9	18.9	9.0
	困難	59.1	70.1	55.1	64.2
	どちらともいえない	3.9	10.4	11.8	13.4
	無回答	10.2	1.5	14.2	13.4
透析(CAPD含む)	可能	6.3	10.4	4.7	7.5
	困難	80.3	85.1	72.4	74.6
	どちらともいえない	1.6	1.5	7.1	3.0
	無回答	11.8	3.0	15.7	14.9
ドレーン装着	可能	48.8	32.8	36.2	23.9
	困難	27.6	47.8	29.1	40.3
	どちらともいえない	15.0	14.9	18.9	20.9
	無回答	8.7	4.5	15.7	14.9
吸引	可能	92.9	92.5	81.1	74.6
	困難	1.6	3.0	-	4.5
	どちらともいえない	-	3.0	6.3	7.5
	無回答	5.5	1.5	12.6	13.4
人工肛門・人工膀胱	可能	73.2	86.6	61.4	65.7
	困難	14.2	11.9	12.6	10.4
	どちらともいえない	5.5	-	12.6	10.4
	無回答	7.1	1.5	13.4	13.4

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表49 看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性
(一般病棟併設無：療養型病院)

		現在		介護保険施行後	
		看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満	看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満
回答施設数		100.0%(158)	100.0%(35)	100.0%(158)	100.0%(35)
点滴・注射	可能	91.8	94.3	74.1	80.0
	困難	2.5	2.9	5.1	5.7
	どちらともいえない	1.9	2.9	8.9	5.7
	無回答	3.8	-	12.0	8.6
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	93.0	100.0	79.7	85.7
	困難	1.9	-	2.5	2.9
	どちらともいえない	1.3	-	5.7	2.9
	無回答	3.8	-	12.0	8.6
経管経腸栄養	可能	93.0	91.4	77.8	85.7
	困難	1.3	2.9	1.3	2.9
	どちらともいえない	1.9	2.9	8.2	2.9
	無回答	3.8	2.9	12.7	8.6
中心静脈栄養	可能	65.8	45.7	49.4	31.4
	困難	22.2	42.9	21.5	42.9
	どちらともいえない	6.3	11.4	13.3	17.1
	無回答	5.7	-	15.8	8.6
褥創	可能	92.4	97.1	79.7	82.9
	困難	3.2	2.9	2.5	2.9
	どちらともいえない	1.3	-	5.1	5.7
	無回答	3.2	-	12.7	8.6
リハビリテーション	可能	87.3	94.3	77.2	80.0
	困難	3.2	5.7	1.9	2.9
	どちらともいえない	5.1	-	8.2	8.6
	無回答	4.5	-	12.7	8.6
酸素療法(気管切開)	可能	64.6	60.0	50.0	34.3
	困難	23.4	31.4	19.0	40.0
	どちらともいえない	5.1	8.6	15.8	17.1
	無回答	7.0	-	15.2	8.6
酸素療法(気管切開以外)	可能	81.0	85.7	65.2	71.4
	困難	8.9	8.6	9.5	8.6
	どちらともいえない	5.7	5.7	12.7	11.4
	無回答	4.4	-	12.7	8.6
気管切開	可能	48.1	45.7	36.1	25.7
	困難	37.3	51.4	30.4	48.6
	どちらともいえない	7.0	2.9	15.8	14.3
	無回答	7.6	-	17.7	11.4
人工呼吸器装着	可能	25.9	11.4	19.0	-
	困難	58.9	82.9	53.2	82.9
	どちらともいえない	6.3	5.7	12.7	8.6
	無回答	8.9	-	15.2	8.6
透析(CAPD含む)	可能	7.6	8.6	6.3	2.9
	困難	80.4	88.6	69.6	88.6
	どちらともいえない	1.3	2.9	7.0	-
	無回答	10.8	-	17.1	8.6
ドレーン装着	可能	46.2	28.6	34.8	20.0
	困難	29.7	57.1	28.5	54.3
	どちらともいえない	15.2	14.3	19.6	17.1
	無回答	8.9	-	17.1	8.6
吸引	可能	92.4	94.3	78.5	80.0
	困難	1.9	2.9	0.6	5.7
	どちらともいえない	1.3	-	7.6	2.9
	無回答	4.4	2.9	13.3	11.4
人工肛門・人工膀胱	可能	77.8	77.1	63.9	60.0
	困難	11.4	22.9	8.2	25.7
	どちらともいえない	4.4	-	13.3	5.7
	無回答	6.3	-	14.6	8.6

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* ()内は回答施設数

統計表50 看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（老人保健施設）

		現在		介護保険施行後	
		看護職員配置 12人以上	看護職員配置 12人未満	看護職員配置 12人以上	看護職員配置 12人未満
回答施設数		100.0% (119)	100.0% (116)	100.0% (119)	100.0% (116)
点滴・注射	可能	68.9	62.9	63.9	59.5
	困難	15.1	15.5	11.8	10.3
	どちらともいえない	14.3	18.1	18.5	23.3
	無回答	1.7	3.4	5.9	6.9
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	96.6	91.4	91.6	87.9
	困難	0.8	1.7	0.8	0.9
	どちらともいえない	0.8	4.3	1.7	5.2
	無回答	1.7	2.6	5.9	6.0
経管経腸栄養	可能	76.5	66.4	74.8	71.6
	困難	10.9	12.9	7.6	8.6
	どちらともいえない	9.2	16.4	8.4	13.8
	無回答	3.4	4.3	9.2	6.0
中心静脈栄養	可能	10.9	9.5	13.4	12.9
	困難	64.7	70.7	53.8	55.2
	どちらともいえない	16.0	12.1	21.8	24.1
	無回答	8.4	7.8	10.9	7.8
褥創	可能	93.3	92.2	86.6	85.3
	困難	0.8	0.9	1.7	1.7
	どちらともいえない	3.4	3.4	4.2	4.3
	無回答	2.5	3.4	7.6	8.6
リハビリテーション	可能	96.6	96.6	90.8	91.4
	困難	0.8	-	0.8	-
	どちらともいえない	0.8	0.9	1.7	1.7
	無回答	1.7	2.6	6.7	6.9
酸素療法（気管切開）	可能	14.3	12.1	15.3	15.5
	困難	61.3	64.7	48.3	50.9
	どちらともいえない	17.6	18.1	26.3	26.7
	無回答	6.7	5.2	10.2	6.9
酸素療法（気管切開以外）	可能	39.5	36.2	38.7	36.2
	困難	39.5	37.9	32.8	29.3
	どちらともいえない	16.0	19.8	19.3	26.7
	無回答	5.0	6.0	9.2	7.8
気管切開	可能	24.4	14.7	23.5	16.4
	困難	51.3	56.0	42.0	47.4
	どちらともいえない	19.3	22.4	25.2	25.9
	無回答	5.0	6.9	9.2	10.3
人工呼吸器装着	可能	2.5	0.9	4.2	1.7
	困難	84.9	87.1	71.4	79.3
	どちらともいえない	6.7	6.9	14.3	11.2
	無回答	5.9	5.2	10.1	7.8
透析（CAPD含む）	可能	5.9	6.0	6.7	6.9
	困難	73.9	73.3	63.9	65.5
	どちらともいえない	13.4	14.7	18.5	19.0
	無回答	6.7	6.0	10.9	8.6
ドレーン装着	可能	21.0	19.0	21.0	20.7
	困難	42.9	44.8	36.1	33.6
	どちらともいえない	28.6	28.4	31.1	35.3
	無回答	7.6	7.8	11.8	10.3
吸引	可能	84.0	69.0	76.5	67.2
	困難	9.2	12.1	6.7	10.3
	どちらともいえない	5.9	14.7	9.2	14.7
	無回答	0.8	4.3	7.6	7.8
人工肛門・人工膀胱	可能	88.2	86.2	83.2	82.8
	困難	4.2	4.3	3.4	4.3
	どちらともいえない	6.7	6.9	5.0	6.9
	無回答	0.8	2.6	8.4	6.0

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表51 看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（老人保健施設）

		現在		介護保険施行後	
		看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満
回答施設数		100.0% (98)	100.0% (135)	100.0% (98)	100.0% (135)
点滴・注射	可能	70.4	63.0	67.3	57.8
	困難	14.3	16.3	9.2	12.6
	どちらともいえない	13.3	17.8	19.4	21.5
	無回答	2.0	3.0	4.1	8.1
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	95.9	92.6	91.8	88.1
	困難	2.0	0.7	2.0	-
	どちらともいえない	1.0	3.7	2.0	4.4
	無回答	1.0	3.0	4.1	7.4
経管経腸栄養	可能	70.4	72.6	77.6	70.4
	困難	14.3	10.4	10.2	6.7
	どちらともいえない	13.3	11.9	8.2	13.3
	無回答	2.0	5.2	4.1	9.6
中心静脈栄養	可能	15.3	6.7	20.4	7.4
	困難	67.3	68.9	53.1	56.3
	どちらともいえない	11.2	14.8	19.4	25.9
	無回答	6.1	9.6	7.1	10.4
褥創	可能	91.8	93.3	86.7	85.2
	困難	1.0	0.7	2.0	1.5
	どちらともいえない	5.1	2.2	6.1	3.0
	無回答	2.0	3.7	5.1	10.4
リハビリテーション	可能	98.0	95.6	93.9	88.9
	困難	-	0.7	-	0.7
	どちらともいえない	-	1.5	1.0	2.2
	無回答	2.0	2.2	5.1	8.1
酸素療法（気管切開）	可能	17.3	10.4	19.4	11.9
	困難	60.2	65.2	41.8	55.2
	どちらともいえない	18.4	17.0	31.6	23.1
	無回答	4.1	7.4	7.1	9.7
酸素療法（気管切開以外）	可能	45.9	31.9	45.9	31.1
	困難	33.7	43.0	25.5	35.6
	どちらともいえない	15.3	19.3	20.4	24.4
	無回答	5.1	5.9	8.2	8.9
気管切開	可能	24.5	16.3	25.5	16.3
	困難	50.0	56.3	38.8	48.9
	どちらともいえない	20.4	21.5	29.6	23.0
	無回答	5.1	5.9	6.1	11.9
人工呼吸器装着	可能	4.1	-	6.1	0.7
	困難	82.7	88.1	71.4	77.8
	どちらともいえない	8.2	5.9	15.3	11.1
	無回答	5.1	5.9	7.1	10.4
透析（CAPD含む）	可能	4.1	7.4	6.1	6.7
	困難	71.4	75.6	65.3	64.4
	どちらともいえない	17.3	11.1	20.4	17.8
	無回答	7.1	5.9	8.2	11.1
ドレーン装着	可能	20.4	19.3	21.4	20.0
	困難	46.9	41.5	34.7	34.8
	どちらともいえない	24.5	31.9	32.7	34.1
	無回答	8.2	7.4	11.2	11.1
吸引	可能	83.7	71.1	77.6	67.4
	困難	10.2	11.1	7.1	9.6
	どちらともいえない	5.1	14.1	10.2	13.3
	無回答	1.0	3.7	5.1	9.6
人工肛門・人工膀胱	可能	91.8	84.4	88.8	79.3
	困難	4.1	3.7	2.0	4.4
	どちらともいえない	3.1	9.6	4.1	7.4
	無回答	1.0	2.2	5.1	8.9

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表52 看護職員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（特別養護老人ホーム）

		現在		介護保険施行後	
		看護職員配置 6人以上	看護職員配置 6人未満	看護職員配置 6人以上	看護職員配置 6人未満
回答施設数		100.0% (151)	100.0%(76)	100.0%(151)	100.0%(76)
点滴・注射	可能	66.9	64.5	61.6	59.2
	困難	18.5	13.2	15.2	11.8
	どちらともいえない	9.3	21.1	14.6	23.7
	無回答	5.3	1.3	8.6	5.3
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	86.1	88.2	79.5	81.6
	困難	4.6	3.9	3.3	3.9
	どちらともいえない	6.0	6.6	8.6	10.5
	無回答	3.3	1.3	8.6	3.9
経管経腸栄養	可能	84.1	77.6	79.5	76.3
	困難	9.3	7.9	5.3	5.3
	どちらともいえない	2.6	13.2	6.6	14.5
	無回答	4.0	1.3	8.6	3.9
中心静脈栄養	可能	11.9	3.9	13.2	3.9
	困難	64.9	73.7	47.7	64.5
	どちらともいえない	16.6	18.4	27.8	26.3
	無回答	6.6	3.9	11.3	5.3
褥創	可能	92.1	98.7	83.4	93.4
	困難	0.7	-	0.7	-
	どちらともいえない	4.0	1.3	7.3	2.6
	無回答	3.3	-	8.6	3.9
リハビリテーション	可能	47.7	51.3	46.4	57.9
	困難	25.2	14.5	13.9	10.5
	どちらともいえない	23.2	30.3	30.5	26.3
	無回答	4.0	3.9	9.3	5.3
酸素療法（気管切開）	可能	23.2	13.2	24.5	14.5
	困難	58.3	61.8	45.0	59.2
	どちらともいえない	12.6	21.1	20.5	21.1
	無回答	6.0	3.9	9.9	5.3
酸素療法（気管切開以外）	可能	66.9	59.2	61.6	57.9
	困難	21.2	26.3	17.2	19.7
	どちらともいえない	7.9	14.5	11.9	18.4
	無回答	4.0	-	9.3	3.9
気管切開	可能	23.8	28.9	25.2	28.9
	困難	52.3	52.6	40.4	47.4
	どちらともいえない	17.9	17.1	22.5	19.7
	無回答	6.0	1.3	11.9	3.9
人工呼吸器装着	可能	4.0	-	4.0	1.3
	困難	81.5	86.8	72.8	82.9
	どちらともいえない	8.6	10.5	13.2	11.8
	無回答	6.0	2.6	9.9	3.9
透析（CAPD含む）	可能	7.9	17.1	8.6	18.4
	困難	71.5	65.8	63.6	64.5
	どちらともいえない	13.9	14.5	21.2	13.2
	無回答	6.6	2.6	6.6	3.9
ドレーン装着	可能	23.2	15.8	21.2	17.1
	困難	47.7	51.3	39.1	44.7
	どちらともいえない	22.5	30.3	33.1	32.9
	無回答	6.6	2.6	6.6	5.3
吸引	可能	80.1	80.3	74.8	80.3
	困難	6.6	9.2	4.6	7.9
	どちらともいえない	9.3	9.2	12.6	7.9
	無回答	4.0	1.3	7.9	3.9
人工肛門・人工膀胱	可能	80.8	82.9	76.8	82.9
	困難	7.9	7.9	4.0	3.9
	どちらともいえない	7.3	7.9	10.6	7.9
	無回答	4.0	1.3	8.6	5.3

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表53 看護要員配置状況別・医療処置の多い患者・入所者の受け入れ可能性（特別養護老人ホーム）

		現在		介護保険施行後	
		看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満
回答施設数		100.0% (69)	100.0% (155)	100.0% (69)	100.0% (155)
点滴・注射	可能	66.7	65.8	63.8	59.4
	困難	20.3	15.5	14.5	14.2
	どちらともいえない	8.7	14.8	14.5	18.7
	無回答	4.3	3.9	7.2	7.7
留置膀胱カテーテル装着・導尿	可能	85.5	87.7	76.8	81.9
	困難	5.8	3.9	4.3	3.2
	どちらともいえない	5.8	5.8	11.6	7.7
	無回答	2.9	2.6	7.2	7.1
経管経腸栄養	可能	88.4	78.7	84.1	75.5
	困難	5.8	10.3	2.9	6.5
	どちらともいえない	1.4	8.4	5.8	11.0
	無回答	4.3	2.6	7.2	7.1
中心静脈栄養	可能	14.5	7.1	14.5	8.4
	困難	65.2	69.7	46.4	56.8
	どちらともいえない	14.5	17.4	30.4	25.2
	無回答	5.8	5.8	8.7	9.7
褥創	可能	94.2	94.2	88.4	85.8
	困難	1.4	-	1.4	-
	どちらともいえない	1.4	3.9	4.3	6.5
	無回答	2.9	1.9	5.8	7.7
リハビリテーション	可能	52.2	47.7	52.2	49.7
	困難	23.2	21.3	10.1	14.2
	どちらともいえない	21.7	26.5	30.4	27.7
	無回答	2.9	4.5	7.2	8.4
酸素療法（気管切開）	可能	23.2	18.1	24.6	19.4
	困難	58.0	60.0	44.9	51.6
	どちらともいえない	13.0	16.8	23.2	20.0
	無回答	5.8	5.2	7.2	9.0
酸素療法（気管切開以外）	可能	72.5	60.6	68.1	56.8
	困難	18.8	25.2	14.5	20.0
	どちらともいえない	5.8	11.6	10.1	15.5
	無回答	2.9	2.6	7.2	7.7
気管切開	可能	18.8	29.0	17.4	31.0
	困難	55.1	51.0	46.4	40.6
	どちらともいえない	21.7	15.5	27.5	18.7
	無回答	4.3	4.5	8.7	9.7
人工呼吸器装着	可能	5.8	1.3	4.3	2.6
	困難	84.1	83.2	79.7	74.8
	どちらともいえない	7.2	10.3	8.7	14.2
	無回答	2.9	5.2	7.2	8.4
透析（CAPD含む）	可能	13.0	10.3	13.0	11.6
	困難	72.5	67.7	66.7	61.9
	どちらともいえない	8.7	16.8	17.4	19.4
	無回答	5.8	5.2	2.9	7.1
ドレーン装着	可能	24.6	18.1	23.2	17.4
	困難	42.0	52.3	36.2	43.2
	どちらともいえない	27.5	24.5	37.7	31.6
	無回答	5.8	5.2	2.9	7.7
吸引	可能	82.6	79.4	76.8	76.8
	困難	7.2	7.7	2.9	7.1
	どちらともいえない	7.2	9.7	14.5	9.0
	無回答	2.9	3.2	5.8	7.1
人工肛門・人工膀胱	可能	87.0	78.7	82.6	76.8
	困難	7.2	8.4	4.3	3.9
	どちらともいえない	2.9	9.7	7.2	11.0
	無回答	2.9	3.2	5.8	8.4

* 各医療処置について回答施設を100.0%とした時の回答した比率

* () 内は回答施設数

統計表54 一般病床，病院・診療所併設の有無別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合（現在）

	療養型病院		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
	一般病床あり	一般病床なし	病院または診療所あり	病院・診療所どちらもなし	病院または診療所あり	病院・診療所どちらもなし
計	100.0% (341)	100.0% (215)	100.0% (135)	100.0% (112)	100.0% (47)	100.0% (186)
原則として応じる	81.8	88.4	45.9	34.8	74.5	80.6
応じられないことが多い	12.6	6.5	37.0	39.3	8.5	10.2
応じられない	2.9	3.3	14.8	22.3	17.0	6.5
無回答	2.6	1.9	2.2	3.6	-	2.7

* ()内は回答施設数

統計表55 一般病床，病院・診療所併設の有無別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合（介護保険施行後）

	療養型病院		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
	一般病床あり	一般病床なし	病院または診療所あり	病院・診療所どちらもなし	病院または診療所あり	病院・診療所どちらもなし
計	100.0% (341)	100.0% (215)	100.0% (135)	100.0% (112)	100.0% (47)	100.0% (186)
原則として応じる	67.4	79.1	43.0	33.9	70.2	74.2
応じたいが困難である	14.1	7.0	30.4	38.4	12.8	11.3
応じるべきではない	2.1	1.4	9.6	8.9	8.5	-
分からない	12.9	7.9	15.6	15.2	8.5	11.3
無回答・不明	3.5	4.7	1.5	3.6	-	3.2

* ()内は回答施設数

統計表56 看護職員配置状況別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合
(現在)

	療養型病院		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
	看護要員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満	看護職員配置 12人以上	看護職員配置 12人未満	看護職員配置 6人以上	看護職員配置 6人未満
計	100.0% (325)	100.0% (178)	100.0% (119)	100.0% (116)	100.0% (151)	100.0% (76)
原則として応じる	85.8	83.1	41.2	39.7	81.5	77.6
応じられないことが多い	10.5	9	39.5	37.9	9.9	9.2
応じられない	2.2	4.5	16.8	19	6.6	10.5
無回答・不明	1.5	3.4	2.5	3.4	2	2.6

* ()内は回答施設数

統計表57 看護職員配置状況別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合
(介護保険施行後)

	療養型病院		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満	看護職員配置 12人以上	看護職員配置 12人未満	看護職員配置 6人以上	看護職員配置 6人未満
計	100.0% (325)	100.0% (178)	100.0% (119)	100.0% (116)	100.0% (151)	100.0% (76)
原則として応じる	71.4	74.7	41.2	35.3	75.5	71.1
応じたいが困難である	10.8	12.4	36.1	31.9	9.9	14.5
応じるべきではない	1.2	2.2	11.8	7.8	0.7	2.6
分からない	12.9	6.2	9.2	21.6	11.3	9.2
無回答・不明	3.7	4.5	1.7	3.4	2.6	2.6

* ()内は回答施設数

統計表58 看護要員配置状況別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合
(現在)

	療養型病院		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
	看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満
計	100.0% (378)	100.0% (130)	100.0% (98)	100.0% (135)	100.0% (69)	100.0% (158)
原則として応じる	86.5	79.2	41.8	38.5	81.2	79.7
応じられないことが多い	9.8	10.8	38.8	39.3	11.6	8.9
応じられない	2.1	6.2	17.3	18.5	5.8	8.9
無回答	1.6	3.8	2.0	3.7	1.4	2.5

* ()内は回答施設数

統計表59 看護要員配置状況別・入所者及び家族が施設内で終末を迎えることを希望した場合
(介護保険施行後)

	療養型病院		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
	看護要員配置 2対1以上	看護要員配置 2対1未満	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満	看護要員配置 50人以上	看護要員配置 50人未満
計	100.0% (378)	100.0% (130)	100.0% (98)	100.0% (135)	100.0% (69)	100.0% (158)
原則として応じる	73.5	68.5	39.8	36.3	75.4	73.4
応じたいが困難である	10.1	15.4	30.6	37.0	8.7	12.7
応じるべきではない	1.1	3.1	9.2	10.4	-	1.9
分からない	11.6	7.7	18.4	13.3	13.0	9.5
無回答・不明	3.7	5.4	2.0	3.0	2.9	2.5

* ()内は回答施設数

統計表60 一般病床，病院・診療所併設有無別・介護保険導入後の施設での終末を看取るための条件・体制整備（複数回答）

	療養型病院		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
	一般病床あり	一般病床なし	病院または診療所あり	病院・診療所どちらもなし	病院または診療所あり	病院・診療所どちらもなし
回答施設数	100.0% (341)	100.0% (215)	100.0% (135)	100.0% (112)	100.0% (47)	100.0% (186)
看護職員配置の充実	52.8	42.8	55.6	50.9	36.2	49.5
夜間看護体制の充実	60.4	53.5	64.4	64.3	48.9	54.8
緊急時の医師の対応体制の確保	42.8	40.0	57.8	67.0	61.7	75.8
必要な医療処置が可能な診療体制の充実	39.0	34.9	43.0	51.8	34.0	34.4
緊急時に対応できる看護婦の増員	30.2	27.4	33.3	34.8	36.2	37.1
看護職員・寮母の教育	64.8	60.5	68.1	63.4	66.0	69.9
終末期医療に対する介護報酬・診療報酬上の評価充実	76.8	65.6	74.8	59.8	48.9	57.5
その他	7.0	8.8	12.6	7.1	8.5	11.8

* 各回答数を回答施設数（100.0%とした時）で割った比率

* （ ）内は回答施設数

統計表61 看護職員配置状況別・介護保険導入後の施設での終末を看取るための条件・体制整備
(複数回答)

	療養型病院		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満	看護職員配置 12人以上	看護職員配置 12人未満	看護職員配置 6人以上	看護職員配置 6人未満
回答施設数	100.0%(325)	100.0%(178)	100.0%(119)	100.0%(116)	100.0%(151)	100.0%(76)
看護職員配置の 充実	50.2%	46.1%	54.6%	52.6%	47.0%	44.7%
夜間看護体制の 充実	56.9	58.4	60.5	69.8	55.0	50.0
緊急時の医師の対 応体制の確保	45.5	36.5	55.5	68.1	72.2	73.7
必要な医療処置が 可能な診療体制の 充実	37.8	37.6	47.9	46.6	33.8	34.2
緊急時に対応でき る看護婦の増員	30.8	25.3	34.5	34.5	35.1	40.8
看護職員・寮母の 教育	65.8	58.4	67.2	62.9	70.2	69.7
終末期医療に対す る介護報酬・診療 報酬上の評価充実	72.9	73.6	67.2	69.0	57.0	55.3
その他	8.3	6.2	10.1	9.5	10.6	13.2

* 各回答数を回答施設数(100.0%とした時)で割った比率

* ()内は回答施設数

統計表62 看護要員配置状況別・介護保険導入後の施設での終末を看取るための条件・体制整備
(複数回答)

	療養型病院		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
	看護職員配置 4対1以上	看護職員配置 4対1未満	看護職員配置 50人以上	看護職員配置 50人未満	看護職員配置 50人以上	看護職員配置 50人未満
回答施設数	100.0%(378)	100.0%(130)	100.0%(98)	100.0%(135)	100.0%(69)	100.0%(158)
看護職員配置の 充実	49.2	46.2	54.1	53.3	50.7	44.3
夜間看護体制の 充実	57.4	56.2	66.3	63.7	56.5	51.9
緊急時の医師の対 応体制の確保	44.4	35.4	58.2	63.7	73.9	72.2
必要な医療処置が 可能な診療体制の 充実	38.1	35.4	52.0	44.4	39.1	31.6
緊急時に対応でき る看護婦の増員	30.7	23.1	38.8	31.9	36.2	37.3
看護職員・寮母の 教育	64.3	60.8	68.4	62.2	78.3	66.5
終末期医療に対す る介護報酬・診療 報酬上の評価充実	73.0	73.8	64.3	70.4	60.9	54.4
その他	8.5	4.6	13.3	7.4	8.7	12.7

* 各回答数を回答施設数(100.0%とした時)で割った比率

* ()内は回答施設数

統計表63 介護保険施行に向けての施設の取り組み状況

		療養型病院（回答施設数 558）				
		て既 い に 行 っ	対今 応年 中に	以 来 降 年 対4 応月	検 討 中	無 回 答
		%	%	%	%	%
施設サービスの質の向上	介護支援専門員（ケアマネジャー）資格取得のための支援	86.0	3.6	0.7	3.6	6.1
	ケア業務マニュアルの作成や職員の教育	53.4	25.8	1.8	10.9	8.1
	ケアプラン作成のための研修	61.8	22.0	0.9	8.8	6.5
	無資格者のための介護福祉士資格取得支援	52.0	8.1	3.0	24.2	12.7
	業務委託、外注化	33.3	2.3	2.0	33.5	28.9
	看護職員の増員	45.0	7.2	2.5	22.4	22.9
	介護職員の増員	48.7	8.1	2.2	22.8	18.3
	苦情窓口の設置	35.8	9.0	1.8	33.7	19.7
介護保険居宅サービスの実施等	居宅介護支援（ケアマネジメント）	21.3	12.5	5.0	29.0	32.1
	訪問看護	62.5	3.8	1.3	15.8	16.7
	訪問介護（ホームヘルプサービス）	9.3	7.0	5.7	37.8	40.1
	通所介護（デイサービス・デイケア）	29.7	3.9	5.2	26.9	34.2
	訪問入浴介護	17.6	2.9	2.7	32.1	44.8
	訪問リハビリテーション	31.4	5.6	3.8	25.8	33.5
	痴呆対応型共同生活介護（グループホーム）	2.2	1.1	2.2	36.7	57.9
	福祉用具貸与	12.7	1.3	2.7	30.6	52.7
	通所リハビリテーション	31.4	3.9	3.6	22.9	38.2
居宅介護住宅改修	12.2	1.6	1.8	29.4	55.0	
要支援・介護者への介護保険給付対象ではないサービスの実施	食事（配給）サービス	6.8	0.9	2.5	30.1	59.7
	移送サービス	14.5	1.3	2.5	26.3	55.4
	痴呆症以外の方のグループホーム	0.9	1.1	1.6	32.3	64.2
	ケア付住宅	1.8	1.4	2.0	31.9	62.9
介護保険給付対象でない対象者へのサービスの実施	施設における入浴サービス	19.5	2.2	3.0	25.6	49.6
	健康維持・増進のための教室の開設	17.0	3.4	3.0	28.7	47.8
	自立の方を対象とするショート・ステイ	11.8	2.3	4.5	30.8	50.5
市町村の介護保険実務への参画	要介護認定調査員の派遣	10.8	8.4	4.7	29.7	46.4
	介護認定審査会委託の派遣（受託）	12.5	8.1	3.0	27.6	48.7
ボランティア・NPOとの連携	地域のボランティア団体やNPOとの連携	15.1	3.6	2.3	34.4	44.6
	貴施設でのボランティア受入れ	22.0	3.4	3.0	34.2	37.3

* 回答施設数を100.0%として各質問項目について回答した比率

1999年 介護保険導入にかかわる看護職員の意識調査

老人保健施設（回答施設数 247）					特別養護老人ホーム（回答施設数233）				
て既 いに る行 っ	対今 応年 中に	以来 降年 対4 応月	検 討 中	無 回 答	て既 いに る行 っ	対今 応年 中に	以来 降年 対4 応月	検 討 中	無 回 答
%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
87.4	6.5	0.0	2.8	3.2	88.0	3.9	0.0	3.9	4.3
74.5	16.2	0.4	5.7	3.2	63.1	19.3	0.4	9.9	7.3
83.8	10.1	0.4	2.8	2.8	82.0	12.0	0.0	3.0	3.0
76.9	8.5	2.4	8.5	3.6	79.4	1.3	0.9	13.7	4.7
37.2	0.8	1.2	34.4	26.3	23.2	2.1	1.3	41.2	32.2
32.4	12.1	3.2	34.4	17.8	19.3	4.7	2.1	42.9	30.9
38.9	7.7	3.2	32.4	17.8	24.5	4.7	1.7	42.5	26.6
35.2	8.5	2.0	35.6	18.6	27.0	11.2	5.2	36.9	19.7
30.0	13.8	3.2	25.1	27.9	42.1	12.4	4.3	18.0	23.2
41.7	3.6	2.4	25.5	26.7	13.3	3.4	1.7	33.9	47.6
18.6	7.7	2.0	41.3	30.4	42.1	3.9	3.0	23.6	27.5
82.2	0.4	6.1	0.0	11.3	79.5	0.4	0.9	5.6	13.7
10.1	2.4	1.6	40.5	45.3	18.5	0.9	1.3	30.5	48.9
21.1	5.7	1.6	38.9	32.8	5.2	1.7	0.0	38.2	54.9
2.8	4.9	1.2	47.0	44.1	3.0	1.7	2.6	39.9	52.8
19.4	2.0	1.6	37.2	39.7	30.0	1.3	2.6	25.8	40.3
66.0	2.4	1.6	13.4	16.6	12.4	1.7	0.0	31.3	54.5
26.7	2.0	0.8	29.6	40.9	19.3	0.9	0.4	27.9	51.5
10.1	0.8	1.2	43.7	44.1	35.6	1.7	0.9	23.2	38.6
25.9	0.0	1.2	29.3	43.3	29.6	1.3	1.3	27.9	39.9
1.2	0.8	1.2	42.9	53.8	1.3	0.4	1.7	37.8	58.8
0.8	2.4	0.8	42.5	53.4	7.3	1.3	2.6	31.8	57.1
21.9	3.2	1.6	36.0	37.2	39.5	1.3	0.0	24.9	34.3
22.7	4.0	1.2	36.8	35.2	32.6	2.6	0.4	25.3	39.1
25.1	1.2	0.8	31.2	41.7	31.8	0.4	0.9	25.8	41.2
15.8	10.9	4.9	32.0	36.4	25.8	13.7	6.0	18.0	36.5
16.6	8.1	3.2	31.2	40.9	23.2	10.7	4.3	24.5	37.3
48.6	4.5	0.4	23.1	23.5	59.2	3.0	1.3	15.9	20.6
72.9	2.8	0.8	14.2	9.3	76.4	1.7	0.4	8.6	12.9

1999 Survey on Nursing Personnel's Awareness on the Introduction of the Nursing Care Insurance System

Research Section, Japanese Nursing Association

Introduction

The nursing care insurance system will start in April,2000. The services provided under the system can be categorized into home-care services and those provided at specialized facilities. This survey covered 3 types of nursing care insurance facilities (long-term recuperation hospitals, geriatric health services, and special nursing homes for the elderly). Until now, these facilities were defined with different positioning; medical and welfare. When the new system is introduced, they will be administrated under the single system. This is the first survey comparing these facilities on their approach to the nursing care insurance system.

I. Overview

1. Objectives

- (1) To grasp how the nursing sector will handle various services provided under the nursing care insurance system.
- (2) To compile basic reference for use (by the Japanese Nursing Association) to promote support and services to nursing professionals at nursing insurance facilities.

2. Survey conducted in April, 1999.

3. Survey subjects and methods

Questionnaires were sent to the highest ranking nursing personnel at long-term recuperation hospitals, geriatric health services, and special homes for the elderly, employing members of the Japanese Nursing Association.

We asked the survey subjects to fill out the questionnaires, and send them directly to the Research Section, Research and Information Administration Division, Japanese Nursing

Association either by mail or by fax.

The survey covered 1,672 facilities (822 long-term recuperation hospitals, 411 geriatric health services, and 439 special nursing homes for the elderly), of which 1,038 facilities returned valid responses (collection rate of 62.1%). Collection rates by facility type were 588 long-term recuperation hospitals (67.9%), 247 geriatric health services (60.1%), and 233 special nursing homes for the elderly (53.1%).

II. Survey results

1. Attributes of respondent facilities

(1) Long-term recuperation hospitals

Establishment bodies

By type, the respondent hospitals are broken down to 2 “ national hospitals ” (0.4% of the subject hospitals), 18 “ municipal hospitals ” (3.2%), 11 “ public hospitals ” (Japan Red Cross, Saiseikai, etc.) (2.0%), 2 “ social insurance affiliated organizations ” (0.4%), 473 “ medical corporations and private hospitals ” (84.8%), and 49 “ hospitals affiliated with educational and other organizations ” (8.8%).

Number of beds and the transition to long-term recuperation wards

Of the respondent hospitals, 351 hospitals offer long-term recuperation wards. Their official number of beds for such purposes totals 34,133, or 98.1 beds per hospital. 228 hospitals offer elderly-care wards. Their official number of beds for the elderly totals 26,807, or 119.1 beds per hospital. As of April 1999, of the 228 hospitals with an elderly-care ward, 198 hospitals (86.8%) plan to convert the facility into a long-term recuperation ward.

Long-term recuperation hospitals signify hospitals with a long-term recuperation ward, or those with an elderly-care ward (not meeting criteria for a long-term recuperation ward) where at least 60% of patients are aged 65 or over.

Accompanying facilities

Of 558 subject hospitals, 19.0% offer home-care support centers, 35.8% have visiting nursing stations, 6.3% have special nursing homes for the elderly, and 23.8% have geriatric health services.

In-house patients

As of the day of the survey, the respondent hospitals had 31,125 in-house patients in the long-term recuperation wards (among 327 applicable respondents, 95.2 patients per hospital), and 25,422 in-house patients in the elderly wards (among 220 applicable respondents, 115.6 patients per hospital).

Other types of wards available

In addition to long-term recuperation and elderly-care wards, 341 hospitals (61.6%) have general wards, while 29 hospitals have psychiatric wards (5.2%), and 26 hospitals (4.7%) offer other types of wards.

Number of nursing personnel

The 533 respondent hospitals have a total of 29,422.2 nursing personnel assigned to long-term recuperation or elderly wards. They comprise 5,697.6 registered nurses (10.7 per hospital), 7,741.2 licensed practical nurses (14.5 per hospital), and 15,983.4 nursing aides (30.0 per hospital). On average, one qualified nursing personnel is in charge of 4.1 patients. When nursing aides are included, the figure drops to 1.9 patients.

(2) Geriatric health services

Establishment bodies

Of the subject geriatric health services, 171 are established by “ medical corporations ” (69.2% of all geriatric health services), 40 by “ social welfare juridical corporations ” (16.2%), 8 by national and regional government organizations (3.2%), 2 by “ public and social insurance associated organizations ” (0.8%), and 12 by other types of institutions (4.9%).

Accompanying facilities

Of 247 subject facilities, 44.5% also have the hospital section, 49.5% offer home-care support centers, and 40.5% have visiting nursing stations.

Capacity and actual number of residents

The subject facilities have the average capacity of 96.4 residents, and actually accommodate 89.0 residents on average (as of April 1, 1999).

Average duration of stay

Residents stay on average 227.8 days, with the shortest at 14 days and the longest at 800

days.

Number of nursing personnel

The subject facilities have a total of 10,547.3 nursing personnel (42.7 per facility). They comprise 1,116.7 registered nurses (4.5 per facility), 1,601.1 licensed practical nurses (6.5 per facility), and 7,814.5 careworkers and non-qualified nursing aides (32.0 per facility). The figures are higher than those set in the administration standards for nursing care insurance facilities. On average, one qualified nursing worker is in charge of 8.2 residents. When careworker and unqualified nursing aides are included, the figure drops to 2.1 residents.

(3) Special nursing homes for the elderly

Establishment bodies

Of the 233 special nursing homes for the elderly, 22 are run publicly, 5.2% are established by public organizations but run privately, and 82.4% are established by "social welfare juridical corporations".

Accompanying facilities

Of the 233 special nursing homes for the elderly, 63.9% offer home-care support centers, 14.6% have medical clinics, and 11.2% have homes for the elderly.

Capacity and actual number of residents

The subject homes have the average capacity of 66.8 residents, and actually accommodate 66.7 residents on average. The average number of short-stay residents is 8.5, while the average number of non-residential users is 22.1.

Number of nursing personnel

The subject homes have a total of 565 registered nurses (2.5 per home), 475.8 licensed practical nurses (2.1 per home), and 5792.3 careworkers and non-qualified nursing aides (25.4 per home). The figures are higher than those set in the administration standards for nursing insurance facilities. On average, one qualified nursing personnel is in charge of 16.3 residents. When unqualified nursing staff are included, the figure drops to 2.3 residents.

(4) Attributes of respondents

On average, the actual respondents of the subject hospitals are 54.0 years old and have worked for 11.8 years at their hospitals. As for the geriatric health services, the average respondent is 48.8 years old and has worked for 3.6 years with the employer. As for the special nursing homes for the elderly, the average respondent is 46.2 years old and has worked for 7.3 years with the employer.

2. Night duties of nursing personnel

Long-term recuperation wards must provide night-time nursing services as a requirement for diagnostic and treatment rewards. The average number of night-shift nursing personnel per ward is 2.7 (0.6 registered nurses, 0.8 licensed practical nurses, 1.3 nursing aides, a 503 long-term recuperation hospitals).

Of geriatric health services, 58.7% said nursing personnel “ perform night duties at all times ”, while 27.9% others said they have a “ night duty system ”. The number of night shift personnel per facility is 3.9, comprising 0.5 registered nurses, 0.7 licensed practical nurses, and 2.7 nursing aides.

At special nursing homes for the elderly, 5.6% said nursing personnel “ perform night duties at all times ”, 10.3% said they have a “ night duty system ”, while 76.8% said they do not provide services at night (including the emergency telephone mobilization of nursing personnel). The number of night shift personnel per facility is 2.8 (2.8 careworkers and nursing aides).

3. Progress in allocating care managers

When the nursing care insurance system goes into effect, nursing care insurance facilities are mandated to allocate at least one full-time nursing care manager. At the time of the survey, this requirement is met by 93.5% of the hospitals, 93.9% of the geriatric health services, and 91.4% of the special nursing homes for the elderly.

The average number of accredited care managers per facility is 5.2 (2.7 registered nurses) among rehabilitation-type hospitals, 3.0 (1.1 registered nurses) among geriatric health services, and 3.3 (0.8 registered nurses) among special nursing homes for the elderly.

Table 1: Nursing care managers by work type

	No. of respondent facilities		Registered nurse	Licensed practical nurse	Public health worker	Nursing aides or careworker	Physician	Consultants / social worker	Others
Long-term recuperation hospital		Average	2.7	0.4	0.08	0.09	0.7	0.3	0.9
	519	Total number	1405	196	40	48	361	174	491
Geriatric health services		Average	1.1	0.24	0.03	0.37	0.22	0.56	0.47
	229	Total number	254	56	7	85	50	129	107
Special nursing home for the elderly		Average	0.8	0.2	0.05	1.1	0.05	0.9	0.2
	205	Total number	172	33	11	227	10	175	49

The facilities which pledged to “ encourage to obtain the accreditation to as many nursing personnel as possible ” accounted for 62.4% of long-term recuperation hospitals, 72.8% of geriatric health services, and 76.0% of special nursing homes for the elderly.

4. Accepting patients or residents requiring medical attention

The subject facilities were asked whether they are capable of accepting patients and residents requiring medical attention at present and after the introduction of the nursing care insurance system. Currently, long-term recuperation hospitals, geriatric health services, and special nursing homes for the elderly are generally accepting patients and residents requiring medical attention such as “ intravenous drips and injections ”, “ indwelling catheter for urocystis ”, “ intubation feeding ”, “ bedsore ”, “ aspiration ”, and “ enteroproctia and artificial bladder.” However, even among long-term recuperation wards, which have more advanced medical systems, only around 60% are capable of accepting patients requiring “ central venous feeding ” and “ oxygen therapy (tracheotomy) ”. Less than 30% can handle patients on “ artificial respiratory machine ” or those requiring “ dialysis ”.

As for the prospect after the introduction of the nursing care insurance system, a smaller number of facilities said they will “ accept ” patients needing medical attention, while more facilities said they “ don't know ”. This indicates that nursing care facilities are unclear about the rewards of nursing patients requiring medical attention under the new nursing care insurance system.

Table 2: Accepting patients / residents with frequent need of medical attention

	Long-term recuperation hospitals (588)		Geriatric health services (247)		Special nursing homes for the elderly (233)	
	Now	After nursing care insurance	Now	After nursing care insurance	Now	After nursing care insurance
Intravenous drips and injections	87.5	62.9	66.4	62.3	66.1	60.5
Indwelling catheter for urocystis	93.5	73.1	93.9	89.5	87.1	80.7
Intubation feeding	92.1	73.8	70.0	71.7	82.4	79.0
Central venous feeding	58.6	42.3	10.1	13.0	9.4	9.9
Bedsore	91.4	71.9	91.9	85.4	94.4	87.1
Rehabilitation	89.2	75.8	96.8	91.5	48.1	49.4
Oxygen therapy (tracheotomy)	63.4	43.9	13.0	15.0	19.3	20.6
Oxygen therapy (non-	78.9	59.3	36.8	36.0	63.9	60.1
Tracheotomy	53.0	36.0	19.8	20.2	25.3	26.2
Artificial respiratory machine	27.6	18.6	1.6	2.8	2.6	3.0
Dialysis (including CAPD)	16.7	11.3	6.1	6.9	11.2	11.2
Drain device	44.6	31.9	19.8	19.8	20.6	19.3
Aspiration	87.1	68.1	76.1	71.3	79.8	76.4
Enteroproctia and artificial bladder	76.2	59.1	87.0	83.0	82.0	79.4

* The figures represent the percentage of facilities which responded that they can cater for the applicable conditions.

5. Terminal care

The subject facilities were asked whether they are capable of providing terminal care if patients / residents / families wish to spend final days at their institutions, at present and after the introduction of the nursing care insurance system. The proportion of facilities which responded that they currently “ accept such a request in principle ”, was 84.4% among long-term recuperation hospitals, 40.9% among geriatric health services, and 79.4% among special nursing homes for the elderly. As for after the introduction of the nursing care insurance system, facilities which would “ accept such a request ” accounted for 71.9% among long-term recuperation hospitals, 38.9% among geriatric health services, and 73.4% special nursing homes for the elderly.

The next question was in regard to conditions enabling terminal care services at their facilities. Long-term recuperation hospitals and geriatric health services both cited “ enhanced evaluation of nursing and diagnostic rewards for terminal care ” at 72.6% and 68.0% respectively. On the other hand, 69.1% of the special nursing homes for the elderly cited “ education of nursing staff and assistants ”.

Table 3: Conditions and systems to be developed to enable terminal care after the introduction of the nursing care insurance system(multiple choice)

	Long-term recuperation		Geriatric health services		Special nursing homes for the	
	Response total 558		Response total 247		Response total 233	
	No. of responses	%	No. of responses	%	No. of responses	%
Increased allocation of nursing personnel	272	48.7	132	53.4	109	46.8
Enhanced night-time nursing system	322	57.7	159	64.4	125	53.6
System for doctor's response to emergency	233	41.8	153	61.9	170	73.0
Enhanced diagnostic and treatment system to facilitate necessary medical procedures	209	37.5	116	47.0	80	34.3
Increased allocation of nurses for emergency	162	29.0	84	34.0	86	36.9
Education of nursing personnel and	353	63.3	163	66.0	161	69.1
Enhanced evaluation in nursing and	405	72.6	168	68.0	130	55.8
Others	43	7.7	25	10.1	26	11.2

6. Approach toward the introduction of the nursing care insurance system

In the areas of “ qualitative improvement in facilities and services ”, “ home-care support ”, “ implementation of services not covered by the insurance to those in need of support and nursing care ”, “ implementation of services to people exempt from nursing insurance payment ”, “ municipal participation in the administration of nursing insurance ”, and “ coordination with volunteers and NPOs ”, each subject facility was asked what kind of measures it is taking toward the introduction of the nursing care insurance system.

All facilities put emphasis on the qualitative improvement in facilities and services. As for visiting nursing, one of home-care services, 62.5% of rehabilitation wards provide this service, where as 82.2% of geriatric health services and 79.5% of special nursing homes for the elderly provide on-site nursing services. As for nursing services outside the framework of the nursing insurance program, some facilities offer bathing services and organize classes on maintaining and boosting health, for people exempt from nursing insurance payment. Many geriatric health services and special nursing homes for the elderly are also coordinating with volunteers and NPOs.

日本看護協会調査研究報告

No.34 --- 1992

- 1991年 病院における訪問看護実態調査 日本看護協会調査研究室
- 訪問看護実施病院
 - 訪問看護実施体制
 - 訪問対象者数と件数
 - 訪問対象者の状態
 - 訪問の依頼および対象者の選定
 - 訪問看護の業務内容
 - 訪問先までの所要時間と滞在時間
 - 保健所・市町村との連携
 - 訪問看護の財源
 - 訪問看護実施上の問題点

No.35 --- 1992

- 看護職員の移動と定着に関する調査研究 日本看護協会調査研究室
- 20代看護職員の職場移動と定着に関する意識と実態
 - 看護職員の就業歴にみる職場移動の実態
 - 看護職員就業者数の動向
 - 1989年ナースバンクにおける求人・求職条件調査
 - ミスマッチの現状と展望 -

No.36 --- 1992

- 1991年 市町村における保健婦活動調査 - 在宅ケアの取り組み 日本看護協会調査研究室
- 市町村の保健婦等看護マンパワー
 - 訪問指導事業
 - 在宅療養者への保健福祉サービス
 - 在宅ケアと保健婦の役割
 - 都道府県および保健所からのバックアップと県への期待

まとめ

No.38 --- 1993

1992年 看護教育調査 日本看護協会調査研究室

第1部 学校施設調査

受験と入学の動向

在校生の就業状況

学校の設備と職員の状況

卒業と就職の動向

学校の財政

新カリキュラムの評価と実施状況

第2部 看護教員調査

教員になった動機と経験

教員の仕事の実態と意識

教員の満足度

看護教育に対する考えや意見

No.39 --- 1993

1991年 病院看護基礎調査 日本看護協会調査研究室

病院の概要

看護要員の配置

入院患者

夜勤

労働時間

母性保護・育児支援・介護休暇

賃金

看護職員確保対策

看護職員の教育

他職種との共働

看護助手業務

看護管理体制

No.43 --- 1994

- 病院看護の実態と診療報酬 日本看護協会調査研究室
- 「1992年看護関係診療報酬改定の影響に関する調査」報告
 - 看護関係診療報酬の採用状況
 - 看護職員の勤務体制と労働条件
 - 看護職員の確保・定着状況と看護部長の考え

No.45 --- 1994

- '93年看護職員実態調査 日本看護協会調査研究室
- 基本的属性
 - 勤務状況
 - 労働条件
 - 母性保護
 - 職業意識
 - 進学希望
 - 講読新聞と講読専門雑誌など

No.46 --- 1995

- 「入院医療管理料」病院の看護の実態と課題 日本看護協会調査研究室
- 付 特3類承認病院の看護に関する緊急調査

No.47 --- 1996

- 看護教育と看護業務の新たなあり方 日本看護協会調査研究室
- 看護学校への社会人入学に関する調査
 - 看護職の4年制大学への進学希望に関する調査
 - 看護婦が行う患者への情報提供・助言に関する調査

No.48 --- 1996

- 病院看護の動向と診療報酬 日本看護協会調査研究室
- 夜間看護体制の実態に関する調査
 - 95年病院看護職員の需給状況に関する調査
 - 精神科看護の急性期対応と看護料に関する調査
 - 看護料『在院日数30日要件』に関する調査

No.49 --- 1996

- 1995年 老人保健施設における看護実態調査 日本看護協会調査研究課
- 施設の概要
 - 調査回答者の属性
 - 施設内ケア
 - 在宅支援
 - 管理・研修
 - 自由記述

No.50 --- 1996

- 1995年 病院看護基礎調査 日本看護協会調査研究課
- 病院の概要
 - 看護要員の配置
 - 夜勤体制
 - 看護職員の処遇
 - 賃金・手当
 - 労働時間
 - 母性保護・育児支援・介護休暇
 - 看護職員の確保
 - 看護職員の教育
 - 看護補助者の業務
 - 他職種・他部門との協働
 - 看護関係診療報酬の算定状況
 - 看護管理体制と看護管理の課題

No.51 --- 1996

- 1996年 病院看護職員の需給状況調査 日本看護協会調査研究課
- 調査の概要
 - 調査結果
 - 回答病院の属性
 - 病棟看護要員の配置状況
 - 96年度の看護要員の採用状況
 - 来年(97年度)の看護婦・准看護婦採用方針
 - 最近の確保・定着状況の変化
- 付：交代制勤務の現状と課題(資料集)

No.52 --- 1997

- 1997年 病院看護職員の需給状況調査 日本看護協会調査研究課
- 調査の概要
 - 調査結果
 - 回答病院の属性
 - 97年度の看護職員等の採用状況
 - 98年度の採用方針
 - 最近の看護職員の確保・定着状況
 - 98年度新卒者初任給モデル賃金

No.53 --- 1997

- 1996年 変革期における看護管理の課題に関する調査 日本看護協会調査研究課
- 1996年 変革期における看護管理の課題に関する調査
 - 回答者の属性および回答者所属病院の概要
 - 病院が目指す方向と看護部の課題
 - ニーズの変化と看護業務
 - 長期入院と退院に向けての看護職の取り組み
 - 看護要員の配置と看護補助者の活用
 - 所定労働時間と夜勤体制
 - 診療報酬の算定

情報交換とコンピューターの利用
看護部長の研修受講と経営参画
長期入院患者調査
円滑な退院への取り組みに関する調査
看護料の「平均在院日数要件」に関する調査
精神病床の看護要員配置に関する実態調査

No.54 --- 1999

'97 看護職員実態調査 日本看護協会調査研究課
年齢・配偶関係・子供・学歴・免許・経験年数・会員年数・勤務形態・職位・勤務
場所・現在の職場での勤続年数・過去5年間の配置転換・転職・所定労働時間・超
過勤務・夜勤・週休形態・年次有給休暇・介護休暇制度・給与・産前・産後の母性
保護措置・喫煙習慣・資格認定制度・社会の変化と将来の希望・日常業務上ぶつか
る悩みと看護の倫理・コンピューターの利用

No.55 --- 1999

1998年 病院看護職員の需給状況調査 日本看護協会調査研究課
回答病院の属性
病棟看護要員の配置状況
98年度の看護要員の採用状況
99年度の看護婦・准看護婦採用方針
最近の確保・定着状況の変化
初任給モデル賃金

日本看護協会調査研究報告 <No.56> 2000

1999年 介護保険導入にかかわる看護職員の意識調査

2000年3月30日発行

定価(本体1,429円+税)

編集者 日本看護協会

調査・情報管理部調査研究課

発行所 社団法人日本看護協会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2

TEL 03(3400)8382(直通)

販売元 (株)日本看護協会出版会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-11

TEL 03(3407)7969(代)

印刷所 株式会社 白 峰 社

〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-49-6

TEL 03(3983)2312

乱丁・落丁本はお取替えいたします。

ISBN4-8180-7772-2 C3347 ¥1429E